

# ユーザーガイド



**TurningPoint**<sup>®</sup>

© 2011 Turning Technologies, LLC. 一部は Responsive Innovations, LLC および Microsoft Corporation.

本ドキュメントのいかなる部分も、Turning Technologies, LLC の明示的な書面による許可なしに、電子式であれ機械式であれ、いかなる形式またはいかなる手段でも、またいかなる目的でも、複製または転送することはできません。All rights reserved.

Turning Technologies, LLC, 255 West Federal Street, Youngstown, OH 44503 USA.

TurningPoint® は、Turning Technologies, LLC の登録商標です。本書で言及されている他の登録された製品名は、それぞれの会社により所有されています。

以下の法的声明は、本書で言及されている、ResponseCard RF、ResponseCard XL、およびそれらのレシーバを含む、無線および XL 赤外線トランスミッタおよびレシーバに適用されます。

#### **FCC 規則に関する声明**

この製品は、FCC 規則のパート 15 に基づいて試験され、それに適合していることが確認されています。運用は、以下の条件に従う必要があります。有害な干渉を生じさせてはなりません。また、望ましくない動作を引き起こしかねない干渉を受けても、それを受け入れられる必要があります。

この適合性に責任を持つ当事者によって明示的に承認されたものではない変更や修正を行うと、ユーザーがこの装置を運用する許可が無効になる場合があります。

#### **カナダの法規に関する声明**

このクラス B デジタル機器は、カナダの ICES-003 に適合しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

<b>1 TurningPoint について</b> .....	<b>1</b>
システム要件 .....	2
ハードウェアの要件 .....	2
ソフトウェアの要件 .....	2
互換性のあるレスポンス デバイス .....	2
セットアップ .....	3
TurningPoint のインストール .....	3
自動アップデートの設定 .....	4
PowerPoint で TurningPoint を開く .....	4
TurningPoint リボンの紹介 .....	6
カスタマ サポートのリソース .....	8
オンライン アシスタンス .....	8
カスタマ サポート .....	8
<b>2 スライドの作成と保存</b> .....	<b>9</b>
スライドの作成 .....	9
スライドの挿入 .....	9
プレゼンテーション スライドの保存 .....	10
スライドの種類 .....	11
グラフ スライド .....	11
競争スライド .....	16
テンプレート スライド .....	22
特別なスライド .....	26
特別なスライドの挿入 .....	32
数字のレスポンス スライドの挿入 .....	32
優先度ランキング スライドの挿入 .....	34
デモグラフィック比較スライドの挿入 .....	35
比較リンク スライドの挿入 .....	37
スライドの変更 .....	38
デモグラフィック スライドの指定 .....	39
グラフの種類の変更 .....	41
[設定] ウィンドウで正しい回答を指定する .....	43
TurningPoint スライドで正しい回答を指定する .....	43
空白入力スライドでのキーワードの使用 .....	46
得点の値を [設定] ウィンドウから設定する .....	47
TurningPoint スライドでポイント値を設定する .....	51
回答値を [設定] ウィンドウからクリアする .....	52
TurningPoint スライドで回答値をクリアする .....	54
グラフを挿入して PowerPoint スライドをインタラクティブにする .....	56
オブジェクトの追加 .....	58
カウントダウン インジケータの追加 .....	59
カウントダウン インジケータにカウントダウン音を追加する .....	60
レスポンス カウンタの追加 .....	62
解答マークの追加 .....	64
<b>3 レスポンス デバイスと設定の管理</b> .....	<b>65</b>
デバイスの取り付け .....	67
無線レスポンス デバイス レシーバの取り付け .....	67

ResponseWare デバイスの設定の取得 .....	69
レスポンス デバイスの管理 .....	70
ResponseWare を有効にする .....	70
PresenterCard の設定 .....	72
デバイスの通信の確認 .....	73
使用するデバイス数の指定 .....	75
設定 .....	77
レスポンス デバイスの設定 .....	79
プレゼンテーションの設定 .....	82
スライドの設定 .....	90
回答入力の設定 .....	93
<b>4 参加者とチームの追跡 .....</b>	<b>94</b>
参加者リスト ウィザード .....	94
参加者リスト ウィザードによる参加者リストの作成 .....	94
参加者リストの管理 .....	100
参加者リストの変更 .....	100
参加者とデバイス ID の確認 .....	106
参加者リストの削除 .....	106
参加者リストの印刷 .....	108
チームの競争のセットアップ .....	109
参加者リストへのチームの追加 .....	109
リアルタイム登録ツール .....	111
リアルタイム登録ツールの使用方法 .....	111
<b>5 ツール .....</b>	<b>113</b>
ランキング ウィザード .....	113
ランキング ウィザードによるスライドの作成 .....	114
分岐問題 .....	120
分岐問題のセットアップ .....	120
パーサーのドキュメント .....	125
Word ドキュメントの書式設定 .....	125
スライドのインポート .....	127
TurningPoint パーサーによるスライドのインポート .....	127
<b>6 プレゼンテーションの実行 .....</b>	<b>129</b>
プレゼンテーションの実行 .....	129
スライド ショーの実行 .....	129
レスポンス グリッドの表示 .....	133
プレゼンテーション セッション中のスライドの追加 .....	133
データ分割の使用 (質問ごとの結果の表示) .....	136
<b>7 レポート .....</b>	<b>138</b>
レポートの表示 .....	138
レポートの表示 .....	138
レポートの種類 .....	142
質問別結果レポート .....	143
デモグラフィック レポート .....	144
参加者の結果レポート .....	145

参加者別結果レポート.....	146
参加者リスト レポート .....	147
得点比較レポート .....	148
チーム得点レポート .....	149
パーセンテージ レポート .....	150
その他のレポート .....	151
<b>8 セッション .....</b>	<b>153</b>
セッションの管理と編集.....	153
セッションからの結果の保存.....	153
デフォルトの保存先の変更 .....	155
前回保存したセッションの続行.....	157
セッション データの編集 .....	157
セッションからの結果の削除.....	161
<b>9 エクスポート .....</b>	<b>163</b>
セッション データのエクスポート .....	163
セッションデータを CSV ファイルとしてエクスポートする.....	170
参加者リストの統合 .....	170
セッション ファイルの統合.....	172

# 1 TurningPoint について

TurningPoint へようこそ。TurningPoint は最も簡単で強力なインタラクティブ グループ レスポンス システムです。TurningPoint を PowerPoint と共に使用すれば、参加者は、レスポンス デバイスを使用して、話し手に即座にフィードバックを送ることができます。

TurningPoint は応答を収集し、結果をテスト スコア、チャート、およびグラフにすばやく変換します。また、データを参照用に保存することもできます。

この章では、製品の概要およびシステム要件、インストール手順、およびカスタマ サポート情報について説明します。

# システム要件

TurningPoint はほとんどのコンピュータで機能するように設計されていますが、いくつかのハードウェア要件およびソフトウェア要件があります。

## ハードウェアの要件

TurningPoint をインストールするには、以下のハードウェア仕様が必要です。

- ・ Intel または AMD 600 MHz クラスのプロセッサ (1 GHz 以上を推奨)
- ・ 256 MB の RAM (「利用可能な」RAM が 256 MB 以上あることを推奨)
- ・ 60 MB のハード ディスク スペース (Microsoft .NET Framework 2.0 がインストールされていない場合は、さらに 32 MB が必要)
- ・ 解像度 1024 x 768、32 ビット カラー以上
- ・ 標準 USB 1.1/2.0 ポート
- ・ Ethernet または 802.11 互換の無線ネットワーク カード (ResponseWare で使用)

## ソフトウェアの要件

TurningPoint をインストールするには、以下のソフトウェア仕様が必要です。

- ・ Microsoft Windows XP、Vista、または Windows 7 の 32 ビット版または 64 ビット版。
- ・ Microsoft Office XP、2003、2007、または 2010
- ・ Microsoft .NET 2.0 以降

## 互換性のあるレスポンス デバイス

TurningPoint と互換性があるのは、以下のレスポンス デバイスです。

- ・ ResponseCard RF または IR
- ・ ResponseCard XR
- ・ ResponseCard NXT
- ・ ResponseWare

# セットアップ

## TurningPoint のインストール

以下の手順に従って TurningPoint をインストールしてください。

### 始める前に

2 ページの「**システム要件**」で説明したハードウェアおよびソフトウェアの仕様を確認します。

### TurningPoint ソフトウェアをインストールするには ...

- TurningPoint のインストールは、次の 2 つの方法のいずれかで行います。
  - Turning Technologies の Web サイトから、最新版の TurningPoint をダウンロードします。

Turning Technologies の Web サイトは <http://www.turningtechnologies.com> です。画面右側にある [Download] ボタンをクリックし、TurningPoint のリンクを選択します。ダウンロード リクエスト フォームに入力し、[Submit] をクリックします。次のページで TurningPoint リnkを選択し、ファイルを自分のコンピュータに保存します。ダウンロードが完了したら、セットアップ アイコンをダブルクリックして InstallShield ウィザードを起動します。
  - CD からインストールします。コンピュータに CD を挿入します。InstallShield ウィザードが自動的に起動します。
- [次へ] をクリックします。

ウィンドウが開き、ライセンス契約書が表示されます。画面上のライセンス契約書を読むか、または [印刷] ボタンをクリックして、プリンタでテキストを印刷します。
- これらの条件に同意する場合は、[このライセンス契約書の条件に同意します] ボタンを選択します。

ライセンス契約書の条件に同意すると、TurningPoint のインストールを続行することができます。
- [次へ] をクリックします。

ウィンドウが表示されて、カスタマ情報の入力フィールドが表示されます。
- フィールドに氏名および組織名を入力します。
- [次へ] をクリックします。

ウィンドウが表示されて、コンピュータに TurningPoint をインストールする準備ができたとのメッセージが表示されます。
- [インストール] をクリックします。

コンピュータに TurningPoint がインストールされます。プロセスが完了すると、ページに [終了] ボタンが表示されます。
- [終了] をクリックします。

すぐにプログラムを実行する場合には、[TurningPoint の起動] チェックボックスをオンにします。または、デスクトップ上の TurningPoint のショートカットをダブルクリックして、プログラムを実行します。



## 自動アップデートの設定

TurningPoint には新たにアップデート機能が追加されました。この機能により、先にアンインストールを行わなくてもソフトウェアを更新することができます。またこの機能は、TurningPoint の毎回の起動時にアップデートをチェックするように設定することもできます。

### 始める前に

ソフトウェアのアップデートをチェックするには、常時インターネットに接続されている必要があります。

- 1 TurningPoint を開きます。
- 2 TurningPoint リボンの [ ツール ] をクリックし、 [ アップデートを確認 ] を選択します。  
ソフトウェアのアップデートが利用できる場合には、 [ アップデート ] の下にバージョン番号が表示されます。
- 3 [ アップデート ] をクリックします。

**ヒント** 起動時に毎回アップデートを確認するには、 [ 今後のアップデートを自動的に確認 ] ボックスをオンにします。

- 4 TurningPoint はアップデートをダウンロードします。
- 5 指示が表示されたら、PowerPoint を終了します。  
アップデートがダウンロードされ、インストールされると、TurningPoint は再起動します。

## PowerPoint で TurningPoint を開く

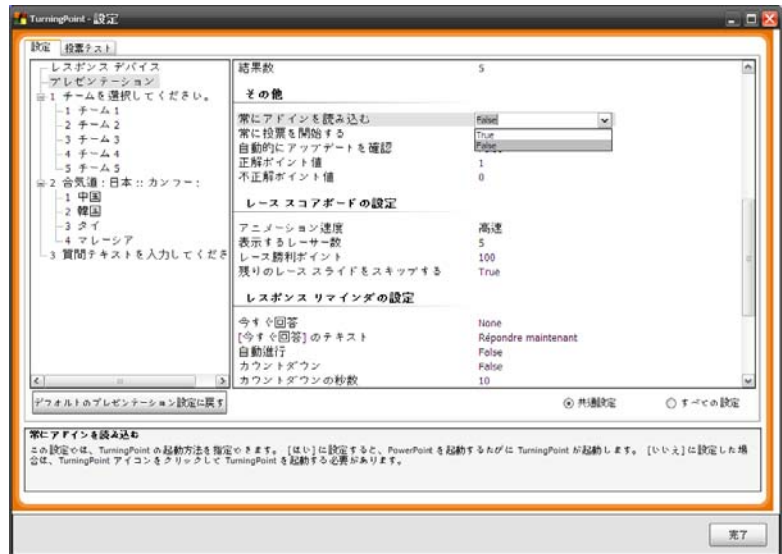
TurningPoint をインストールしたら、PowerPoint の開始時に自動的に起動するように設定することができます。

TurningPoint を自動的に読み込むようにオプションを切り替えるには ...

- 1 TurningPoint のアイコンをダブルクリックします。
- 2 TurningPoint リボンの [ ツール ] をクリックし、 [ 設定 ] を選択します。
- 3 設定階層から [ プレゼンテーション ] を選択します。  
特定の設定オプションのリストがメニューに表示されます。
- 4 下方向にスクロールして [ その他 ] の設定を見つけます。
- 5 [ 常時アドインを読み込む ] の設定を選択します。

ドロップダウン メニューが開きます。

### 【設定】ウィンドウ：常時アドインを読み込む



#### 6 [True] または [False] を選択します。

[True] を選択すると、PowerPoint を開いたときに TurningPoint が自動的に読み込まれます。

[False] を選択すると、PowerPoint を開いても TurningPoint は自動的に読み込まれません。インストール時に作成された TurningPoint のショートカットを使って TurningPoint を起動する必要があります。

**注記** TurningPoint の [常時アドインを読み込む] の規定の設定は [False] です。

#### 7 [終了] をクリックします。

[設定] ウィンドウが閉じます。選択した設定に応じて、次回 PowerPoint を開いたときの TurningPoint の自動読み込みが有効または無効になります。

# TurningPoint リボンの紹介

TurningPoint を起動すると、次の図に示すように、PowerPoint が開き、TurningPoint 2008 タブを選択することによって TurningPoint リボンにアクセスできます。

## TurningPoint リボン



次に、TurningPoint リボンのツールを構成する各ボタンについて説明します。

### 情報



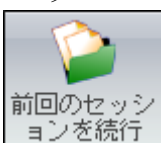
TurningPoint ソフトウェアについての情報を表示します。また、使用しているレシーバのライセンス情報を表示することや、TurningTechnologies にサポートを依頼するためにフィードバックを送信することもできます。

### リセット



現在のユーザーのレスポンス データをクリアして、新しいセッションを開始します。または、投票のために個々のスライドをリセットします。出席者の集計については、**第6章「プレゼンテーションの実行」**を参照してください。

### 前回のセッションを続行



前に保存したセッションを開きます。セッションとは、出席者が一部またはすべての質問に対してレスポンスを送信したプレゼンテーションの実行です。前のセッションの続行方法については、**第8章「セッション」**を参照してください。

### セッションの保存



現在のセッションを保存します。セッションの保存については、**第8章「セッション」**を参照してください。

### スライドの挿入



プレゼンテーションを作成する際に選択できる TurningPoint スライドの種類を表示します。TurningPoint スライドについては、**第2章「スライドの作成と保存」**を参照してください。

写真のスライドへの変換



テキストの代わりに、回答として写真を配置します。写真のスライドについては、**第2章「スライドの作成と保存」**を参照してください。

オブジェクトの挿入



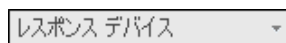
TurningPoint スライドを拡張する項目のメニューを表示します。スライドのオプションについては、**第2章「スライドの作成と保存」**を参照してください。

ツール



TurningPoint のプレゼンテーションとセッションでレポート、変更、追跡、および統合を行うためのメニューを表示します。

入力ソースの選択



レスポンス データを収集するために使用する入力ソースを選択します。これにはレスポンス デバイス、キーボードのキー (0 ~ 9)、および自動シミュレーションが含まれます。レスポンス デバイスについては、**第3章「レスポンス デバイスと設定の管理」**を参照してください。

参加者



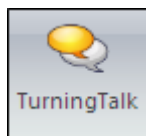
参加者リストを作成、編集および削除するためのオプションが用意されています。これらのオプションについては、**第4章「参加者とチームの追跡」**を参照してください。

インポート



他のソースから TurningPoint プレゼンテーションを作成するためのオプションが用意されています。インポートの詳細については、**第5章「ツール」**を参照してください。

Turning Talk



Turning Technologies の製品を使用しているユーザーの学習コミュニティである TurningTalk ユーザー コミュニティを開きます。

TurningPoint ヘルプの表示



ヘルプ ファイルを開きます。

# カスタマ サポートのリソース

質問や疑問がある場合は、オンラインで、または Turning Technologies 担当者へお電話にてお問い合わせください。

## オンライン アシスタンス

Turning Technologies では、<http://www.turningtechnologies.com> の Web サイトでオンライン アシスタンスを提供しています。

Web サイトの [Product Guides and Manuals] セクションに移動すると、クイック スタート ガイドなど、TurningPoint の使い方に関する便利な情報が見つかります。

Turning Technologies の Web サイトの [Product Training] セクションに移動すると、[Support] の下に以下のような情報が見つかります。

- ・ チュートリアル
- ・ オンライン トレーニング
- ・ オンサイト トレーニング
- ・ ケース スタディ
- ・ プレゼンテーション

## カスタマ サポート

Turning Technologies カスタマ サービス部では、月曜日～金曜日の午前 7 時～午後 9 時（東部標準時）にご利用いただけるテクニカル サポートを提供しています。米国本土からカスタマ サービスへご連絡いただく場合は、通話料無料の 1.866.746.3015 をご利用ください。また、カスタマ サービスへは電子メール ([support@turningtechnologies.com](mailto:support@turningtechnologies.com)) でもお問い合わせいただくことができます。電子メールの場合は、2 営業日までにご返信させていただきます。

*お問い合わせ先 :*

Turning Technologies 255 West Federal Street Youngstown, OH 44503

Turning Technologies では、TurningPoint の幅広いトレーニングを提供しています。弊社のトレーナーが、オンサイトで必要なトレーニングを行います。また、オハイオ州にある弊社のトレーニング施設を利用することもできます。

一般的なトレーニング セッションは、TurningPoint の目的の用途および Microsoft Office 製品のスキル レベルに応じて、2～6 時間かかります。トレーニング サービスの詳細については、1.866.746.3015 までお問い合わせください。

# 2 スライドの作成と保存

## スライドの作成

スライドの作成方法は2通りあります。

- ・ [スライドの挿入] メニューを使用して TurningPoint テンプレートを挿入します。
- ・ 既存の PowerPoint スライドを TurningPoint スライドに変換します。

---

### スライドの挿入

プレゼンテーションにスライドを挿入するには ...

- 1 TurningPoint を開きます。
- 2 プレゼンテーションを開くか、新しいプレゼンテーションを作成します。
- 3 Turning Point リボンの [スライドの挿入] をクリックします。
- 4 [スライドの挿入] メニューから、スライドの種類を選択します。
  - プレゼンテーションに新しいスライドが挿入されます。
  - 新しいスライドには、選択したスライドの種類に応じて、質問領域、回答領域、およびグラフ領域が含まれます。
- 5 質問領域のテキストを編集して、出席者に対する質問を入力します。
- 6 回答領域のテキストを編集して、参加者が質問に応答する際に選択できる項目を入力します。
  - 回答領域には最大で 10 件の回答を入力できます。
  - この手順を必要なだけ繰り返して、インタラクティブなプレゼンテーションを作成します。

## プレゼンテーション スライドの保存

TurningPoint スライドはネイティブな PowerPoint スライドなので、プレゼンテーションファイルの一部として .pptx ファイルに保存されます。このファイルは、他の TurningPoint や PowerPoint のユーザーと共有できます。

**注記** TurningPoint がインストールされていないコンピュータでも、プレゼンテーションを安全に開くことができます。ただし、TurningPoint がインストールされていないコンピュータでは、TurningPoint スライドを編集しないでください。編集した場合、次にインタラクティブなプレゼンテーションを実行するときに、正しく動作しない可能性があります。

プレゼンテーションを保存するには ...

- 1 PowerPoint のメニューから、[Office] ボタン、次に [名前を付けて保存] をクリックします。
- 2 ファイルの保存場所を選択し、表示された領域にファイル名を入力します。

PowerPoint でプレゼンテーション ファイルを開けるように、ファイル名の拡張子 .pptx は付けたままにしてください。

- 3 [保存] をクリックします。

[設定] メニューで定義したプレゼンテーション レベルの設定がすべて、インタラクティブなプレゼンテーションに保存されます。プレゼンテーションを別のコンピュータで開くと、コンピュータのデフォルトの設定の代わりに、保存されているプレゼンテーションの設定が使用されます。この機能により、自分のカスタム設定が保持されるので、TurningPoint がインストールされている異なるコンピュータでプレゼンテーションを開くたびに、それらの設定を適用し直す必要はありません。設定の詳細については、**第 3 章「レスポンス デバイスと設定の管理」**を参照してください。

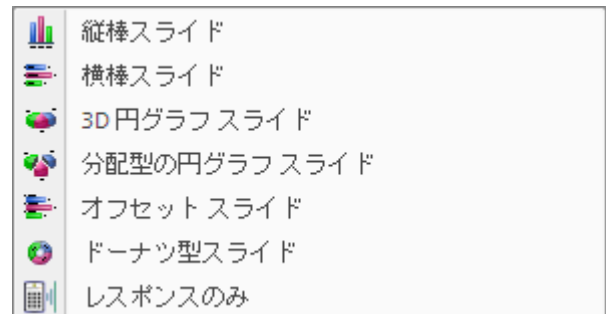
# スライドの種類

TurningPoint リボンの [スライドの挿入] メニューには、プレゼンテーションに挿入できるスライドのさまざまな種類が表示されます。

## グラフ スライド

[スライドの挿入] メニューの最初の 7 種のスライドでは、指定した種類のグラフを含むテンプレート スライドが挿入されます。グラフとしては、縦棒グラフ、横棒グラフ、3D 円グラフ、分配型の円グラフ、オフセット グラフ、ドーナツ型グラフ、またはレスポンスのみがあります。グラフには、出席者が回答ごとに選択した結果が表示されます。

### グラフ スライドのメニュー



[スライドの挿入] メニューの 7 種のグラフ スライドには、それぞれ以下のものが含まれます。

- ・「質問テキストの入力 ...」というテキストを含む質問領域
- ・「回答テキストの入力 ...」というテキストを含む回答領域
- ・指定した種類のグラフが含まれるグラフ領域

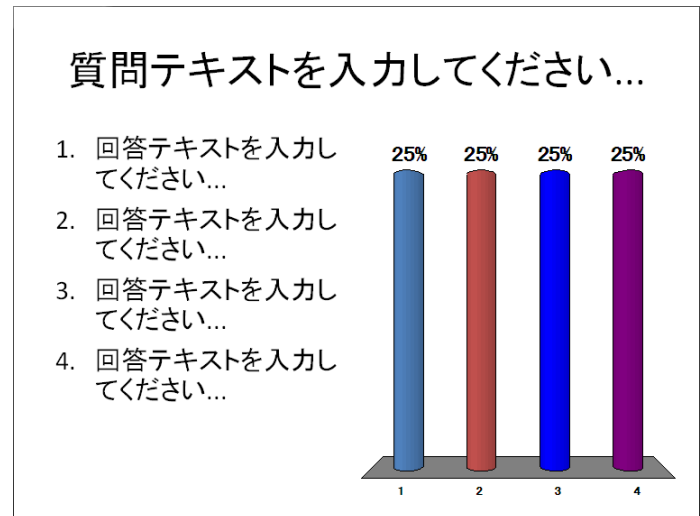
**注記** レスポンスのみスライドにはグラフは含まれません。

グラフは TurningPoint スライド上のオブジェクトで、通常のオブジェクトと同様に移動したり、サイズを変更したりすることができます。TurningPoint スライドのグラフの種類は、41 ページの「[グラフの種類の変更](#)」に示す手順で変更できます。

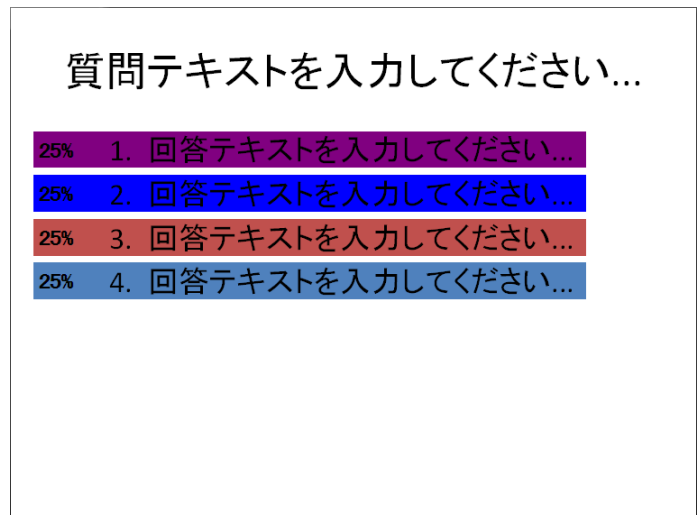


**縦棒スライド**

縦棒スライドには、回答ごとの縦棒が表示される棒グラフが含まれます。

**縦棒スライド****横棒スライド**

横棒スライドには、回答ごとの横棒が表示される棒グラフが含まれます。それぞれの棒には、回答領域の対応する回答が表示されます。

**横棒スライド**

**3D 円グラフ スライド**

3D 円グラフ スライドには 3 次元の円グラフが含まれます。回答ごとにスライスと色の凡例が表示されます。

**3D 円グラフ スライド**

質問テキストを入力してください...

1. 回答テキストを入力してください...
2. 回答テキストを入力してください...
3. 回答テキストを入力してください...
4. 回答テキストを入力してください...



■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

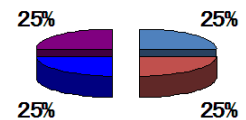
**分配型の円グラフ スライド**

分配型の円グラフ スライドは 3D 円グラフのスライドに似ていますが、スライスが互いに離れている点異なります。

**分配型の円グラフ スライド**

質問テキストを入力してください...

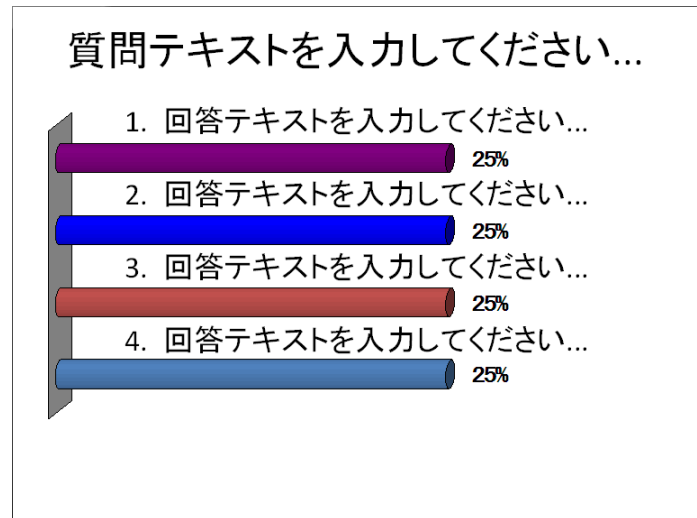
1. 回答テキストを入力してください...
2. 回答テキストを入力してください...
3. 回答テキストを入力してください...
4. 回答テキストを入力してください...



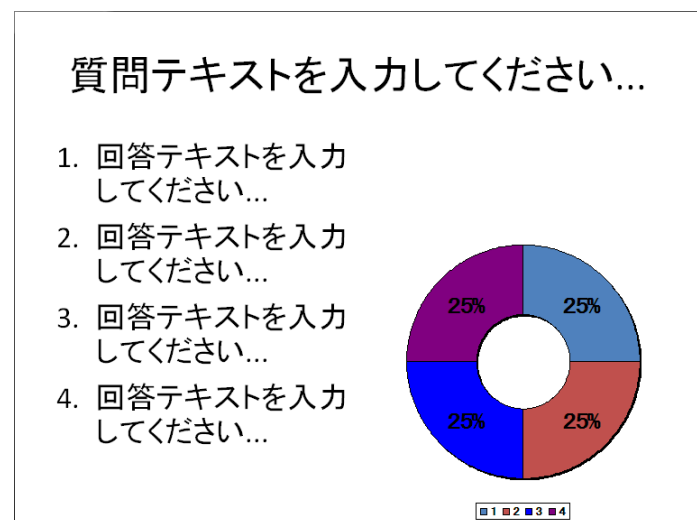
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

**オフセット スライド**

オフセット スライドには、回答ごとに横棒が表示される棒グラフが含まれます。それぞれの横棒は、回答領域の対応する回答のすぐ下に表示されます。

**オフセット スライド****ドーナツ型スライド**

ドーナツ型スライドには、中央に穴の空いた円グラフが含まれます。回答ごとにスライスと色の凡例が表示されます。

**ドーナツ型スライド**

### レスポンスのみスライド

レスポンスのみスライドには、レスポンスのテキスト結果のみが表示されます。結果は、設定に応じて、パーセンテージまたは投票数で表示されます。グラフは表示されません。

### レスポンスのみスライド

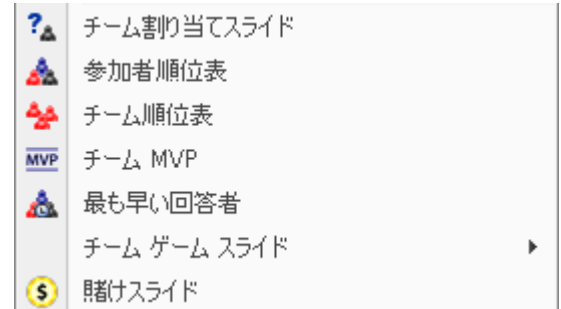
質問テキストを入力してください...

1. 回答テキストを入力してください... 0%

## 競争スライド

[スライドの挿入]メニューの2番目のセットに含まれるスライドは、競争のセットアップと結果表示で使用するスライドです。これらのスライドを使えば、チームを割り当てたり、最もポイントが高くてレスポンスが速い参加者やチームを追跡したりすることができます。

### 競争スライドのメニュー



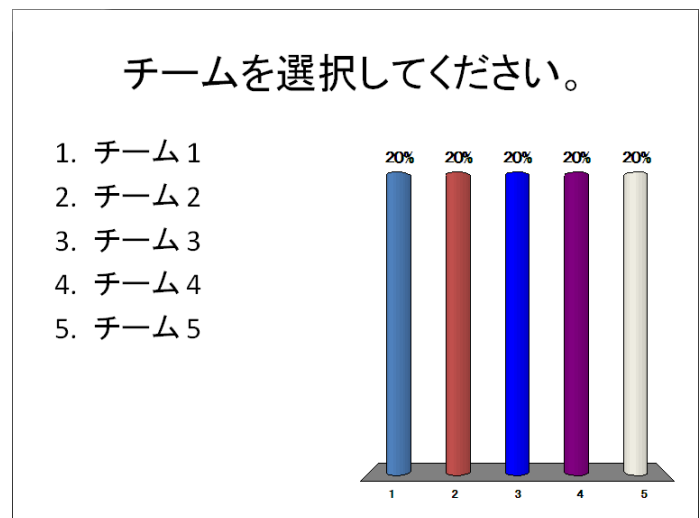
競争スライドには、チーム割り当てスライド、参加者順位表、チーム順位表、チーム MVP、最も早い回答者、チーム順位表スライド、および賭けスライドが含まれます。

順位表のスライドと最も早い回答者スライドは、毎回の質問の後に更新されるので、プレゼンテーションには1回だけ挿入します。プレゼンテーションの末尾に配置しておけば、そのスライドに移動するだけで、どの参加者またはチームがリードしているのかを確認できます。

### チーム割り当てスライド

チーム割り当てスライドでは、参加者がチームを選択できます。回答リストにチーム名を設定しておいてください。参加者は回答を送信して、自分が加わるチームを選択します。このスライドは、プレゼンテーションの早い段階で表示して、出席者が最初からチームに加わるようにしてください。

### チーム割り当てスライド



チーム割り当てスライドを使用すれば、チームを動的に編成できます。一方、参加者リストでグループを割り当てれば、同じ参加者を常に同じチームにすることができます。競争の設定の詳細については、**第4章「参加者とチームの追跡」**を参照してください。

**参加者順位表**

参加者順位表スライドには、各参加者のポイントに基づいて、上位の参加者が表示されます。このスライドは、毎回の質問の後に動的に更新されます。

**参加者順位表**

参加者の得点	
0	参加者 1
0	参加者 2
0	参加者 3
0	参加者 4
0	参加者 5

スライドに表示する参加者の数は、TurningPoint の設定で指定できます。また、毎回のポイントを合計するか、それとも直前の質問のポイントだけで決定するかを指定できます。設定の変更の詳細については、**第3章「レスポンス デバイスと設定の管理」**を参照してください。

**チーム順位表**

チーム順位表スライドには、各チームのポイント合計に基づいて、上位のチームが表示されます（チームの参加者のポイント平均がチームのポイントになります）。スライドは、各質問の後で動的に更新されます。

**チーム順位表**

チーム得点	
0	チーム 1
0	チーム 2
0	チーム 3
0	チーム 4
0	チーム 5

スライドに表示する参加者のチーム数は、TurningPoint の設定で指定できます。また、毎回のポイントを合計するか、それとも直前の質問のポイントだけで決定するかを指定できます。設定の変更の詳細については、**第3章「レスポンス デバイスと設定の管理」**を参照してください。

**チーム MVP**

チーム MVP スライドには、各チームで最もポイントの多い参加者が表示されます。この機能を使用するには、参加者リスト、チーム、および正解を設定しておく必要があります。このスライドは、各質問の後で動的に更新されます。

**チーム MVP スライド**

チーム MVP		
ポイント	チーム	参加者
0	チーム	参加者
0	チーム	参加者
0	チーム	参加者
0	チーム	参加者
0	チーム	参加者
0	チーム	参加者
0	チーム	参加者
0	チーム	参加者
0	チーム	参加者
0	チーム	参加者
0	チーム	参加者

**最も早い回答者**

最も早い回答者スライドには、直前の質問に対して正しく回答した参加者のうち、最も早かった回答者が表示されます。この機能を使用するには、正解またはポイント値を設定しておく必要があります。このスライドは、各質問の後で動的に更新されます。

**最も早い回答者**

最も早い回答者 (秒)	
0	参加者 1
0	参加者 2
0	参加者 3
0	参加者 4
0	参加者 5

**レース順位表スライド**

レース順位表スライドは、チーム順位表データのグラフ表示を提供し、3つのパーツから成るシステムです。ステージ 1 とステージ 2 は同じスライドに表示されます(下の図)。ステージ 1 では、全チームがスタートラインに並んでいるところが表示されます。ステージ 2 ではアニメーションが動き出し、オブジェクトが前進して、現在のラウンドの勝者を表示します。チーム競争スライドが終了すると、勝者スライド(下の図)が表示されます。

**レース順位表スライド - 気球レース**

1



2



勝ちました!





レース順位表スライド - ダービー レース

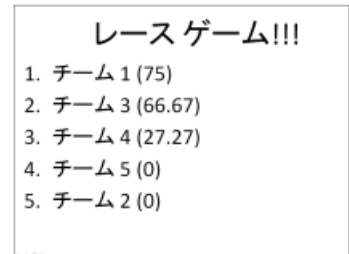
1



2-1



2-2



勝ちました!



### 賭けスライド

賭けスライドでは、参加者は、次の質問スライドに自分の手持ちポイントの何パーセントかを賭けることができます。参加者がスライドに正しく回答することができないと、賭けた分のポイントが失われます。参加者がスライドに正しく回答できると、賭けた分のポイントが得られます。

### 賭けスライド

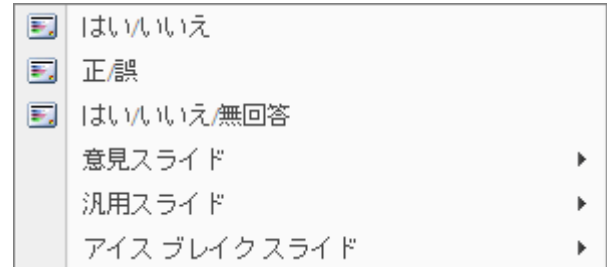
次の質問に対して、現在のポイントの何パーセントを賭けますか？

1. 0%
2. 25%
3. 50%
4. 75%
5. 100%

## テンプレート スライド

[スライドの挿入]メニューの3番目のセットに含まれるスライドは、一般によく使用される質問（はい/いいえ、正/誤、はい/いいえ/無回答、および意見スライド）の種類のテンプレート、および汎用スライドとアイスブレイク スライドです。

### テンプレート スライドのメニュー



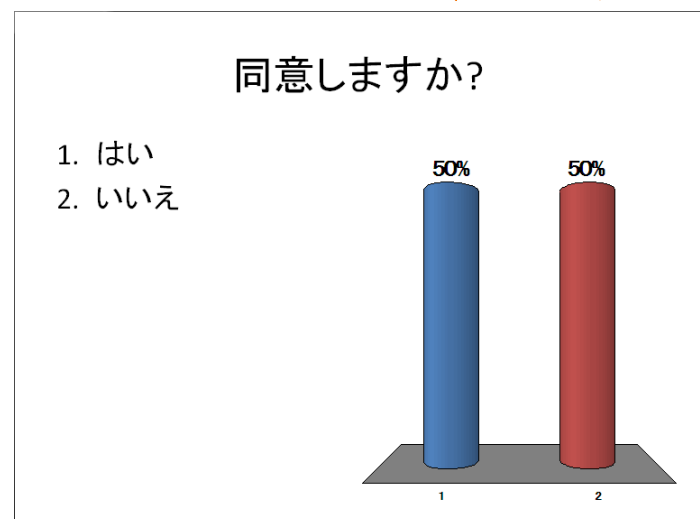
いずれかのテンプレート スライドを挿入すると、既定の種類のグラフ ([設定] で指定されたもの) がスライドに配置されます。グラフの種類は挿入したスライド上で変更できます。グラフの種類の変更については、11 ページの「[グラフ スライド](#)」を参照してください。

**注記** プレゼンテーション レベルの設定である [スタンダード グラフの種類] の設定を使用すると、既定のグラフを6種類のグラフのいずれかに変更することができます。設定の変更の詳細については、[第3章「レスポンス デバイスと設定の管理」](#)を参照してください。

### はい/いいえスライド

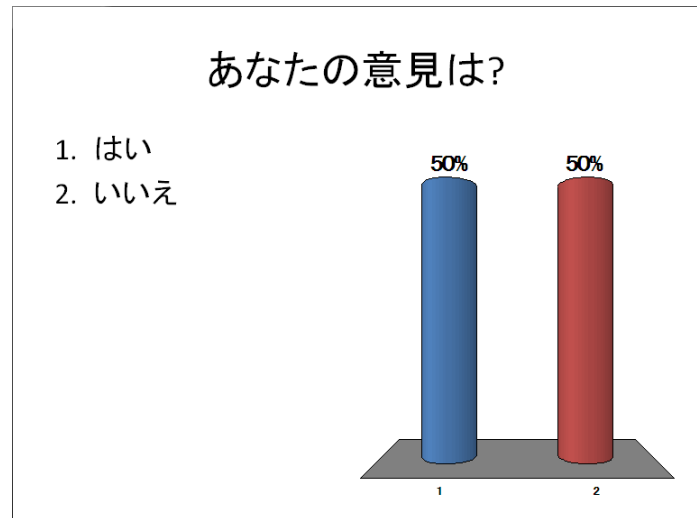
はい/いいえスライドは、はいまたはいいえでレスポンスを返す質問で使用します。スライドには一般的な表現の質問と回答が含まれています。質問のテキストは編集できます。

### はい/いいえスライド

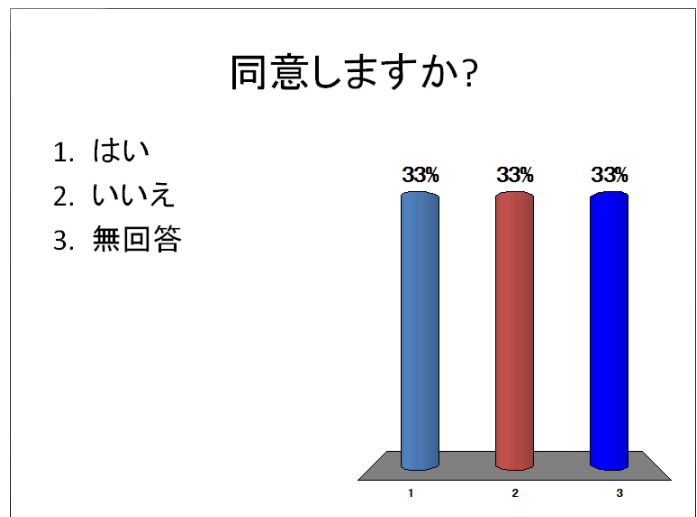


**正 / 誤スライド**

正 / 誤スライドは、正または誤でレスポンスを返す質問で使用します。スライドには一般的な表現の質問と回答が含まれています。質問のテキストは編集できます。

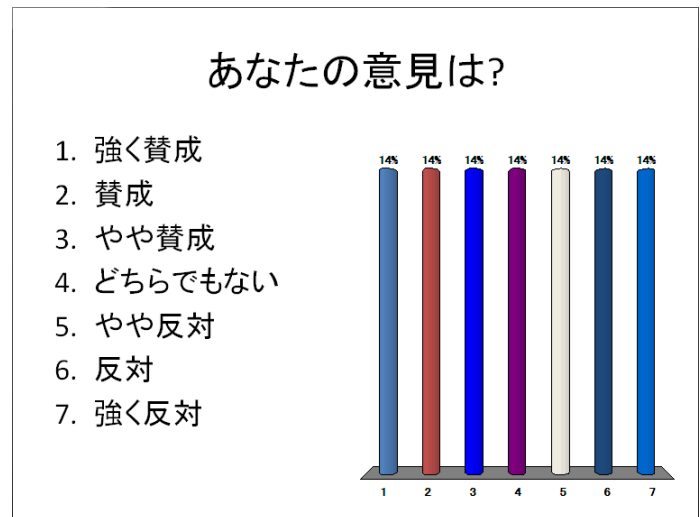
**正 / 誤スライド****はい / いいえ / 無回答スライド**

はい / いいえ / 無回答スライドは、「はい」または「いいえ」でレスポンスを返す以外に、回答しないオプションがある質問で使用します。スライドには一般的な表現の質問と回答が含まれています。質問のテキストは編集できます。

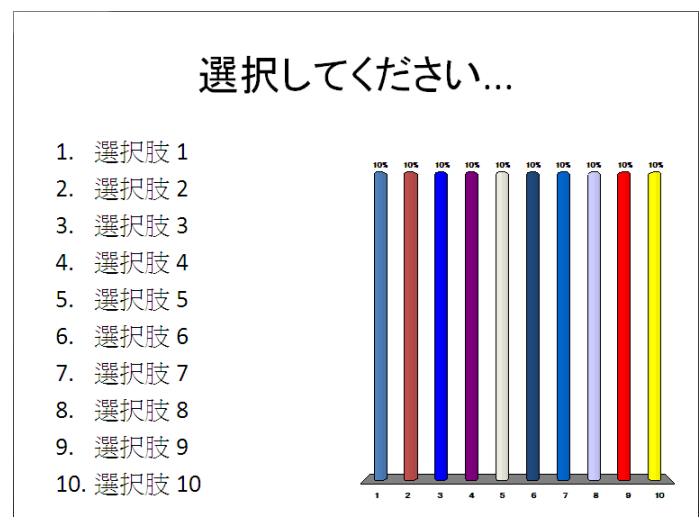
**はい / いいえ / 無回答スライド**

**意見スライド**

意見スライドは、特定の意見に対する同意または不同意をいくつかのレベルで返すために使用するスライドです。4、5、および7レベルの意見スライドがあります。スライドには一般的な表現の質問と回答が含まれています。質問のテキストは編集できます。

**意見スライド****汎用スライド**

汎用の2～10回答のスライドが用意されているので、最大10までの回答のスライドを挿入できます。スライドには一般的な表現の質問と回答が含まれています。質問と回答のテキストは編集できます。

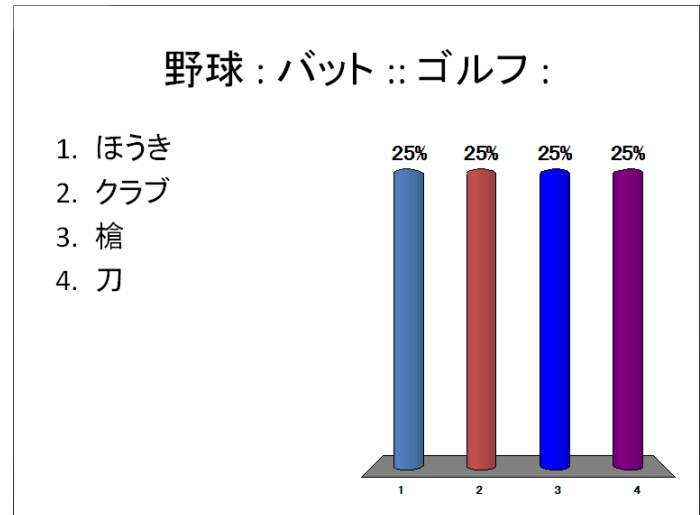
**汎用スライド**

### アイスブレイクスライド

アイスブレイクスライドは、類似探しや穴埋め問題の質問が含まれたスライドで、出席者を TurningPoint プレゼンテーションに参加させるためのものです。類似探しは自動的に生成されますが、穴埋め問題については単語を指定する必要があります。

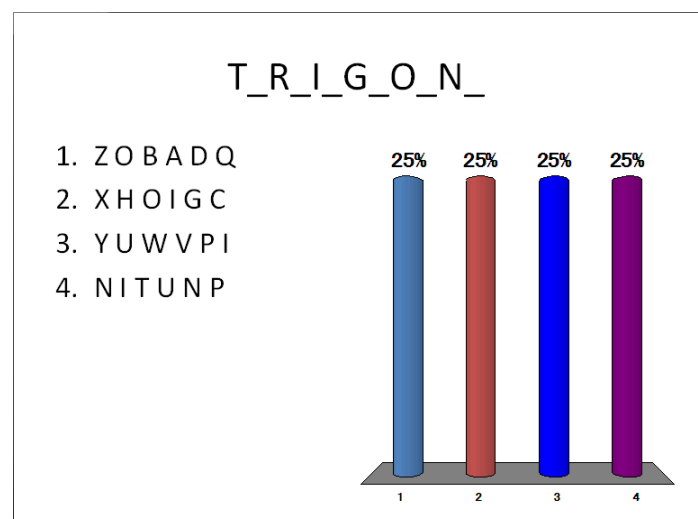
類似探しのアイスブレイクスライドでは、単語が1つ抜けた類似探しの質問を含むスライドが作成されます。4つの選択肢が含まれており、そのうちの1つが正しい選択肢としてマークされています。解答マークを含めると、集計後に正しい選択肢が表示されます。解答マークの追加の詳細については、64ページの「[解答マークの追加](#)」を参照してください。

### 類似探しスライド



穴埋め問題のアイスブレイクスライドでは、単語を完成させることが求められます。単語は、1文字おきに文字が抜けた状態で表示されます。抜けている文字は、並び順を変更した上で、4つの選択肢の1つとして表示されます。正しい選択肢には自動的にマークが付けられます。解答マークを含めると、集計後に正しい選択肢が表示されます。解答マークの追加の詳細については、64ページの「[解答マークの追加](#)」を参照してください。

### 穴埋め問題スライド



## 特別なスライド

[スライドの挿入]メニューの最後のセットに含まれるスライドは、特殊な用途のスライドです。これには、ResponseCard RF のチャンネル設定スライド、ResponseWare ログイン、空白入力スライド、数字のレスポンススライド、エッセイ スライド、優先度ランキング、デモグラフィック比較、比較リンク、および現行評価 (5 段階) が含まれます。

### 特別なスライドのメニュー

	ResponseCard RF チャンネル スライド
	ResponseWare ログイン
	空白入力スライド
	数値レスポンス スライド
	エッセイ スライド
	優先度ランキング
	デモグラフィック比較
	比較リンク
	現行評価 1 ~ 5

### ResponseCard RF のチャンネル設定スライド

ResponseCard RF のチャンネル設定スライドには、参加者が使用する ResponseCard 無線デバイスでの、チャンネルの設定の仕方が表示されます。

ResponseCard RF のチャンネル設定スライドは、参加者に対して、各自のレスポンス デバイスを設定する方法を説明します。隣接する部屋で同時にプレゼンテーションを実行している場合には、干渉を避けるため、部屋ごとに異なるチャンネルを使用する必要があります。

ResponseCard デバイスでチャンネルの設定を変更する場合には、まずレシーバのチャンネルを変更する必要があります。ResponseCard RF には 82 のチャンネル、ResponseCard XR と ResponseCard NXT には 74 のチャンネルがあります。デフォルトのチャンネルは 41 です。

レシーバでチャンネルを正しく設定したら、ResponseCard RF のチャンネル設定スライドをプレゼンテーションの最初の方で表示して、参加者が各自のデバイスのチャンネルを更新できるようにしてください。

### ResponseCard RF のチャンネル設定スライド

#### ResponseCard RF のチャンネル設定手順

1. [GO] ボタンまたは [CH] ボタンを押してから離します。
2. 赤および緑色のライトが点滅している間に、2 桁のチャンネルコード (チャンネル 1 = 01、チャンネル 21 = 21) を入力してください。
3. 2 桁目を入力した後、[GO] ボタンまたは [CH] ボタンを押してから離します。確認のために、ライトが緑色に点滅します。
4. [1/A] ボタンを押してから離します。確認のために、ライトが琥珀色に点滅します。

### ResponseWare ログイン スライド

ResponseWare ログイン スライドには、参加者が ResponseWare を使用して各自の応答を送信するために必要なセットアップについての情報が表示されます。

ResponseWare ログイン スライドには、ResponseWare Web セッションについての情報が表示されます。ResponseWare セッション情報には、Web アドレスとセッション ID が含まれています。出席者中の参加者が ResponseWare を使用する場合は、このスライドをプレゼンテーションを早い段階に挿入して、それらの参加者が正常に接続できるようにする必要があります。ResponseWare の使用法の詳細については、**第 3 章「レスポンス デバイスと設定の管理」**を参照してください。

### ResponseWare ログイン スライド

**ResponseWare ログイン**

ResponseCard

チャンネル: NA

ResponseWare

Web アドレス: <http://www.rwpoll.com/>  
 セッション ID: 397972

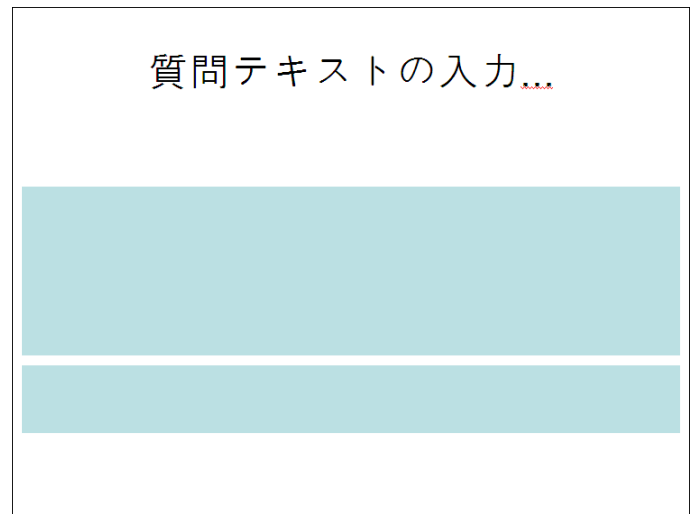


### 空白入カスライド

空白入カスライドには、質問を表示するための質問領域が含まれています。レスポンスはテキスト形式なので、これらのスライドには回答領域やグラフは含まれません。ResponseCard XR および ResponseWare ユーザーは英数字のレスポンスをさまざまな長さで入力できます。

TurningPoint の設定で、1 つまたは複数のキーワードを指定して、それらが含まれていた場合に回答を正しいと見なすことができます（レポートおよび評価に使用）。詳細については、**第3章「レスポンス デバイスと設定の管理」**を参照してください。

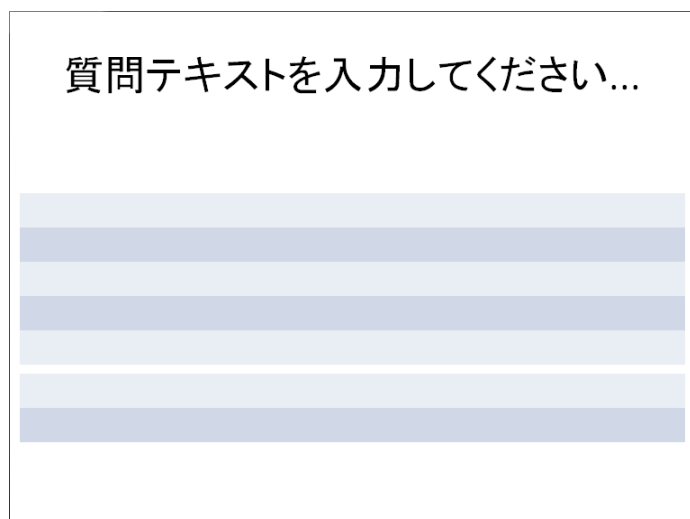
### 空白入カスライド



### 数字のレスポンス スライド

数字のレスポンス スライドには、質問を表示するための質問領域が含まれています。レスポンスはレスポンス デバイスから手動で入力されるので、これらのスライドには回答領域やグラフは含まれません。

### 数字のレスポンス スライド



### エッセイ スライド

エッセイ スライドには、質問を表示するための質問領域が含まれています。レスポンスはテキスト形式なので、これらのスライドには回答領域やグラフは含まれません。ResponseCard XR および ResponseWare ユーザーは英数字のレスポンスをさまざまな長さで入力できます。

### エッセイ スライド



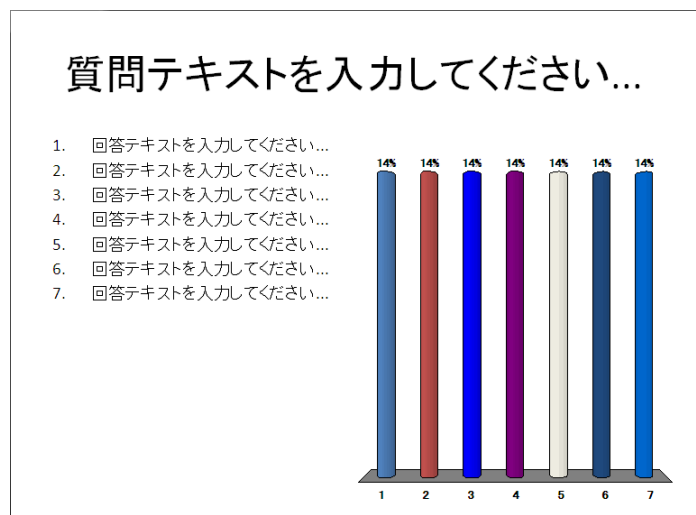
### 優先度ランキング スライド

優先度ランキング スライドでは、参加者の選択を重み付けし、それに応じて順位を決定します。

優先度ランキング スライドを使用する場合、参加者は質問またはポーリングに対して複数回応答することができます。各参加者に許可するレスポンスの数（最大で 10）を選択します。レスポンスは重み付けされ、各レスポンスにポイントが割り当てられます。デフォルトでは、1 番目の選択は 10 ポイント、2 番目の選択は 9 ポイント、のようになります。レスポンスの重みは、TurningPoint の設定で変更できます。

優先度ランキング スライドでは、参加者のレスポンスに基づいて、回答に割り当てられた重み付けされたスコアが表示されます。詳細については、34 ページの「[優先度ランキング スライドの挿入](#)」を参照してください。

### 優先度ランキング スライド

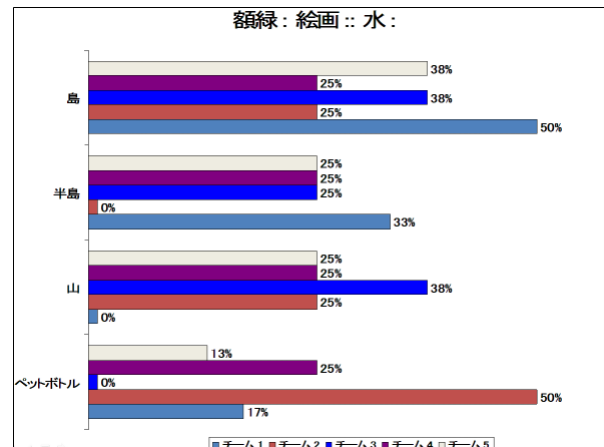


### デモグラフィック比較スライド

デモグラフィック比較スライドでは、特定のデモグラフィック情報に基づいて結果が表示されます。

デモグラフィック比較スライドには、質問の結果が、出席者から取得した特定のデモグラフィック情報に基づいて視覚的に表示されます。たとえば、参加者の年齢と視聴するテレビの関係を示す比較スライドとして挿入することができます。デモグラフィック比較スライドを使用するには、まずスライドを「デモグラフィック」として指定する必要があります。詳細については、39 ページの「**デモグラフィック スライドの指定**」を参照してください。

### デモグラフィック比較スライド

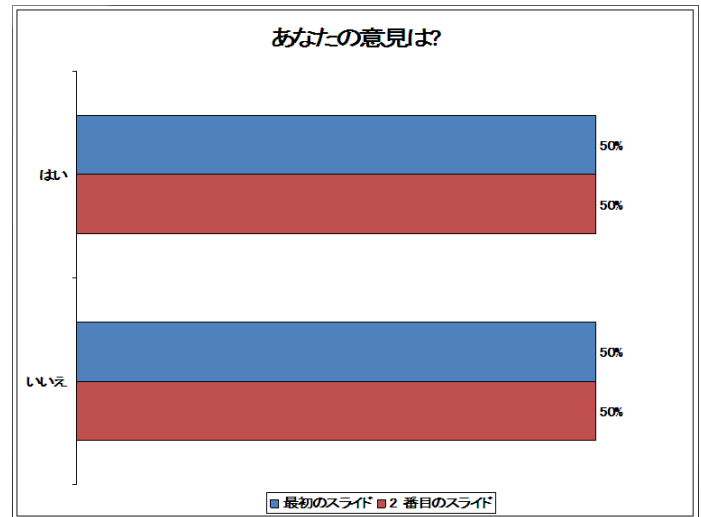


**ヒント** 読みやすくするため、比較対象の各質問の回答選択肢は5個以内にするをお勧めします。

### 比較リンク

比較リンク スライドでは、2つの別々のスライドの結果を1つのスライドに表示します。たとえば、プレゼンテーションの開始時と終了時に同じ質問をして、比較リンク スライドでそれぞれの回答を表示することができます。

#### 比較リンク スライド

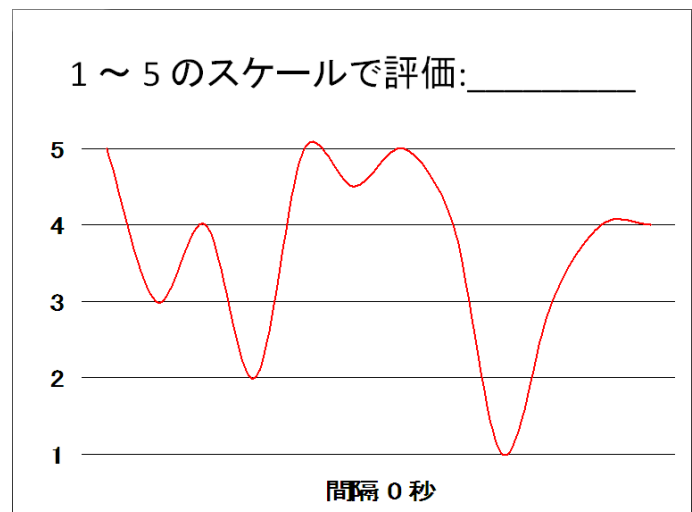


### 現行評価

現行評価スライドを使用すると、参加者は一定の期間中、定期的に1～5のスケールで何らかの対象を評価することができます。現行評価スライドには、質問用の質問領域、各集計時の平均回答とそれらの値を結ぶ曲線のグラフが含まれます。プレゼンテーションを先に進めると、集計は終了します。

現行評価スライドの集計間隔は、TurningPoint の [ 秒間 ] の設定（これはスライド レベルの設定です）を使用して、秒単位で設定できます。設定の変更の詳細については、[第3章「レスポンス デバイスと設定の管理」](#)を参照してください。

#### 現行評価スライド



# 特別なスライドの挿入

特別なスライドの挿入方法は、9 ページの「**スライドの挿入**」で説明したグラフ、競争、テンプレートとは異なっており、さらに種類ごとでも異なっています。これらのスライドを正しく動作させるには、付加的な情報や設定の変更が必要です。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ **数字のレスポンス スライドの挿入**
- ・ **優先度ランキング スライドの挿入**
- ・ **デモグラフィック比較スライドの挿入**
- ・ **比較リンク スライドの挿入**

## 数字のレスポンス スライドの挿入

数字のレスポンス スライドの用途の 1 つは、参加者に数学的な質問を尋ねることです。複数選択の質問の場合には、参加者が当て推量で正しく解答する可能性があります。このスライドの場合には、参加者は自身で決めた値をレスポンス デバイスに入力する必要があります。

数字のレスポンス スライドを挿入するには ...

- 1 数字のレスポンス スライドの挿入位置の前のスライドに移動します。
- 2 Turning Point リボンの [スライドの挿入] をクリックし、数字のレスポンス スライドを選択します。

### 数字のレスポンス ダイアログ ボックス

The dialog box titled "TurningPoint" has a close button (X) in the top right corner. It contains the following elements:

- A text input field labeled "許容可能な値" (Acceptable value).
- A checkbox labeled "範囲の設定" (Range setting).
- A text input field labeled "最小" (Minimum).
- A text input field labeled "最大" (Maximum).
- Two buttons at the bottom: "キャンセル" (Cancel) and "OK".

- 3 質問に対する [許容可能な値] を入力します。  
この値が、質問に対する正しい解答と見なされます。
- 4 特定の値ではなく、範囲を入力することもできます。
  - ・ [範囲の設定] チェックボックスをオンにします。
  - ・ [最小] を入力します。

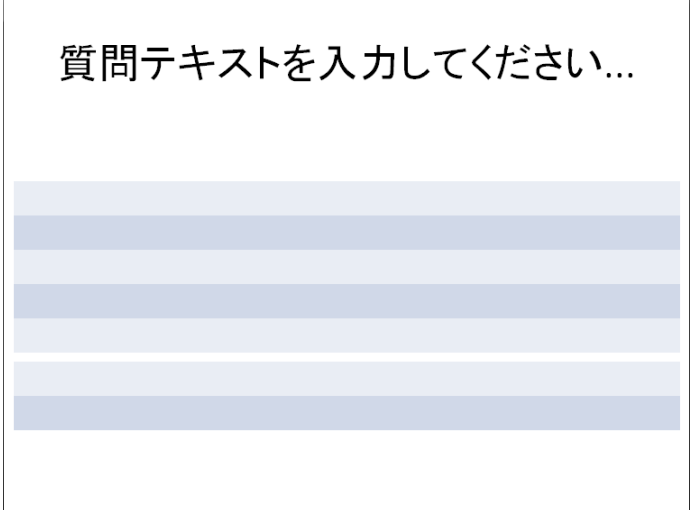
- [最大]を入力します。

**注記** [許容可能な値]と[範囲の設定]の両方を指定することもできます。

- 5 [OK]をクリックします。

新しいスライドが表示され、質問テキストの入力を求めるプロンプトが表示されます。

#### 数字のレスポンス スライド



質問テキストを入力してください...

- 6 質問を入力します。

## 優先度ランキング スライドの挿入

優先度ランキング スライドを使えば、参加者に、質問に対する複数の回答を許可することができます。回答は重み付けされ、それに基づいてランキングされます。

たとえば、次のような例を考えてみましょう。可能な回答が 5 つあるスライドを作成します。参加者には 3 つの回答（選択）を許可します。1 番目の選択は 10 ポイント、2 番目の選択は 9 ポイント、3 番目の選択は 8 ポイントとします。6 人の参加者が回答を返したとします。最初の 3 人の参加者は 5、4、3 の順で回答します。残りの 3 人の参加者は 1、2、3 の順で回答します。TurningPoint は結果を集計し、次のような表を得ます。

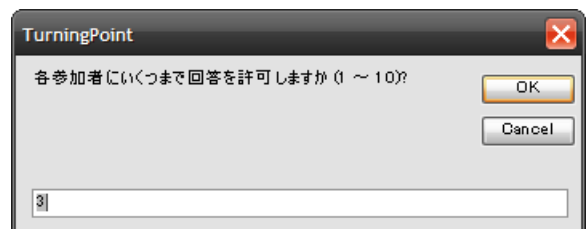
回答の番号	参加者の選択結果	回答が得たポイント	回答による合計ポイント
1	3 人が 1 番目の選択肢とした	10 ポイントが 3 人分	30
2	3 人が 2 番目の選択肢とした	9 ポイントが 3 人分	27
3	6 人が 3 番目の選択肢とした	8 ポイントが 6 人分	48
4	3 人が 2 番目の選択肢とした	9 ポイントが 3 人分	27
5	3 人が 1 番目の選択肢とした	10 ポイントが 3 人分	30

この表は、3 人ずつの参加者が回答 1 と 5 を第一の選択として選択したものの、6 人の参加者全員が回答 3 を第三の選択として選択したことを示しています。それで、グループ全体としては回答 3 が最も高い優先度になります。

優先度ランキング スライドを挿入するには ...

- 1 優先度ランキング スライドの挿入位置の前のスライドに移動します。
- 2 Turning Point リボンの [スライドの挿入] をクリックし、優先度ランキング スライドを選択します。

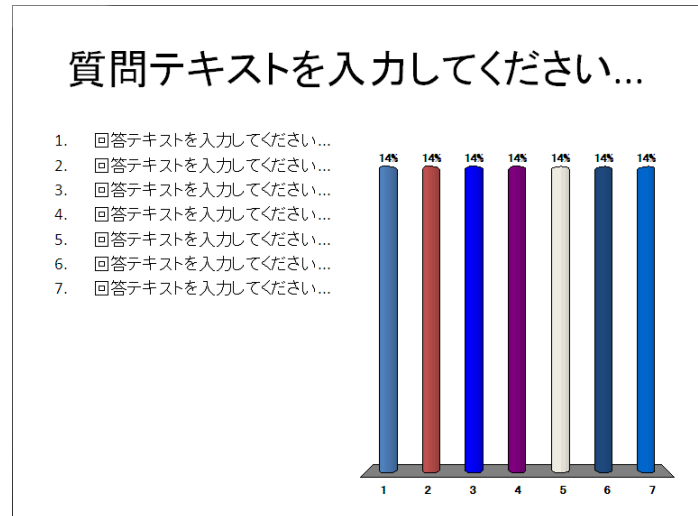
### 優先度ランキング ダイアログ ボックス



- 3 各参加者に許可する回答数を入力します。
- 4 [OK] をクリックします。

新しいスライドが表示され、質問テキストおよび回答テキストの入力を求めるプロンプトが表示されます。

### 優先度ランキング スライド



**注記** TurningPoint タスク ペインの優先度ランキング ボタンをクリックして、優先度ランキング スライドを作成することもできます。

#### 5 目的の質問と選択項目を入力します。

参加者に、選択した回数だけ回答するように求めます。参加者の選択結果が重み付けされ、順位が決定されます。重みは1番目のレスポンスが2番目よりも大きく、2番目のレスポンスが3番目よりも大きくなり、以降もそのように続きます。

## デモグラフィック比較スライドの挿入

デモグラフィック比較スライドを使用すると、出席者から収集した特定のデモグラフィック情報を基に、質問スライドの結果を視覚的に表示することができます。

デモグラフィック比較スライドを挿入できるようにするには、[設定]メニューでスライドを「デモグラフィック」として指定する必要がある点に注意してください。

デモグラフィック比較スライドを挿入するには ...

- 1 デモグラフィック比較スライドの挿入位置の前のスライドに移動します。
- 2 Turning Point リボンの [スライドの挿入] をクリックし、デモグラフィック比較スライドを選択します。



[デモグラフィック比較] ダイアログ ボックスが開きます。

### [デモグラフィック比較] ダイアログ ボックス



- 3 1 番目のドロップダウン メニューからデモグラフィック スライドを選択します。

どのスライドでも、「デモグラフィック」として指定しておけば、メニューに含まれます。スライドを「デモグラフィック」として指定する方法の詳細については、39 ページの「[デモグラフィック スライドの指定](#)」を参照してください。

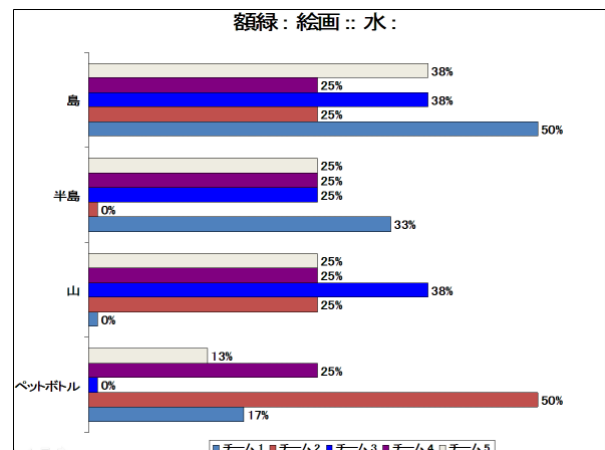
- 4 2 番目のドロップダウン メニューから、デモグラフィック スライドとリンクさせる質問スライドを選択します。

デモグラフィック スライドと質問スライドの両方を選択します。

- 5 [OK] をクリックします。

デモグラフィック比較スライドが挿入され、デモグラフィックの結果がグラフに表示されます。このスライドでは、質問スライドに基づいてそのタイトルが作成されます。

### デモグラフィック比較スライド



## 比較リンク スライドの挿入

比較リンク スライドでは、2 つの別々のスライドの結果を 1 つのスライドに表示します。

### 始める前に

比較リンクをセットアップするには、まず比較元にするスライドを作成してください。通常、比較する両方のスライドの回答数は同じになっている必要があります。比較結果を表示するスライドは、比較対照のスライドの結果を表示できるように、それらのスライドの後に配置する必要があります。

比較リンクを作成するには ...

- 1 Turning Point リボンの [スライドの挿入] をクリックし、比較リンク スライドを選択します。

[比較リンク] ウィンドウが表示されます。

### [比較リンク] ウィンドウ



- 2 [最初のスライド] ドロップダウン メニューからスライドを選択します。
- 3 [2 番目のスライド] ドロップダウン メニューから、比較するスライドを選択します。
- 4 [OK] をクリックします。
  - 比較リンク スライドがプレゼンテーションに挿入されます。
- 5 手順 1 ~ 4 を繰り返して、追加の比較リンクスライドを追加します。

### 次の手順

回答データの収集後に、最初のスライドと 2 番目のスライドの結果がグラフに反映されます。

比較リンクスライドの削除は、単純にプレゼンテーションから削除するだけでかまいません。

# スライドの変更

TurningPoint スライドは、通常の PowerPoint スライドに特別な機能を加えただけのものなので、通常の PowerPoint スライドと同様に使用することができますし、カスタマイズもできます。スライドの順序変更、オブジェクトの移動、テキストおよび写真の追加、フォントおよび配色の適用、およびアニメーションの使用といったことが可能です。

## **警告** Office 2007 および Office 2010 のユーザー

TurningPoint スライドにカスタムのアニメーションを追加すると、TurningPoint のアニメーションが正しく動作しなくなることがあります。これらのスライドには他のアニメーションを追加しないことをお勧めします。

TurningPoint がスライドに付加した特徴は、グラフの種類や色を変更したり、回答用の図を使用したり、解答マークを追加したりして変更できます。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ *デモグラフィック スライドの指定*
- ・ *グラフの種類の変更*
- ・ *[設定] ウィンドウで正しい回答を指定する*
- ・ *TurningPoint スライドで正しい回答を指定する*
- ・ *空白入力スライドでのキーワードの使用*
- ・ *得点の値を [設定] ウィンドウから設定する*
- ・ *TurningPoint スライドでポイント値を設定する*
- ・ *回答値を [設定] ウィンドウからクリアする*
- ・ *TurningPoint スライドで回答値をクリアする*
- ・ *グラフを挿入して PowerPoint スライドをインタラクティブにする*

## デモグラフィック スライドの指定

スライドをデモグラフィックとして指定すれば、出席者内の特定のグループが特定の質問にどう応答するかを調べることができます。「デモグラフィック」として指定したスライドは、デモグラフィック比較スライドやデモグラフィック レポートと組み合わせて使用することができます。

スライドを「デモグラフィック」として指定するには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ ツール ] をクリックし、[ 設定 ] を選択します。

[ 設定 ] ウィンドウが開きます。

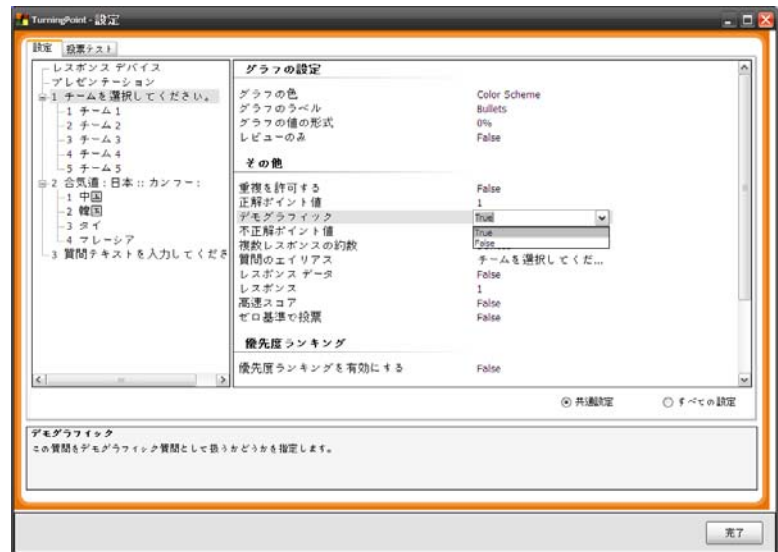
### [ 設定 ] ウィンドウ



- 2 設定階層から、デモグラフィックとして指定するスライドを選択します。
  - ウィンドウの右ペインにスライドで使用できる設定が表示されます。
- 3 [ その他 ] で [ デモグラフィック ] を選択します。

ドロップダウンメニューが開きます。

### デモグラフィック スライドの設定

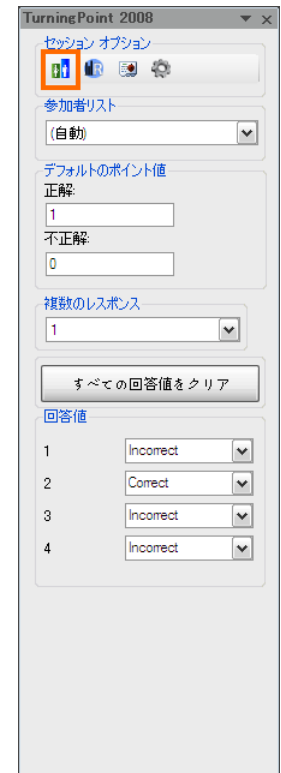


- 4 [True] を選択します。
- 5 [終了] をクリックします。

スライドはデモグラフィック スライドになります。

- または、設定ペインの [デモグラフィック] ボタンをクリックします。

### 設定ペイン - [デモグラフィック] ボタン



## グラフの種類の変更

[オブジェクトの挿入] メニューを使用すれば、TurningPoint スライドのグラフの種類を変更することができます。

グラフの種類を変更するには ...

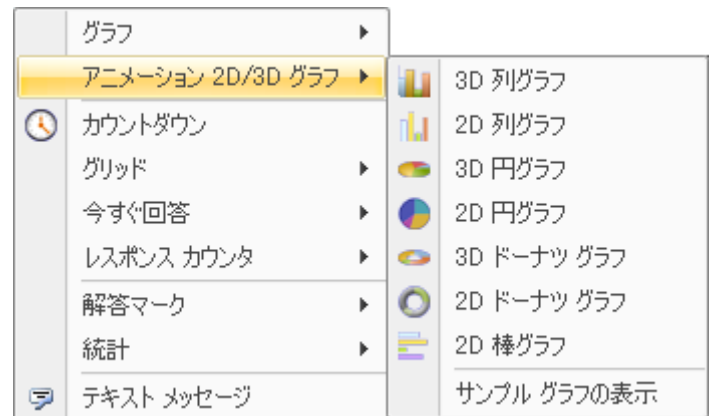
- 1 グラフを変更する TurningPoint スライドに移動します。

- 2 TurningPoint リボンの [オブジェクトの挿入] をクリックし、[グラフ] または [アニメーション 2D/3D グラフ] にマウスを合わせます。

### オブジェクトの挿入：グラフ



### オブジェクトの挿入：アニメーション 2D/3D グラフ



- 3 グラフの種類を選択します。

グラフの種類を選択すると、スライド上のグラフがその種類に合わせて変わります。

レスポンスのみを選択すると、スライド上の TurningPoint グラフは削除され、集計時には回答の割合または回答数だけが表示されます。

**注記** アニメーション 2D/3D グラフを挿入するには、Adobe Flash Player がインストールされている必要があります。最新のバージョンの Flash は、以下の URL からダウンロードしてください。  
<http://get.adobe.com/flashplayer/>

## [設定] ウィンドウで正しい回答を指定する

TurningPoint スライドで正しいまたは正しくないと見なす回答は、[設定] ウィンドウで割り当てることができます。回答の値を設定しておけば、投票後に、解答マークを使って正答を示すことができます。

デフォルトでは、[正解]とマークされた回答には 1 ポイント、[不正解]とマークされた回答には 0 ポイントの値が割り当てられます。

### [設定] ウィンドウで回答を正解とマークするには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[設定] を選択します。
- 2 設定階層から、正しい回答を指定するスライドを選択します。
- 3 正しいものとして指定する回答を選択します。
- 4 [回答値] ドロップダウン メニューから [正解] を選択します。

選択した回答は [正解] として設定されます。スライドの他の回答は自動的に [不正解] として設定されます。

**注記** スライドから、[回答値] を [正解] または [不正解] に設定することもできます。詳細については、43 ページの「TurningPoint スライドで正しい回答を指定する」を参照してください。

別の回答に対してこれらの手順を繰り返せば、同じスライド上で複数の回答を正しい回答にすることができます。

[正解] とマークした回答を [不正解] に変更するには、これらの手順を繰り返し、ドロップダウン メニューから代わりに [不正解] を選択します。

## TurningPoint スライドで正しい回答を指定する

デフォルトでは、[正解]とマークされた回答には 1 ポイント、[不正解]とマークされた回答には 0 ポイントの値が割り当てられます。

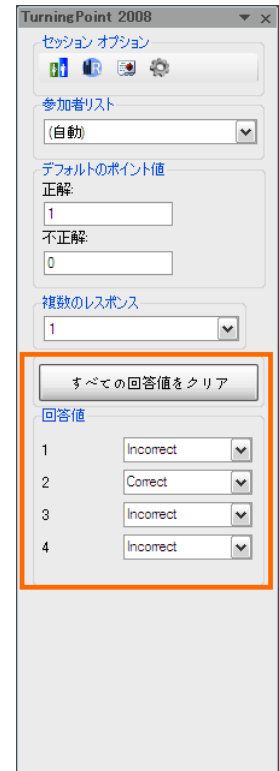
### 回答を正解とマークするには ...

- 1 正解をマークするスライドに移動します。
- 2 カーソルをスライドの回答領域に合わせます。



[回答値] タスク ペインが開き、回答のリストと、それらの現在の回答値が表示されます。

### 設定ペイン - 回答値



TurningPoint 2008

セッション オプション

参加者リスト  
(自動)

デフォルトのポイント値  
正解  
1  
不正解  
0

複数のレスポンス  
1

すべての回答値をクリア

回答値

1	Incorrect
2	Correct
3	Incorrect
4	Incorrect

- 3 [回答値] ドロップダウン メニューから [正解] を選択します。

選択した回答が [ 正解 ] として設定され、他の回答が自動的に [ 不正解 ] として設定されます。

### [ 回答値 ] タスク ペイン: [ 正解 ] を選択

TurningPoint 2008

セッション オプション

参加者リスト  
(自動)

デフォルトのポイント値  
正解  
1  
不正解  
0

複数のレスポンス  
1

すべての回答値をクリア

回答値

1	Incorrect
2	Correct
3	No Value
4	Incorrect

**注記** スライド レベルの設定である [ 回答値 ] の設定で、回答ごとに [ 正解 ] または [ 不正解 ] の値を設定することもできます。詳細については、43 ページの「**[ 設定 ] ウィンドウで正しい回答を指定する**」を参照してください。

別の回答に対してこれらの手順を繰り返せば、同じスライド上で複数の回答を正しい回答にすることができます。

[ 正解 ] とマークした回答を [ 不正解 ] に変更するには、これらの手順を繰り返し、ドロップダウン メニューから代わりに [ 不正解 ] を選択します。

## 空白入カスライドでのキーワードの使用

空白入カスライドには、回答は示されていません。ただし、空白入カスライドへの回答に特定の語句（キーワード）が含まれていたなら、その回答を正しいとカウントするように指定することができます。

キーワードを使用するには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ ツール ] をクリックし、[ 設定 ] を選択します。

[ 設定 ] ウィンドウが開きます。

### [ 設定 ] ウィンドウ



- 2 スライドをまだ選択していない場合には、設定階層からキーワードを割り当てるスライドを選択します。

- 3 [その他]で[キーワード]を選択します。

### [設定] ウィンドウ：キーワード



**注記** [キーワード]の設定は、空白入力スライドまたはエッセイスライドを選択した場合にのみ表示されます。キーワードはエッセイスライドにも割り当てることができませんが、レポートおよび評価を目的としている場合、キーワードは空白入力スライドでのみ考慮されます。

- 4 表示されたスペースに、キーワードとして追加する語句を入力します。

複数のキーワードは、セミコロンで区切ります。回答にいずれかのキーワードが含まれていて、それに正解の値が設定されていた場合には、その回答は正しいと見なされます。

- 5 [設定] ウィンドウの [終了] をクリックします (設定は自動的に保存されます)。

## 得点の値を [設定] ウィンドウから設定する

回答の値は、競争用およびレポート用のサマリ スライドで得点を計算するために使用されます。

異なる回答に異なる得点を割り当てることもできます (特定の答えに高い得点を与えたい場合など)。正解に設定されている回答の規定値は 1 で、不正解に設定されている回答の規定値は 0 です。

回答のポイント値を設定するには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[設定] を選択します。

プレゼンテーション全体で同じポイント値を設定するには、手順 2 に進みます。特定のスライドに対してポイント値を設定するには、手順 3 に進みます。

## 2 プレゼンテーション全体で同じポイント値を設定するには：

- a 設定階層から [プレゼンテーション] を選択します。

ウィンドウの右ペインには利用できるプレゼンテーションの設定が表示されます。

## [設定] ウィンドウ：プレゼンテーションの設定



- b [その他] で [正解ポイント] を選択します。

正解に対するポイント値を入力するテキスト ボックスが表示されます。可能なポイント値の範囲は -10,000 ~ 10,000 です。

## [設定] ウィンドウ：正解ポイント



- c 正解ポイント値を入力します。

- d Enter キーを押します。

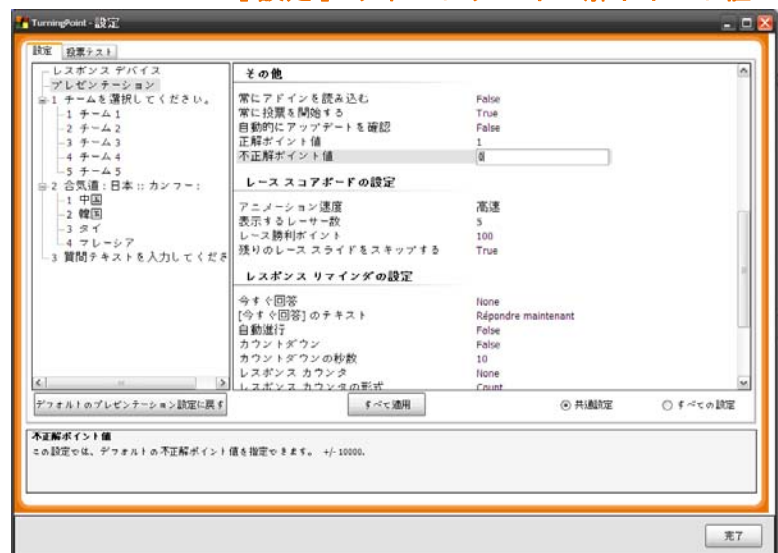
**注記** プレゼンテーションの既存のすべてのスライドに対してポイント値を設定するには、[すべて適用]を選択します。

不正解ポイント値を設定する場合には、手順 e に進みます。すべての不正解ポイント値が設定されたら手順 4 に進みます。

- e [その他] で [不正解ポイント値] を選択します。

不正解に対するポイント値を入力するテキスト ボックスが開きます。

### [設定] ウィンドウ：不正解ポイント値



- f 不正解ポイント値を入力します。  
g Enter キーを押します。

**注記** プレゼンテーションの既存のすべてのスライドに対してポイント値を設定するには、[すべて適用]を選択します。

特定のスライドに対してポイント値を設定するには、手順 3 に進みます。そうでなければ、手順 4 に進みます。

- 3 個々のスライドに対してポイント値を設定するには：
- 設定階層からスライドを選択します。
  - [その他] で [正解ポイント] を選択します。

正解に対するポイント値を入力するテキストボックスが表示されます。可能なポイント値の範囲は -10,000 ~ 10,000 です。

### 【設定】ウィンドウ：正解ポイント



- c 正解ポイント値を入力します。
- d Enter キーを押します。

正解ポイント値が設定されます。不正解ポイント値を設定する場合には、手順 e に進みます。すべてのポイント値が設定されたら 手順 4 に進みます。

- e [その他] で [不正解ポイント値] を選択します。

不正解に対するポイント値を入力するテキストボックスが開きます。可能なポイント値の範囲は -10,000 ~ 10,000 です。

### 【設定】ウィンドウ：不正解ポイント値



- f 不正解ポイント値を入力します。

g Enter キーを押します。

不正解ポイント値が設定されます。

スライドごとに手順 3 を繰り返して、個々のポイント値を割り当てます。ポイント値の設定を終えたら、手順 4 に進みます。

ポイント値を変更するには、同じスライドに対してこれらの手順を繰り返し、代わりに新しいポイント値を入力します。

**注記** TurningPoint スライド上で直接ポイント値を設定することもできます。詳細については、51 ページの「**TurningPoint スライドでポイント値を設定する**」を参照してください。

4 [終了] をクリックします。

個人またはチームの競争に対し、レスポンスの速さに応じてポイントを与えるには、速効スコアを使用します。

**注記** 正解に対してマイナスのポイント割り当てた場合、または不正解に対してプラスのポイント割り当てた場合には、ポイント値レポートを使用してください。パーセンテージレポートは、マイナスのポイントを持った正解を不正解として、プラスのポイントを持った不正解を正解として扱いません。

## TurningPoint スライドでポイント値を設定する

回答値は、競争およびレポート用のサマリ スライドで個人およびチームの得点を計算するために使用されます。

異なる回答に異なる得点を割り当てることもできます（特定の答えに高い得点を与えたい場合など）。正解に設定されている回答の規定値は 1 で、不正解に設定されている回答の規定値は 0 です。

回答のポイント値を設定するには ...

- 1 ポイント値を設定するスライドに移動します。
- 2 設定タスク ペインの設定が有効になっていることを確認します。



設定ペインを有効にするには、[ツール]>[設定ペインを有効にする]をクリックします。

### 設定タスク ペインの設定を有効にする



- 3 ポイント値を割り当てる回答に対応する回答値ボックスに、カーソルを合わせます。
- 4 ダイアログ ボックスにポイント値を入力し、Enter キーを押します。

選択した回答のポイント値が設定されます。

**注記** [設定] ウィンドウでポイント値を設定することもできます。詳細については、47 ページの「**得点の値を [設定] ウィンドウから設定する**」を参照してください。

これらの手順を繰り返して、他の回答に対するポイント値を設定します。

同じ回答に対してこれらの手順を繰り返し、代わりに新しいポイント値を入力すれば、ポイント値を変更できます。

## 回答値を [設定] ウィンドウからクリアする

回答値は [設定] ウィンドウから元の値にリセットすることができます。このオプションは、以下で説明する手順を実行した後に作成するスライドにのみ影響します。既存のスライドの回答値をクリアする場合には、TurningPoint スライドから実行する必要があります。

プレゼンテーションの回答値をクリアするには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[設定] を選択します。
- 2 設定階層から [プレゼンテーション] を選択します。

ウィンドウの右パネルには利用可能な設定が表示され、設定階層の下には [デフォルトのプレゼンテーション設定に戻す] ボタンが表示されます。

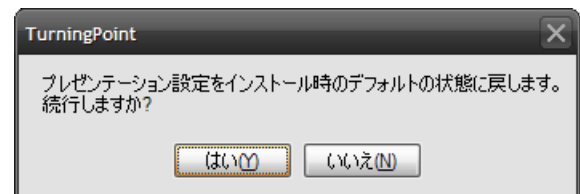
### [設定] ウィンドウ：デフォルトのプレゼンテーション設定に戻す



- 3 [デフォルトのプレゼンテーション設定に戻す] ボタンをクリックします。

ダイアログ ボックスが表示され、すべての設定が規定の状態に戻されると警告します。

### デフォルトのプレゼンテーション設定に戻すとの警告



- 4 回答値をクリアするには [はい] をクリックします。

TurningPoint はすべての回答値をデフォルトの値にリセットします。

**注記** これがリセットするのは、その後で作成するスライドの回答値だけです。既存のスライドすべての回答値をリセットする方法の詳細については、54 ページの「TurningPoint スライドで回答値をクリアする」を参照してください。

[いいえ] をクリックすると、すべての設定をデフォルトの状態に戻すことなく、キャンセルします。

5 [終了]をクリックします。

**注記** TurningPoint スライドの回答値をクリアすることもできます。詳細については、54 ページの「TurningPoint スライドで回答値をクリアする」を参照してください。

## TurningPoint スライドで回答値をクリアする

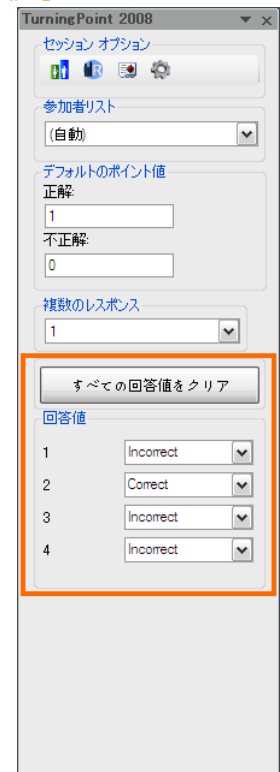
回答値をクリアする場合、1つの回答値をクリアすること、またはすべての回答値をクリアすることができます。

回答値をクリアするには ...

- 1 回答値をクリアするスライドに移動します。
- 2 設定ペインから、回答の値をクリアすることもできます。

設定ペインには、回答のリストおよび現在の回答の値が表示されます。

### [回答値] タスク ペイン



3 [回答値をクリア] ボックスをクリックします。

### 設定ペイン：回答点数をクリア

The screenshot shows the 'TurningPoint 2008' settings window. The 'Clear all answers' button is highlighted with a red box. The window contains the following settings:

- セッション オプション: 設定アイコン
- 参加者リスト: (自動)
- デフォルトのポイント値:
  - 正解: 1
  - 不正解: 0
- 複数のレスポンス: 1
- すべての回答値をクリア (Red box)
- 回答値:
  - 1: Incorrect
  - 2: Correct
  - 3: Incorrect
  - 4: Incorrect

スライドのすべての回答値が [値なし] に設定されます。

**注記** 回答値をクリアするには、スライドレベルの設定である [回答値] の設定で、回答ごとに [値なし] に設定することもできます。詳細については、52 ページの「**回答値を [設定] ウィンドウからクリアする**」を参照してください。

## グラフを挿入して PowerPoint スライドをインタラクティブにする

通常の PowerPoint スライドをインタラクティブにするには、既に質問および回答のリストが含まれているスライドにグラフを追加するか、またはタイトルと箇条書きか段落番号付きのリストのある PowerPoint スライドを作成します。

以下の説明に従ってスライドを TurningPoint スライドに変換すると、タイトルは質問に、箇条書きまたは段落番号付きのリストは質問のリストになります。リストには最大で 10 件の項目を含めることができます。

**注記** 正しく変換させるためには、質問 / タイトルと、回答のリスト / 段落番号付きのリストは、別々の 2 つのボックスに入れておく必要があります。

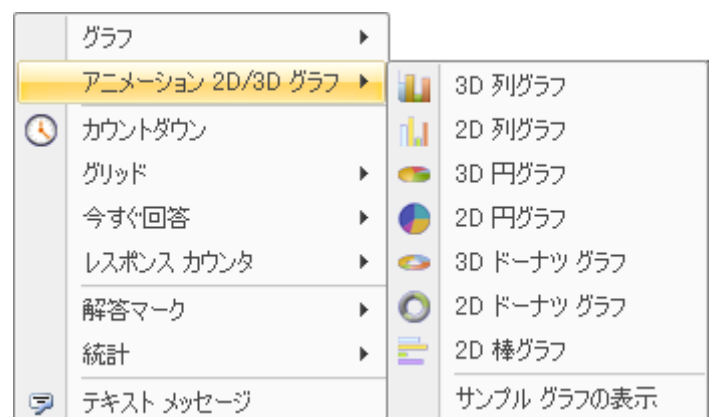
PowerPoint スライドをインタラクティブなスライドに変換するには ...

- 1 TurningPoint スライドに変換する PowerPoint スライドに移動します。
- 2 TurningPoint リボンの [オブジェクトの挿入] をクリックし、[グラフ] または [アニメーション 2D/3D グラフ] を選択します。

### オブジェクトの挿入：グラフ



### オブジェクトの挿入：アニメーション 2D/3D グラフ



### 3 スライドに追加するグラフを選択します。

グラフが選択を選択していた場合には、TurningPoint によってスライドのタイトルが質問に、箇条書きまたは段落番号付きのリストが回答に変換され、グラフがスライドに追加されます。レスポンスのみスライドを選択していた場合には、スライドにグラフは配置されません。集計時には回答の割合または回答数だけが表示されます。

**注記** 箇条書きまたは段落番号付きの回答リストは、TurningPoint の設定に従って番号が付け直されます。

回答の番号付けの方法は、[ 選択肢箇条マークの設定 ] の設定で変更できます。これはプレゼンテーションレベルの設定です。設定の変更の詳細については、**第3章「レスポンスデバイスと設定の管理」**を参照してください。

# オブジェクトの追加

TurningPoint には、スライドに追加できるさまざまな静的なオブジェクトとインタラクティブなオブジェクトが用意されています。これには、[今すぐ回答]のプロンプト、カウントダウン、レスポンス カウンタ、解答マーク、テキスト メッセージのプロンプト、統計インジケータが含まれます。

## 【オブジェクトの挿入】メニュー



この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ *カウントダウン インジケータの追加*
- ・ *カウントダウン インジケータにカウントダウン音を追加する*
- ・ *レスポンス カウンタの追加*
- ・ *解答マークの追加*

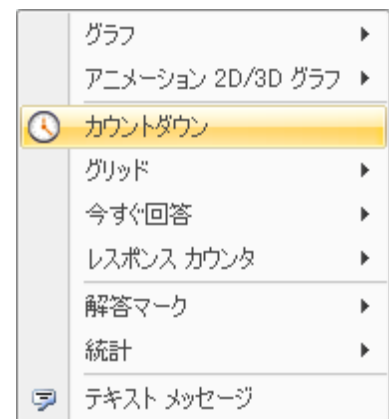
## カウントダウン インジケータの追加

カウントダウン インジケータを使用すると、ゼロになるまでカウントダウンするため、参加者に対して、投票がまもなく終了することを視覚的に示すことができます。カウントダウンが終了すると、カウントダウン インジケータは非表示になり、投票は自動的に終了します。

カウントダウン インジケータを追加するには ...

- 1 カウントダウン インジケータを追加する TurningPoint スライドに移動します。
- 2 TurningPoint リボンの [オブジェクトの挿入] をクリックし、[カウントダウン] にマウスを合わせます。

### [カウントダウン インジケータ] サブメニュー



- 3 スライドにはカウントダウン インジケータのためのプレースホルダが配置されます。

**注記** 特定のスライドまたはすべてのスライドについて、カウントダウン タイマーの長さを秒単位で変更するには、[カウントダウン制限秒数] の設定を使用します。この設定は、プレゼンテーション レベルとスライド レベルの両方で使用できます。

スライド上のカウントダウン インジケータをダブルクリック、シングルクリック、または右クリックしても、カウントダウンの長さを変更できます。ダイアログ ボックスが表示され、「カウントダウン制限秒数を 1 ~ 999 の値で入力してください。」というプロンプトが表示されます。

競争スライドでカウントダウン インジケータを使用して、参加者の応答の速さに基づいてポイントを与えることもできます。



## カウントダウン インジケータにカウントダウン音を追加する

[カウントダウン音]設定を使えば、スライドにサウンド ファイルを追加することができます。カウントダウン音は、カウントダウン インジケータがアクティブになると、鳴り始めます。利用可能なファイル拡張子は、.aiff、.au、.mid、.midi、.mp3、wav、および .wma です。

カウントダウン音を使用するには、スライドにカウントダウン インジケータが必要です。

カウントダウン音を追加するには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[設定] を選択します。
- 2 [設定] タブを選択します。
- 3 設定階層から、カウントダウン音を追加するスライドを選択します。

### [設定] ウィンドウ：スライドの設定



ウィンドウの右ペインには利用できる設定が表示されます。[レスポンス リマインダ設定] に移動します。

- 4 カウントダウン音を選択します。

5 サウンド ファイルのあるフォルダに移動します。

### カウントダウン音 :Windows のダイアログ ボックス

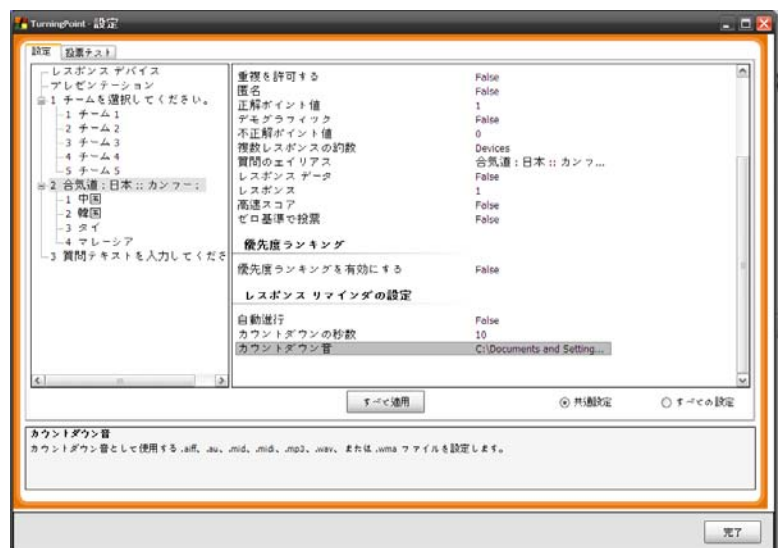


6 ファイル名を選択します。

7 [開く] をクリックします。

[設定] ウィンドウの右ペインにサウンド ファイルへのパスが表示されます。

### カウントダウン音のファイルのパス



## 8 [終了]をクリックします。

**注記** プレゼンテーションを別のコンピュータで実行する場合には、プレゼンテーション用のコンピュータにも同じカウントダウン音（サウンド ファイル）があり、同じファイルパスにあることを確認してください。そうでないと、プレゼンテーション用のコンピュータは、カウントダウン音を見つけることができません。たとえば、カウントダウン音のファイルパスが C:\Documents and Settings\My Documents\Explosion.wav の場合は、カウントダウン音が現在のコンピュータ上の同じファイルパスに配置されていることを確認する必要があります。

## レスポンス カウンタの追加

レスポンス カウンタを使用すると、応答を送信した参加者の数を追跡することができます。レスポンス カウンタは、プレゼンテーションの実行中に投票が開始されると表示され、終了すると非表示になります。

レスポンス カウンタでは、6 種類のスタイルを使用できます。

**注記** プレゼンテーション レベルの設定である [レスポンス カウンタの形式] の設定を使用すると、応答した参加者の数とパーセンテージのどちらをレスポンス カウンタに表示するか（あるいは両方を表示するか）を指定できます。設定の変更の詳細については、**第3章「レスポンス デバイスと設定の管理」**を参照してください。

レスポンス カウンタを追加するには ...

- 1 レスポンス カウンタを追加する TurningPoint スライドに移動します。
- 2 TurningPoint リボンの [オブジェクトの挿入] をクリックし、[レスポンス カウンタ] にマウスを合わせます。  
サブメニューが開き、利用可能なレスポンス カウンタが表示されます。
- 3 レスポンス カウンタを選択します。

レスポンス カウンタがスライド上に配置されます。

**注記** プレゼンテーション レベルの設定である [レスポンス カウンタ] の設定を使用すると、作成した各 TurningPoint スライドにレスポンス カウンタを自動的に表示するように指定できます。設定の変更の詳細については、**第3章「レスポンス デバイスと設定の管理」**を参照してください。

レスポンス カウンタは、スライドに適合するよう、移動することやサイズを調整することができます。レスポンス カウンタが必要なくなった場合は、スライドから削除することができます。

既存のレスポンス カウンタを別の種類に置き換えるには、これらの手順を繰り返します。現在のレスポンス カウンタが、選択した新しいカウンタに置き換えられます。

## 解答マークの追加

解答マークを設定しておくことで、投票の終了後に正しい解答が表示できます。インジケータは、プレゼンテーションの実行中に、グラフを表示した後でスライドを進行すると表示されます。

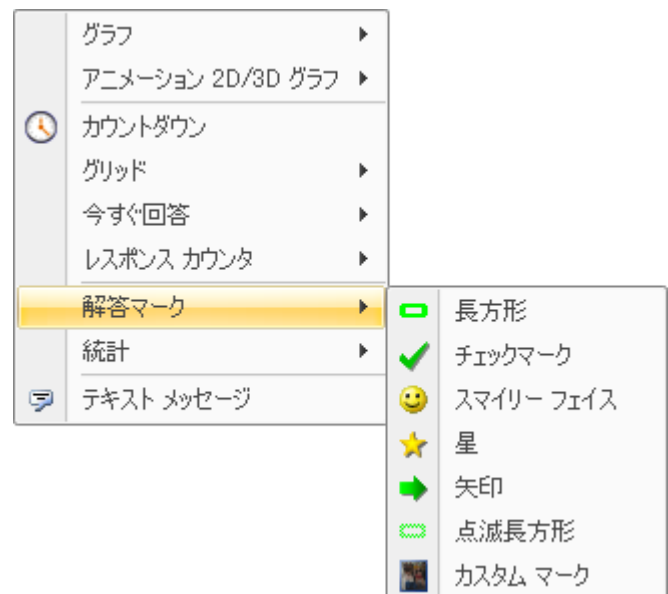
解答マークでは、7種類のスタイルを使用できます。

解答マークを追加するには ...

- 1 解答マークを追加する TurningPoint スライドに移動します。
- 2 TurningPoint リボンの [オブジェクトの挿入] をクリックし、[解答マーク] にマウスを合わせます。

サブメニューが開き、利用可能な解答マークが表示されます。

### [解答マーク] サブメニュー



- 3 解答マークを選択します。

解答マークがスライド上に配置されます。

解答マークがなくなったら場合は、スライドから削除することができます。

既存の解答マークを別の種類に置き換えるには、これらの手順を繰り返します。現在の解答マークが、選択した新しい解答マークに置き換えられます。

# 3 レスpons デバイスと設定の管理

この章では、出席者が使用するレスpons デバイスのインストール方法と、その管理について説明します。加えて、ResponseCard プレゼンター デバイスのセットアップ方法と、プレゼンテーションのカスタマイズのために使用できるさまざまな設定についても説明します。

参加者は、レスpons デバイスを使用してインタラクティブなプレゼンテーションに応答します。レスpons デバイスは、Turning Technologies からライセンスを受けた上で、TurningPoint で使用することができます。これらのデバイスには以下ものがあります。

## レスpons デバイス 説明



Turning Technologies の ResponseCard RF – コンパクトなレスpons デバイスで、無線通信によって出席者のレスponsを送信します。



Turning Technologies の ResponseCard XR – コンパクトなレスpons デバイスで、無線通信によって出席者のレスponsを送信します。また、カードには LCD があり、複数の行を入力できます。複数の質問に対して回答を入力してから一度に送信することができるので、各自のペースでテストを行うことができます。

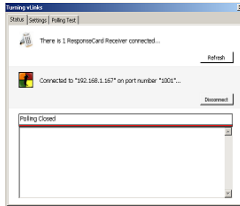


Turning Technologies の ResponseCard NXT – コンパクトなレスpons デバイスで、無線通信によって出席者のレスponsを送信します。また、カードには LCD があり、複数の行を入力できます。複数の質問に対して回答を入力してから一度に送信することができるので、各自のペースでテストを行うことができます。NXT ではまた、参加者が回答を送信した後に、その得点を送り返すこともできます。

## レスポンス デバイス 説明



Turning Technologies の ResponseWare – 仮想キーボードです。Web ブラウザから実行します。または BlackBerry® や iPhone® デバイスにアプリケーションとしてインストールします。



Turning Technologies の RemotePoll – 離れた場所、また複数の場所での投票を可能にするソフトウェアです。レスポンス デバイス レシーバを使用している参加者は、RemotePoll を使用してホスト コンピュータに接続し、回答をインターネットを通じて送信できます。RemotePoll の詳細については、[www.turningtechnologies.com](http://www.turningtechnologies.com) を参照してください。

## プレゼンテーション デバイス



### 説明

Turning Technologies の Presenter Card – コンパクトなレスポンス デバイスで、無線通信によって TurningPoint プレゼンテーションをコントロールします。戻るボタンと進むボタンがあり、プレゼンテーションを簡単に進行させることができます。3つのプログラマブル ボタンがあり、TurningPoint の基本的なコマンドを実行するようにカスタマイズできます。

# デバイスの取り付け

ユーザーは、レシーバまたはインターネットを通じて通信するレスポンス デバイスを使用して、TurningPoint プレゼンテーションと対話します。

レスポンス デバイス レシーバは、プレゼンテーションの実行に使用するコンピュータに直接接続します。この項では、デバイス レシーバの取り付け方法について説明します。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ **無線レスポンス デバイス レシーバの取り付け**
- ・ **ResponseWare デバイスの設定の取得**

## 無線レスポンス デバイス レシーバの取り付け

ResponseCard RF、XR、NXT は、無線を使用して TurningPoint と通信します。レシーバは個々の ResponseCard が送信した信号を受信し、それからの応答を TurningPoint に渡します。

### ResponseCard RF、ResponseCard XR、ResponseCard NXT および PresenterCard



#### 始める前に

レシーバは、プレゼンテーションの実行に使用するコンピュータに接続する必要があります。



無線レスポンス デバイスを取り付けるには ...

- 1 プレゼンテーションを実行するコンピュータの USB ポートにデバイス レシーバを接続します。

### 無線レスポンス デバイス レシーバ



**注記** ほとんどの無線レシーバの有効距離は約 200 フィート (60 メートル) です。長距離レシーバの場合には約 400 フィート (120 メートル) です。1 台のレシーバで最大 1000 基の ResponseCard に対応できます。レシーバと ResponseCard が見通しのきく直線上にある必要はありません。

部屋のサイズまたは参加者の数がこれらの最大要件を超えている場合は、プレゼンテーションの際に複数のレシーバを使用してください。レシーバのレイアウト プランの提案については、Turning Technologies にお問い合わせください。

- 2 これでデバイスを使用する準備ができました。

#### 次の手順

レスポンス デバイスの設定の管理方法については、70 ページの「**レスポンス デバイスの管理**」を参照してください。

参加者のデバイスがうまく接続できない場合には、デバイスが通信できているかどうかを確認してください。

レスポンス デバイスのテスト方法については 73 ページの「**デバイスの通信の確認**」を参照してください。

## ResponseWare デバイスの設定の取得

ResponseWare レスポンス デバイスは、ブラウザ ベースの仮想レスポンス デバイスとして機能します。参加者は、デスクトップ コンピュータ、ノート コンピュータ、BlackBerry®、iPhone® といったデバイスを通じて ResponseWare を使用します。これらのデバイスは URL に接続して ResponseWare と通信します。

ResponseWare のレスポンスの動作は ResponseCard と同じです。ResponseWare は、プレゼンテーション中に開いたり、閉じたりできますが、そのような場合でも引き続き同じデバイス ID を使用できます。

プレゼンテーションで ResponseWare を使用するには ...

- 1 Turning Technologies の販売担当者に依頼して、ResponseWare アカウントを設定してもらってください。

Turning Technologies は、ログイン名とパスワードを提供します。参加者はこれらを使って、TurningPoint の [ ツール ] から ResponseWare にログインします。次に、rwpoll.com または 各自の ResponseWare アプリケーションでセッション ID を入力して、プレゼンテーションにログインします。

### 次の手順

ResponseWare の設定の管理方法については、79 ページの「[レスポンス デバイスの設定](#)」を参照してください。

# レスポンス デバイスの管理

出席した参加者は、デバイスを使用して、プレゼンテーションで行われた質問に応答します。プレゼンテーションを実行する前に、使用するレスポンス デバイスの種類を TurningPoint に認識させる必要があります。レスポンス デバイスの設定にアクセスして、TurningPoint が適切に設定されているかどうか確認してください。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ *ResponseWare* を有効にする
- ・ *PresenterCard* の設定
- ・ デバイスの通信の確認
- ・ 使用するデバイス数の指定

## ResponseWare を有効にする

このセクションでは、アプリケーションと ResponseWare サーバー間の通信をセットアップするための手順について説明します。

- 1 TurningPoint リボンの [ ツール ] をクリックし、[ ResponseWare ] を選択します。

ResponseWare のメイン画面が開きます。

### ResponseWare

- 2 ResponseWare のユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 プロキシ サーバーを通して接続する場合には、ボックスをオンにして、プロキシ設定を入力してください。
  - a [ 設定 ] をクリックします。

- b [プロキシの設定を自動的に検出する]を選択します。または[プロキシの設定を手動で構成する]を選択して、アドレスとポートを入力します。
  - c 必要な場合には、認証情報を入力します。
  - d [テスト]をクリックして、プロキシ サーバーへの接続をテストします。
  - e [終了]をクリックします。
- 4 [ゲストを許可]または[ログインを要求]を選択します。
  - 5 www.rwpoll.com から予約セッション ID が作成されていた場合には、[予約 ID] ボックスに入力します。

**注記** 予約セッション ID はプレゼンタが同じセッション ID を使用できるようになっているカスタム ID です。また、プレゼンタがリモート ユーザーに事前にセッション ID を割り当てるのにも使用できます。

- 6 [ログイン]をクリックします。
- 7 コンピュータ上で最初に ResponseWare を有効にしたときには、個人情報保護方針と利用規約同意書が表示されます。個人情報の保護方針および利用規約同意書をよく読み、同意する場合は、[同意する]をクリックします。

これで、ResponseWare サーバーに接続しました。

#### ResponseWare: セッションが接続されました



- 8 [閉じる]をクリックします。

ウィンドウを閉じても ResponseWare サーバーとの接続は切れません。

## PresenterCard の設定

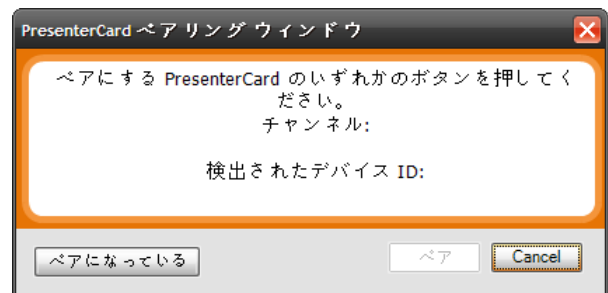
PresenterCard をプレゼンテーション デバイスとして使用するには、まず TurningPoint とペアにする必要があります。

PresenterCard を TurningPoint とペアにするには ...

- 1 プレゼンテーションを実行するコンピュータに無線デバイス レシーバを接続します。
- 2 PresenterCard のチャンネルを、デバイス レシーバと同じチャンネルに設定します。
  - a チャンネルを押します。
  - b [戻る] ボタンと [進む] ボタンを使って、希望するチャンネル番号に合わせます。
  - c チャンネルを押します。
- 3 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[設定] を選択します。
- 4 左側のパネルからレスpons デバイスを選択します。
- 5 PresenterCard のセクションで [なし] を選択します。

PresenterCard ペアリング ウィンドウが表示されます。

### PresenterCard ペアリング ウィンドウ



- 6 PresenterCard のチャンネルボタン以外のボタンを押します。

ウィンドウに検出されたデバイス ID が表示されます。
- 7 [ペア] をクリックします。

**注記** デバイス レシーバのチャンネルを変更した場合には、PresenterCard をもう一度ペアにする必要があります。

- 8 オプションとして、プログラマブル ボタンをカスタマイズできます。ボタンごとのドロップダウンメニューから希望する機能を選択してください。
- 9 [終了] をクリックして [設定] ウィンドウを閉じます。

## デバイスの通信の確認

プレゼンテーション中に参加者からの応答が受信できない場合には、デバイスと TurningPoint の間の通信をテストする必要があります。レスポンス カウンタまたはレスポンス グリッドを使えば、通信していないレスポンス デバイスを確認することができます。詳細については、62 ページの「[レスポンス カウンタの追加](#)」および 133 ページの「[レスポンス グリッドの表示](#)」を参照してください。

### 始める前に

デバイス レシーバが適切に取り付けられており、テスト対象のデバイスが使用可能であることを確認します。

デバイスの通信をテストするには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[設定] を選択します。

[設定] ウィンドウが開きます。

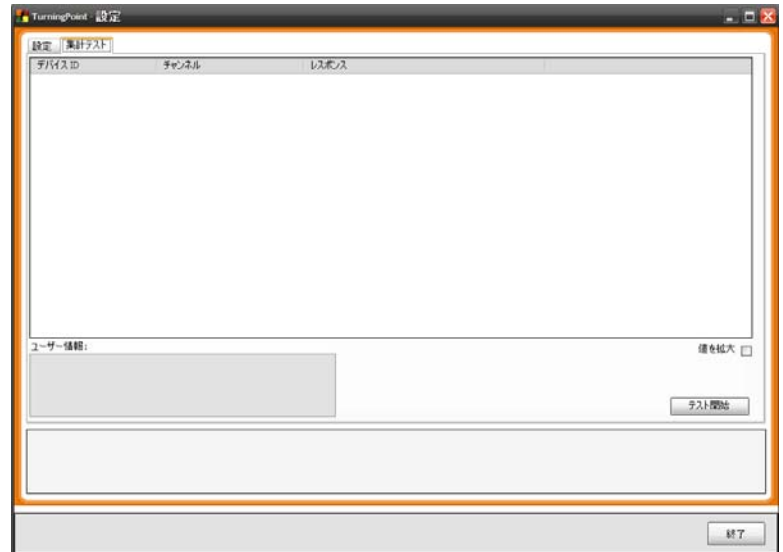
### [設定] ウィンドウ



- 2 [集計テスト] タブを選択します。

[集計テスト] 画面が表示されます。この画面で、TurningPoint がデバイスからの応答を受信できるかどうかを確認します。

### [設定] ウィンドウ: 集計テスト



- 3 [テスト開始] をクリックします。

レスポンスは、[値を拡大] のボックスをオンにすれば大きくすることができます。

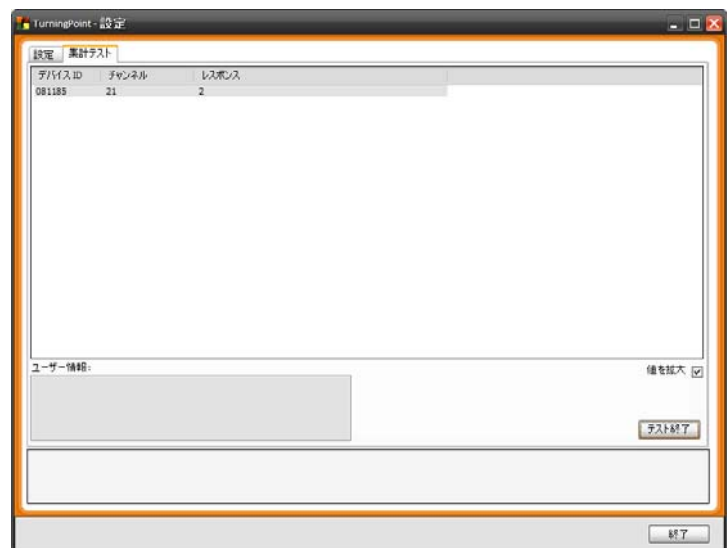
### 集計テスト: レスポンスの拡大

デバイス ID	場所	レスポンス
081185	21	2

- 4 使用する各レスポンス デバイスのキーを押します。

各レスポンス デバイスのデバイス ID、チャンネルおよびエントリが、テストされた順序で表示されます。

### 集計テスト: レスポンス デバイスのテスト



- 5 [テスト終了] をクリックします。

## 6 [終了]をクリックします。

以上でデバイスの通信チェックは完了です。

## 使用するデバイス数の指定

使用予定のデバイスの数を変更する必要がある場合には、[レスポンス デバイス]の設定にアクセスしてください。使用予定のデバイスの数は、自動シミュレーションを入力ソースとして選択するとき、または参加者リストを使用せずにレスポンス カウンタを使用するとき使用されます。

使用予定のデバイスの数を増減するには ...

## 1 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[設定] を選択します。

[設定] ウィンドウが開きます。

### [設定] ウィンドウ



## 2 設定階層から [レスポンス デバイス] を選択します。



ウィンドウの右ペインに、利用できるレスポンス デバイスの設定が表示されます。

### [設定] ウィンドウ: レスpons デバイス



- 3 [ResponseCard その他] の下の [使用予定のデバイス] を選択します。

テキスト ボックスが表示されます。

- 4 使用予定のデバイス数を入力します。

**注記** ライセンスされているデバイスの数を超えることはできません。たとえば、この領域に「60」と入力しても、TurningPoint でライセンスされているのが 50 台である場合には、プレゼンテーション中に使用できるのは 50 台のデバイスだけです。

これは、無制限のライセンスを持つプレゼンタには当てはまりません。その場合には、ご希望の数のレスポンス デバイスを使用することができます。

- 5 Enter キーを押します。

- 6 [終了] をクリックします。

使用予定のレスポンス デバイス数は更新されます。

#### 次の手順

オプションとして、[設定] ウィンドウの [集計テスト] タブを選択すれば、レスポンス デバイスの通信をテストすることができます。詳細については、73 ページの「[デバイスの通信の確認](#)」を参照してください。

# 設定

TurningPoint では、[設定] ウィンドウから様々な設定を確認し、変更することができます。[設定] ウィンドウにアクセスするには、TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[設定] を選択します。

## [設定] ウィンドウ



[設定] ウィンドウには、[設定] と [集計テスト] という 2 つのタブがあります。集計テストの詳細については、73 ページの「[デバイスの通信の確認](#)」を参照してください。

[設定] タブでは、ウィンドウの左ペインに設定階層が表示されます。ここでは、レスポンス デバイス、プレゼンテーション、スライドまたは回答入力の設定を変更することができます。ウィンドウの右ペインには設定がリスト表示されます。設定はタイプごとにグループ化されています。右ペインの左側には各設定の名前が、右側にはその値が表示されます。一部の設定では値を入力できます。その他の設定ではドロップダウンメニューが表示され、複数の選択肢から選択できます。

[設定] ウィンドウの下部には、選択した設定の詳細な説明が表示される領域があります。これらの説明や、続きのページから、設定について調べることができます。下部の領域には、一部のプレゼンテーションレベルの設定のための、付加的なオプションもあります。

### [設定] ウィンドウ: 下部の領域



[共通設定] および [すべての設定] ラジオ ボタンを使えば、カスタマイズのレベルを選択することができます。[共通設定] ボタンは、最もよく変更される設定を表示します。[すべての設定] ボタンを選択すると、さらに多くの設定が表示されるので、さらにパーソナライズされたプレゼンテーションが可能になります。

[デフォルトのプレゼンテーション設定に戻す] ボタンを使えば、設定をインストール時のデフォルトの状態に戻すことができます。

[デフォルト値] ボタンは、プレゼンテーション レベルのグラフの色でのみアクティブになります。このボタンを使えば、グラフの色をインストール時のデフォルトの状態に戻すことができます。

[すべて適用] ボタンは、プレゼンテーション レベルの設定でアクティブになります。これらには、対応するスライドレベルの設定があります。このボタンは、加えた変更を、既存のスライドのうち適用可能なものすべてに適用して、保存します。

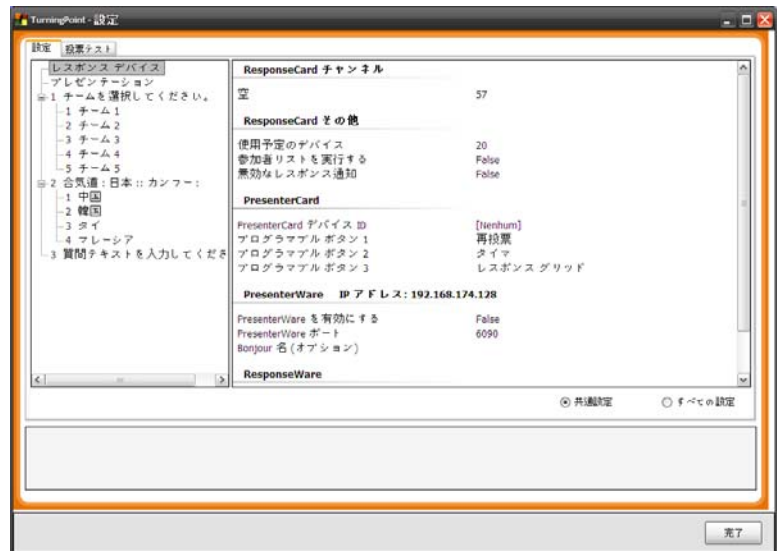
この項では次の点について説明します。

- レスponse デバイスの設定
- プレゼンテーションの設定
- スライドの設定
- 回答入力の設定

## レスポンス デバイスの設定

[レスポンス デバイス]には TurningPoint と互換性のあるレスポンス デバイス用の設定が含まれています。次のリストでは、設定ごとの詳細を説明します。

### レスポンス デバイスの設定



#### ResponseCard チャンネル

レスポンス レシーバの設定を表示し、変更します。

#### 設定

#### 説明

レシーバ

コンピュータに接続されたレシーバのレシーバ ID とチャンネルを表示します。

#### ResponseCard その他

ResponseCard のさまざまな設定を表示し、変更します。

#### 設定

#### 説明

強制的にチャンネルを変更

コンピュータへの接続時に、レシーバのチャンネルを強制的に変更するかどうかを決定します。デフォルトは False で、TurningPoint にレシーバからのチャンネルを受け入れさせます。True にすると、レシーバのチャンネルを TurningPoint で利用可能な最初のスロットに設定します。

使用予定のデバイス

プレゼンテーション中に使用する予定のレスポンス デバイス数を表示します。これは、自動シミュレーションまたはレスポンス カウンタを使用する場合にのみ必要です。

設定	説明
参加者リストを実行する	True に設定すると、読み込まれた参加者リストにない参加者からのレスポンスを除外できます。デフォルトは False で、すべての参加者のレスポンスを受け付け、リストの末尾に追加します。
無効な回答のお知らせ	True に設定すると、無効な回答を選択した場合には ResponseCard を数回赤く点灯させ、有効な回答を選択した場合には緑に点灯させることができます。

### PresenterCard

PresenterCard を TurningPoint とペアにすること、プログラマブル ボタンをカスタマイズすることができます。

設定	説明
PresenterCard のデバイス ID	PresenterCard のペアリング ウィンドウを表示して、PresenterCard がプレゼンテーション用のコンピュータに接続できるようにします。
プログラマブル ボタン 1	ドロップダウン メニューから第一プログラマブル ボタンの設定オプションを選択します。
プログラマブル ボタン 2	ドロップダウン メニューから第二プログラマブル ボタンの設定オプションを選択します。
プログラマブル ボタン 3	ドロップダウン メニューから第三プログラマブル ボタンの設定オプションを選択します。

### PresenterWare

PresenterWare の設定を表示し、変更します。

設定	説明
PresenterWare を有効にする	True に設定すると、PresenterWare 経由で接続できます。
PresenterWare のポート	PresenterWare クライアントの接続先ポートです。ポート 1025 ~ 65535 のみを使用可能です。他のアプリケーションで使用されている場合やセキュリティ上の理由で制限されている場合、一部のポートを使用できないことがあります。
Bonjour 名 (オプション)	このアプリケーションに接続するときに PresenterWare クライアントが認識する名前です。

**RemotePoll**

RemotePoll の設定を表示し、変更します。

設定	説明
RemotePoll を有効化	True に設定すると、RemotePoll を使用してこのコンピュータに接続し、インタラクティブ セッションに参加することができます。
RemotePoll のポート	RemotePoll が接続するとき使用するポートです。ポート 1025 ~ 65535 のみを使用可能です。他のアプリケーションで使用されている場合やセキュリティ上の理由で制限されている場合、一部のポートを使用できないことがあります。

**RemotePoll Monitor**

RemotePoll Monitor の設定を表示し、変更します。

設定	説明
RemotePoll Monitor を有効化	True に設定すると、RemotePoll Monitor 経由で接続できます。
RemotePoll のポート	RemotePoll Monitor クライアントの接続先のポート。ポート 1025 ~ 65535 のみを使用可能です。他のアプリケーションで使用されている場合やセキュリティ上の理由で制限されている場合、一部のポートを使用できないことがあります。

**ResponseWare**

ResponseWare Web のさまざまな設定を表示し、変更します。

設定	説明
常にログイン情報を表示	True に設定すると、スライド ショーが開始されるとすぐに [ ログイン情報 ] ボックスが表示されます。

## プレゼンテーションの設定

[プレゼンテーション]には、スライドの作成、プレゼンテーションの表示方法、およびその他の TurningPoint のオプションが含まれています。プレゼンテーション レベルの設定を変更すると、変更内容は今後作成するすべてのスライドに適用されます。また一部は、現在開いているプレゼンテーションにも適用されます。

### プレゼンテーションの設定



### 回答入力の設定

回答入力の設定を表示し、変更します。

#### 設定

選択肢箇条マークの設定

#### 説明

TurningPoint が表示する、回答の箇条書きのマークのタイプを決定します。利用可能な設定としては、以下のものがあります。Alpha Lowercase Parenth (アルファベット小文字カッコ) = a), Alpha Lowercase Period (アルファベット小文字ピリオド) = a., Alpha Uppercase Period (アルファベット大文字ピリオド) = A., Decimal Parenth (数字カッコ) = 1), Decimal Period (数字ピリオド) = 1., Roman Lowercase Period (ローマ数字小文字ピリオド) = i., Roman Uppercase Period (ローマ数字大文字ピリオド) = I. デフォルトは数字ピリオドです。

## バックアップの設定

バックアップの設定を表示し、変更します。

設定	説明
バックアップのメンテナンス	自動的に削除されるまでに何日間バックアップ セッションが保持するかを設定します。範囲は 1 ~ 90 日です。デフォルトは 7 日です。
バックアップ セッション	完了したセッションすべてのバックアップ コピーを自動的に作成します。デフォルトは True で、バックアップ コピーを作成します。
リアルタイム バックアップのパス	リアルタイム バックアップ セッションが保存されるデフォルトの場所を決定します。場所を指定すると、セッションの実行中にその XML バージョンが保存されます。デフォルトは「なし」で、コピーは「Backup/Sessions」フォルダに保存されます。  場所を変更するには :1.) 現在の設定をクリックしてダイアログ ボックスを開きます。2.) 場所を手動で入力するか、点線ボタンを選択して希望する場所に移動します。3.) ダイアログが表示されます。4.) 場所を選択します。5.) [OK] を選択します。6.) [適用] を選択して、場所を設定します。  最初のデフォルトの場所に戻すには、現在の設定をクリックして、[リアルタイム バックアップをオフにする] を選択します。

## グラフの設定

グラフの設定を表示し、変更します。

設定	説明
自動スケール グラフ	グラフを回答数に比例してスケールリングするかどうかを決定します。パーセンテージの場合には 0 ~ 100、カウントの場合は 0 から最大レスポンス数になるように強制的にスケールリングします。デフォルトは True で、グラフが回答数に比例するようにスケールリングします。
グラフの色	プレゼンテーションでどのグラフの色が使用されるのかを決定します。利用可能な設定は [色スキーム]、[正解 / 不正解] および [ユーザー定義] です。[色スキーム] - 選択した PowerPoint プレゼンテーションの配色を使用します。[正解 / 不正解] - 正解と不正解のスライドで、ユーザー定義の色を使用します。[ユーザー定義] - ユーザー定義の色を使用します。  デフォルトは [色スキーム] です。
グラフの色 1 ~ 10	ユーザー定義カラー設定で使用する、グラフの 1 番目から 10 番目の色を指定します。
正解のグラフの色	正解 / 不正解カラー設定で使用する、正解のグラフの色を決定します。
不正解のグラフの色	正解 / 不正解カラー設定で使用する、不正解のグラフの色を決定します。
グラフのラベル	グラフのラベルおよび凡例に、回答のエイリアス (回答の箇条書きの形式) または箇条書きのマークが表示されるかどうかを決定します。デフォルトは [エイリアス] です。



設定	説明
グラフ値の形式	グラフの値を実際の数（質問に回答した人数）で表現するか、パーセンテージ（各質問に回答した人のパーセンテージ）で表現するかを決めます。有効な形式は、0、0%、0.0%、および0.00%です。デフォルトは0%です。
グラフのリセット	スライドがリセットされる時に、グラフ データをクリアするかどうかを決定します。デフォルトは True で、グラフ データをクリアします。
閲覧のみ	質問に回答した参加者の数をプレゼンテーション中にグラフで表示するか、それともプレゼンタがプレゼンテーションを確認するときに表示するだけにするかを決定します。デフォルトは False で、プレゼンテーション中にグラフを表示します。
スタンダード グラフの種類	プレゼンテーションにスライドを挿入するときに使用される既定のグラフを決定します。デフォルトは縦棒グラフです。他のどのグラフを選択することもできます。

### 競争の設定

競争スライドの設定を表示し、変更します。

設定	説明
デフォルトのチーム数	チーム割り当てスライドに表示するチーム数を決定します。指定可能な範囲は2～10チームです。デフォルトは5です。
無回答も含める	無回答の場合でもチーム スコアに含めるかどうかを決定します。デフォルトは False で、無回答は含めません。
最大回答者数	最も早い回答者のスライドに表示する回答者の最大数を決定します。指定可能な範囲は1～20人です。デフォルトは5です。
順位表の参加者	参加者順位表に含める参加者の数を決定します。指定可能な範囲は1～20人です。デフォルトは5です。
チーム順位表のチーム	チーム順位表に含めるチームの数を決定します。指定可能な範囲は1～20チームです。デフォルトは5です。

### 空白入力の設定

空白入力スライドの設定を表示し、変更できます。

設定	説明
キーワード表示	集計の終了時に、設定で指定したキーワードを空白入力スライドに表示するかどうかを決定します。
結果の表示	空白入力スライドに結果を表示するかどうかを決定します。
その他の回答を含む	表示される最終結果の番号に、その他の結果の総数と共に [その他] を表示するかどうかを決定します。
結果数	空白に入力スライドに表示する結果数 (1-10) を決定します。

## その他

さまざまな設定を表示し、変更します。

設定	説明
常時アドインを読み込む	TurningPoint を PowerPoint とともに読み込むかどうかを決定します。デフォルトは False で、TurningPoint は自動的に読み込まれません。
重複を許可する	参加者に、複数レスポンスのスライドで、同じレスポンスを複数回送信することを許可するかどうかを決定します。デフォルトは False で、複数レスポンスのスライドで、同じレスポンスを複数回送信することは許可しません。  この設定は、複数の参加者がレスポンス デバイスを共有する場合などに使用します。
ユーザーからのフィードバックを許可する	プレゼンテーション中にユーザーのフィードバックを受け付けるかどうかを決定します。このオプションは、ResponseWare および ResponseCard で、ユーザーが [?] ボタンを押したときに利用できます。デフォルトは True で、ユーザーにフィードバックを許可します。
常に投票を開始	以前に投票済みのスライドに戻ったとき、自動的に投票を開始するかを決定します。デフォルトは False です。
エイリアスの自動アップデート	[ 質問と回答 ] プレースホルダに行われたテキストの変更が、[ 質問と回答 ] エイリアスに自動的に反映されるかどうかを決定します。デフォルトは True で、エイリアスを自動的に更新します。
正解ポイント	正解の既定のポイント値を決定します。指定可能な範囲は -10,000 ~ 10,000 です。デフォルトは 1 です。
デフォルトの保存先	セッションを保存するカスタムの場所を決定します。デフォルトの場所は [ マイドキュメント ] です。場所を変更するには: 1.) 現在の設定をクリックしてダイアログ ボックスを開きます。2.) 場所を手動で入力するか (そして手順 4 に進む)、点線記号ボタンを選択して場所に移動します。3.) ダイアログが表示されます。4.) 場所を選択します。5.) [OK] を選択します。6.) [ 適用 ] を選択して、場所を設定します。  最初のデフォルトの場所に戻すには、現在の設定をクリックして、[ デフォルトのパスに戻す ] を選択します。
プレゼンテーションを含む	保存するセッションに PowerPoint プレゼンテーションを含めるかどうかを決定します。デフォルトは True で、PowerPoint プレゼンテーションを含めます。
不正解ポイント値	不正解のデフォルトのポイント値を決定します。指定可能な範囲は -10,000 ~ 10,000 です。デフォルトは 0 です。
入力ソース	プレゼンテーションを実行するときに TurningPoint が使用するデフォルトの入力ソースを設定します。選択可能なものは、キーボードのキー (Keyboard Keys)、自動シミュレーション (Simulated Data) およびレスポンス デバイス (Response Devices) です。デフォルトはレスポンス デバイス (Response Devices) です。
言語	言語形式を変更します。デフォルトは、TurningPoint 2008 をインストールするときに選択した言語です。
複数レスポンスの約数	複数のレスポンスの質問でパーセンテージを計算するために使用する除数を、受信したレスポンスの合計数と、参加したデバイスの合計数のどちらにするかを決定します。デフォルトはデバイス (Devices) です。

設定	説明
レスポンス	レスポンス デバイスごとに、前の回答を上書きせずに受け付けられる回答の数を決定します。指定可能な範囲は 1 ~ 10 です。デフォルトは 1 です。
ゼロ基準で集計	回答を 1 ~ 10 または 0 ~ 9 に番号付けます。True に設定すると、回答の番号付けは 0 ~ 9 になり、現在の回答の箇条書きの形式は上書きされます。デフォルトは False です。

### 現行評価の設定

現行評価スライドのさまざまな設定を表示し、変更します。

設定	説明
秒間	現行評価スライドの投票間隔を秒単位で設定します。デフォルトは 2 秒です。

### 優先度ランキング

優先度ランキング スライドで、レスポンスの重みを指定できます。

設定	説明
レスポンス 1 ~ 10 の重み	これらの設定を使用して、参加者のレスポンスの値の調整をします。レスポンス 1 は、参加者の最初の選択を意味します。

### ランキング設定

ランキング グラフ スライドのさまざまな設定を表示し、変更します。

設定	説明
バブルのグループ	ランキング グラフ スライドで Tab キーを使用して回転するときに表示されるバブルの数を決定します。指定可能な範囲は 1 ~ 10 です。デフォルトは 3 です。
バブル名の表示	バブル名が表示されるかどうかを決定します。デフォルトは True で、バブル名を表示します。
バブル サイズ値の形式	バブル サイズの表示形式を決定します。指定可能な形式は 0、0.0、および 0.00 です。デフォルト値は 0 です。
バブル サイズの表示	バブル サイズ値を表示するかどうかを決定します。デフォルトは True で、バブル サイズ値を表示します。

**レース順位表の設定**

レース順位表スライドのさまざまな設定を表示し、変更します。

設定	説明
アニメーション速度	チームがスライドを移動する速度を設定します。
表示するレーサー数	スライドに表示するチームの最大数を設定します。最大 10 チームを表示できます。
レース勝利ポイント	レースに勝利するためにチームが得る必要のあるポイント数を設定します。
残りのレース スライドをスキップ	ポイント レベルが [レース勝利ポイント] 設定で設定されているレベルに達したら、残りのレース スライドをスキップします。

**レスポンス リマインダ設定**

レスポンス リマインダの設定を表示し、変更します。

設定	説明
今すぐ回答	新しいスライドに自動的に追加される、デフォルトの [今すぐ回答] オブジェクトを選択します。デフォルトは [なし] で、[今すぐ回答] インジケータは自動的に追加されません。どの [今すぐ回答] のオブジェクトでも選択することもできます。
[今すぐ回答] のテキスト	[今すぐ回答] オブジェクトに表示される、[今すぐ回答] のテキストを変更します。デフォルトは [今すぐ回答] です。
自動進行	[カウントダウン] オブジェクトまたは [レスポンス カウンタ] オブジェクトによって投票が閉じられた場合に、スライドショーが次のアニメーションに自動的に進むかどうかを決定します。デフォルトは False で、スライドショーは自動的に進みません。
カウントダウン	新しいスライドに自動的に追加されるデフォルトの [カウントダウン] オブジェクトを決定します。デフォルトを [なし] で、[カウントダウン] オブジェクトは自動的に追加されません。どのカウントダウン オブジェクトでも選択できます。
カウントダウン制限秒数	[カウントダウン] オブジェクトが表示される秒数を設定します。指定可能な範囲は 1 ~ 999 です。デフォルトは 10 秒です。
レスポンス カウンタ	新しいスライドに自動的に追加されるデフォルトのレスポンス カウンタを決定します。デフォルトは [なし] で、レスポンス カウンタは自動的に追加されません。どのレスポンス カウンタ オブジェクトでも選択できます。
レスポンス カウンタの形式	新しいレスポンス カウンタ オブジェクトの形式を決定します。指定可能な形式は [カウント] (レスポンス数)、[パーセント]、または [両方] (カウントとパーセント) です。デフォルトは [カウント] です。
回転間隔	回転レスポンス テーブルが一時停止する間隔を決定します。指定可能な範囲は 1 ~ 10 秒です。デフォルトは 2 秒です。

**レスポンス / 非レスポンス グリッドの設定**

レスポンス / 非レスポンス グリッドの設定を表示し、変更します。背景色と前景色を変更するには :1.) 現在の色を選択して色選択ウィンドウを表示します。2.) 希望する色を選択します。3.) [OK] を選択します。

設定	説明
自動グリッド調整	画面に合わせてレスポンス / 非レスポンス グリッドのサイズを自動的に調整するかどうかを決定します。デフォルトは True で、レスポンス / 非レスポンス グリッドのサイズは自動的に調整されます。
カスタム セルの背景色 1 ~ 4	レスポンス / 非レスポンス グリッドのセルの背景色 1 ~ 4 に使用される色を決定します。
カスタム セルの前景色	レスポンス / 非レスポンス グリッドの前景色に使用される色を決定します。
グリッド背景色のカスタマイズ	レスポンス / 非レスポンス グリッドの背景色に使用される色を決定します。
デバイス ID を表示する	レスポンス / 非レスポンス グリッドにデバイス ID を表示するかどうかを決定します。デフォルトは True で、デバイス ID を表示します。
参加者名を表示	レスポンス / 非レスポンス グリッドに参加者名 が表示されるかどうかを決定します。デフォルトは True で、参加者名を表示します。
グリッド不透明度	レスポンス / 非レスポンスグリッドの透過性または不透過性を決定します。指定可能な範囲は 1 (透明) ~ 100 (不透明) です。デフォルトは 90 (ほとんど不透明) です。
グリッド位置	レスポンス / 非レスポンス グリッドが表示されるときの位置を決定します。指定可能な位置は下、左下、右下、中央、左、右、上、左上、右上です。デフォルトの位置は画面の下です。
グリッド回転間隔	レスポンス / 非レスポンスグリッドが一時停止する間隔を決定します。指定可能な範囲は 1 ~ 10 秒です。デフォルトは 2 です。
グリッドのサイズ	[自動グリッド調整] が False に設定されている場合のレスポンス / 非レスポンス グリッドのサイズを決定します。デフォルト値は 800 x 600 です。
スキーム カラーを使用する	レスポンス / 非レスポンス グリッドでスキーム カラーとカスタム カラーのどちらを使うかを決定します。スキーム カラーは PowerPoint の現在の配色です。カスタム カラーは、レスポンス / 非レスポンス グリッド設定のカスタムのセルおよびグリッドの設定です。デフォルトは True で、スキーム カラーを使用します。

**表示バー設定**

表示バーのさまざまな設定を表示し、変更します。

設定	説明
表示バーの表示	スライド ショー中に表示バーを表示するかどうかを決定します。デフォルトは True で、表示バーを表示します。
表示バーの展開	この設定では、表示バーのデフォルトのスタイルを設定できます。True に設定すると、表示バーは完全に展開され、レスポンス数、投票の開始と終了、およびフィードバックが表示されます。False に設定すると、表示バーには応答と投票のステータスだけが表示され、画面の使用が少なくなります。
補助モニタを使用	補助モニタが使用可能な場合に、表示バーを補助モニタ上に表示するかどうかを決定します。デフォルトは True で、表示バーを補助モニタ上に表示します。

## スライドの設定

スライドの設定は特定のスライドに影響します。

### スライドの設定



### グラフの設定

グラフの設定を表示し、変更します。

設定	説明
グラフの色	プレゼンテーションでどのグラフの色が使用されるのかを決定します。利用可能な設定は [色スキーム]、[正解 / 不正解] および [ユーザー定義] です。[色スキーム] - 選択した PowerPoint プレゼンテーションの配色を使用します。[正解 / 不正解] - 正解と不正解のスライドで、ユーザー定義の色を使用します。[ユーザー定義] - ユーザー定義の色を使用します。  デフォルトは [色スキーム] です。
グラフの色 1 ~ 10	ユーザー定義カラー設定で使用する、グラフの 1 番目から 10 番目の色を指定します。色を変更するには :1.) 現在の色を選択して色選択ウィンドウを表示します。2.) 新しい色を選択します。
正解のグラフの色	正解 / 不正解カラー設定で使用する、正解のグラフの色を決定します。色を変更するには :1.) 現在の色を選択して色選択ウィンドウを表示します。2.) 新しい色を選択します。
不正解のグラフの色	正解 / 不正解カラー設定で使用する、不正解のグラフの色を決定します。色を変更するには :1.) 現在の色を選択して色選択ウィンドウを表示します。2.) 新しい色を選択します。
グラフのラベル	グラフのラベルおよび凡例に、回答のエイリアス (回答の箇条書きの形式) または箇条書きのマークが表示されるかどうかを決定します。デフォルトは [エイリアス] です。



設定	説明
グラフ値の形式	グラフの値を実際の数（質問に回答した人数）で表現するか、パーセンテージ（各質問に回答した人のパーセンテージ）で表現するかを決めます。有効な形式は、0、0%、0.0%、および0.00%です。デフォルトは0%です。
閲覧のみ	質問に回答した参加者の数をプレゼンテーション中にグラフで表示するか、それともプレゼンタがプレゼンテーションを確認するときに表示するだけにするかを決定します。デフォルトはFalseで、プレゼンテーション中にグラフを表示します。

### その他

カテゴリに分けられていない、さまざまな設定を表示し、変更します。

設定	説明
重複を許可する	参加者に、複数レスポンスのスライドで、同じレスポンスを複数回送信することを許可するかどうかを決定します。デフォルトはFalseで、複数レスポンスのスライドで、同じレスポンスを複数回送信することは許可しません。  この設定は、複数の参加者がレスポンス デバイスを共有する場合などに使用します。
匿名	投票が匿名になるようにスライドを指定します。デフォルトはFalseで、選択したスライドは匿名になりません。
正解ポイント	正解の既定のポイント値を決定します。指定可能な範囲は-10,000 ~ 10,000です。デフォルトは100です。
デモグラフィック	選択したスライドの質問がデモグラフィックの質問として扱われるかどうかを決定します。デフォルトはFalseで、質問はデモグラフィックとしては扱われません。
不正解ポイント値	不正解のデフォルトのポイント値を決定します。指定可能な範囲は-10,000 ~ 10,000です。デフォルトは0です。
複数レスポンスの約数	複数のレスポンスの質問でパーセンテージを計算するために使用する除数を、受信したレスポンスの合計数と、参加したデバイスの合計数のどちらにするかを決定します。デフォルトはデバイス (Devices) です。
質問のエイリアス	質問にどのようにラベルを付けるかを決定します。これは、レポートを実行する場合にのみ、適用されます。デフォルトは、質問がスライド上に表示される時と同じになります。
レスポンス データ	スライドにレスポンス データが含まれるかどうかを決定します。Trueの場合、スライドには投票データが含まれているため、再度の投票は行われません。Falseの場合、スライドは再度投票できます。デフォルトはTrueです。
レスポンス	レスポンス デバイスごとに、前の回答を上書きせずに受け付けられる回答の数を決定します。指定可能な範囲は1 ~ 10です。デフォルトは1です。



設定	説明
速効スコア	投票が開かれたままになっている時間に比例して、ポイント値が減るかどうかを決定します。デフォルトは False で、投票が開かれていても、ポイント値は減りません。
ゼロ基準で集計	回答を 1 ~ 10 または 0 ~ 9 に番号付けます。True に設定すると、回答の番号付けは 0 ~ 9 になり、現在の回答の箇条書きの形式は上書きされます。デフォルトは False です。

### レスポンス リマインダ設定

レスポンス リマインダの設定を表示し、変更します。

設定	説明
自動進行	[カウントダウン] オブジェクトまたは [レスポンス カウンタ] オブジェクトによって投票が閉じられた場合に、スライドショーが次のアニメーションに自動的に進むかどうかを決定します。デフォルトは False で、スライドショーは自動的に進みません。
カウントダウン制限秒数	[カウントダウン] オブジェクトが表示される秒数を設定します。指定可能な範囲は 1 ~ 999 です。デフォルトは 10 秒です。
カウントダウン音	カウントダウン音用としてサウンド ファイルを使用します。カウントダウン音を追加するには :1.) 現在の設定をクリックしてダイアログ ボックスを開きます。2.) サウンド ファイルのあるフォルダに移動します。3.) ファイル名を選択します。4.) [開く] を選択します。5.) 選択を完了します。  デフォルトは [None (なし)] です。利用可能なファイル拡張子は、.aiff、.au、.mid、.midi、.mp3、wav、および .wma です。

## 回答入力の設定

回答レベルの設定は特定の回答に影響します。回答入力の設定は、選択階層から選択した回答に影響を与えます。

### 回答入力の設定



### 回答入力の設定

回答入力の設定を表示し、変更します。

設定	説明
回答のエイリアス	グラフのラベルおよびいくつかのレポートで使用されるエイリアス(名前)を決定します。デフォルトは、スライド作成時に入力された回答になります。
回答値	回答が正解、不正解、値なし、または -10,000 ~ 10,000 の値を持つかどうか、決定します。デフォルトは値なしです。

# 4 参加者とチームの追跡

参加者リストでは、プレゼンテーション中にレスポンス デバイスを使用して質問に回答する参加者を識別します。

参加者名と必要な他の情報は、デバイスの ID とともに保存されます。これは、レスポンス デバイスに固有な識別子です。デバイス ID はデバイス タグに印刷されています。デバイス タグはデバイスの裏側にあります (ResponseWare をお使いの場合を除く)。

## 参加者リスト ウィザード

同じインタラクティブなプレゼンテーションで使用する複数の参加者リストを作成することができます。1 つの参加者リストには、1 つの出席者グループに関する情報が含まれます。複数の参加者リストを作成すれば、複数の参加者からのレスポンスを取得することができます。

- ・ *参加者リスト ウィザードによる参加者リストの作成*

---

### 参加者リスト ウィザードによる参加者リストの作成

参加者リスト ウィザードでは、参加者リストを作成するための手順が順を追って示されます。TurningPoint が受け入れる応答の数は、参加者の数と同じです。スライドで受信する応答の数は、参加者リストを実行するように選択することによって、コントロールすることができます。参加者リストの詳細については、82 ページの「[プレゼンテーションの設定](#)」を参照してください。

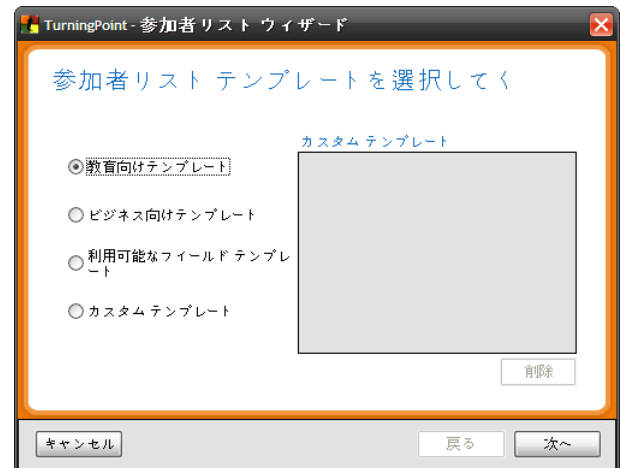
標準のリスト テンプレートを使用するか、参加者に関する情報を必要なだけ保存できるように独自にリストを作成するかを選択できます。

参加者リストを作成するには ...

- 1 TurningPoint リボンの [参加者] をクリックし、[参加者リスト ウィザード] を選択します。

- 2 使用する新しい参加者リストのテンプレートを選択します。

### 参加者リスト ウィザード

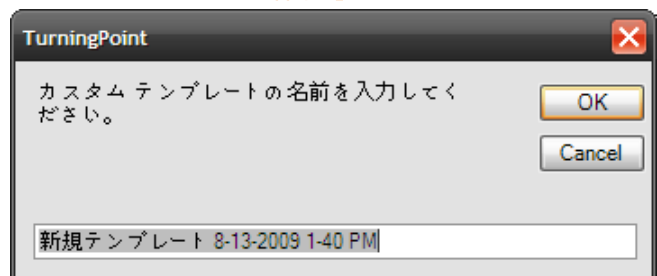


参加者リスト テンプレートは、以下の中から選択できます。

- ・ 教育向け – 幼稚園～高校および大学以降の教育向けプレゼンテーションで使用される標準の生徒情報（名前、生徒 ID など）が含まれています。
  - ・ 企業向け – 企業のフィードバック会議でよく使用される情報のエントリ（名前、会社名、電話番号など）が含まれています。
  - ・ 利用可能なフィールド – TurningPoint で使用できる、定義済みのすべての情報エントリを含んでいます。
  - ・ カスタム – カスタマイズした参加者リストを作成すること、テンプレートに名前を付けること、リストから以前作成したテンプレートを選択することができます。
- 3 [次へ] をクリックします。

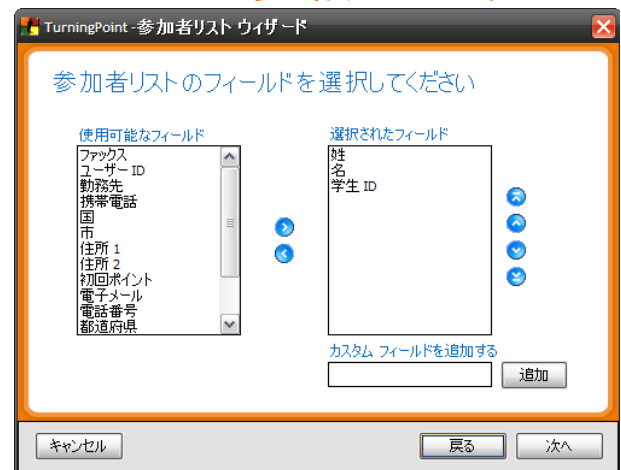
新しいテンプレートの作成を選択すると、テンプレートの名前を入力するように求められます。名前を入力して [OK] をクリックします。

### [カスタム テンプレートの保存] ダイアログ ボックス



参加者リストの情報エントリ（フィールドと呼びます）が表示されます。テンプレートを構成するすべてのエントリが、右側の [ 選択されたフィールド ] 領域に表示されます。このページを使用して、テンプレートを構成するエントリを追加、削除、または順序変更します。

### 参加者リストのフィールド



#### 4 選択されたフィールドのリストをカスタマイズするように選択することができます。

- テンプレートからエントリを削除するには、[ 選択されたフィールド ] 領域でエントリを選択し、左矢印ボタン (<) をクリックします。

**注記** または、エントリをダブルクリックしても、[ 選択されたフィールド ] 領域からエントリを削除できます。

- テンプレートにエントリを追加するには、[ 使用可能なフィールド ] 領域で目的のエントリを選択し、右矢印ボタン (>) をクリックします。

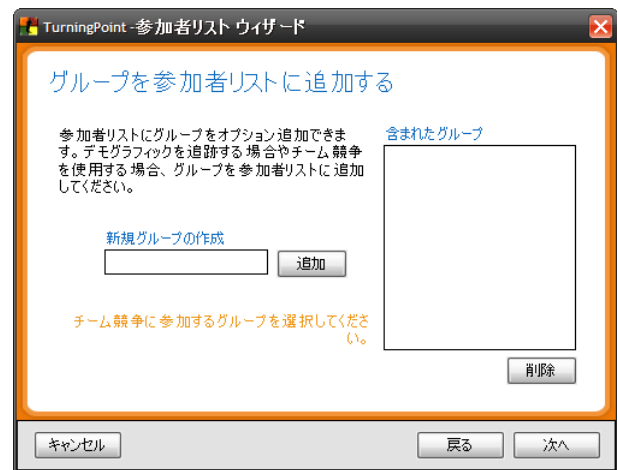
**注記** または、エントリをダブルクリックしても、[ 選択されたフィールド ] 領域にエントリを追加できます。

- [ 選択されたフィールド ] 内の順序を変更するには、上下ボタンをクリックします。
- [ 利用可能なフィールド ] 領域の下にないエントリをテンプレートに追加するには、[ カスタム フィールドを追加する ] ボックスにフィールド名を入力し、[ 追加 ] をクリックします。

#### 5 [ 次へ ] をクリックします。

グループ エントリ ボックスが表示されます。この画面を使用して、参加者リストにグループを追加します。グループによりカテゴリ化され、デモグラフィック レポートやチームの競争などのレポート機能が向上します。

### 参加者リストのグループ エントリ



- 6 グループ名を入力して [ 追加 ] をクリックします。

[ 含まれたグループ ] リストにすべてのグループが表示されます。この手順を繰り返して、追加のグループを追加します。

グループを削除するには、グループを選択して [ 削除 ] をクリックします。

- a. グループをチームとして指定するには、グループの隣にチェックマークを入れます。

- 7 [ 次へ ] をクリックします。

参加者リストのサマリ ページが表示されます。

### 参加者リストのサマリ ページ



ここには、参加者リストの設定を修正するオプションがあります。

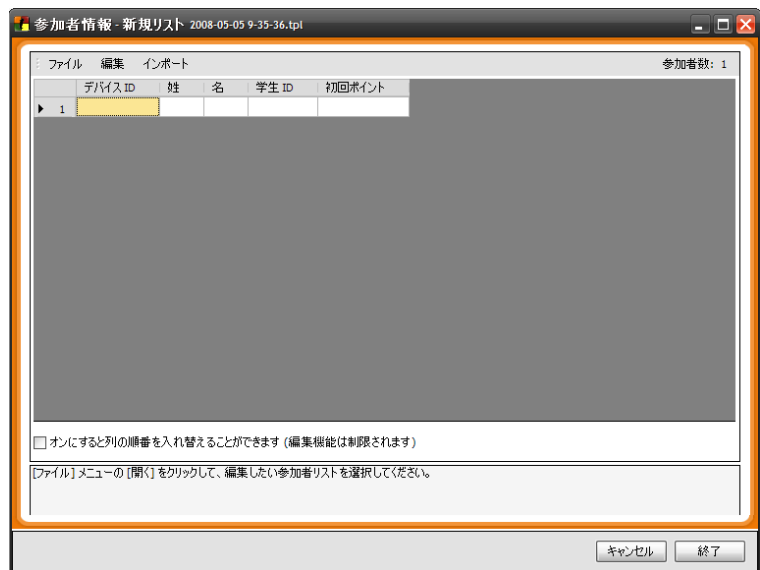
- 8 [ 終了 ] をクリックして、参加者リストを作成します。

TurningPoint の [参加者情報] ウィンドウが開き、データの入力、貼り付け、編集、インポートが行えます。また、このウィンドウから、フィールドやグループの追加や削除が行えます。参加者リストの編集方法の詳細については、100 ページの「**参加者リストの変更**」を参照してください。

既存のテンプレートに変更を行った場合は、修正したテンプレートを保存するようにメッセージが表示されます。

[はい] ボタンを選択してテンプレートに名前を付けて保存すると、カスタム テンプレートは、[マイ カスタム テンプレート] で利用できるようになります。

### 参加者リスト - 参加者情報の追加



9 新しい参加者リストに名前や他の参加者情報を追加する、またはテキスト、csv、Excel ファイルから参加者情報をインポートするには、以下の手順に従います。

- a メニュー バーの [インポート] をクリックし、[Excel/ 区切りテキスト ファイル] を選択します。
- b [参照] をクリックしてファイルの場所を指定し、[開く] をクリックします。

[区切りファイル インポート] ウィンドウが開きます。

- c [オプション] セクションで次のいずれかを選択します。

コンマ区切り

タブ区切り

その他 - テキスト区切り文字を入力するボックスが表示されます。

- d 必要な場合には [テキスト修飾子] を選択します。
- e [先頭行] を選択します。テキスト (.txt) または .csv ファイルに見出し行が含まれている場合には、2 行目から開始することが必要な場合があります。

f **[先頭列]** を選択します。

**ヒント** [区切りファイル インポート] ウィンドウの下側に、選択したファイルのプレビューが表示されます。先頭行や先頭列をどう指定すべきかよくわからない場合には、プレビューで確認してください。

g **[インポート]** をクリックします。

ファイルはインポートされ、参加者情報ウィンドウに表示されます。

h オプションとして、必要に応じて生徒情報を編集します。

10 **[終了]** ボタンをクリックするか、**[ファイル]** > **[保存]** をクリックして、参加者リストにデータを保存します。

新しい参加者リストが TurningPoint リボンの **[参加者リストの選択]** ドロップダウン メニューに追加されます。

#### 次の手順

参加者リストの編集および削除の方法の詳細については、100 ページの「**参加者リストの管理**」を参照してください。



# 参加者リストの管理

参加者リストをインポートした後、または参加者リスト ウィザードで作成した後で、参加者リストに変更を加えたり、まとめて削除することができます。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ 参加者リストの変更
- ・ 参加者とデバイス ID の確認
- ・ 参加者リストの削除
- ・ 参加者リストの印刷

## 参加者リストの変更

これらの手順に従って、既存の参加者リストに変更を行います。

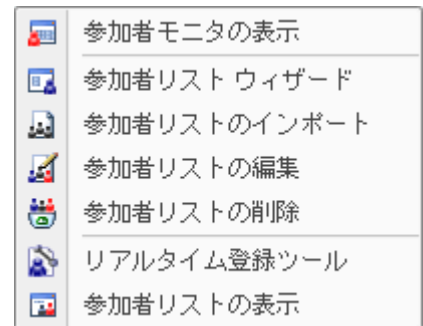
### 始める前に

参加者リストには .tpl 拡張子 (TurningPoint 参加者フォーマット) が付いています。参加者リストを編集する前に、参加者リストをインポートするか、参加者リストウィザードを使用して作成する必要があります。

参加者リストを変更するには ...

- 1 TurningPoint リボン で [参加者] をクリックし、[参加者リストの編集] を選択します。

### [参加者] メニュー



[マイドキュメント] / [TurningPoint] / [参加者] に保存された参加者リストのウィンドウが表示されます。

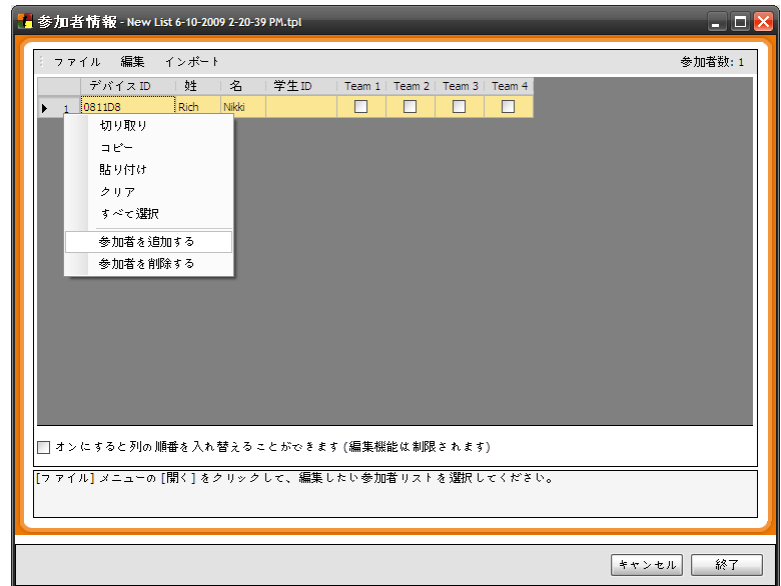
- 2 目的の参加者リストを選択し、[開く] をクリックします。

[参加者情報] ウィンドウに参加者リストのデータが表示されます。

- 3 エントリを選択し、新しい情報を入力して編集します。

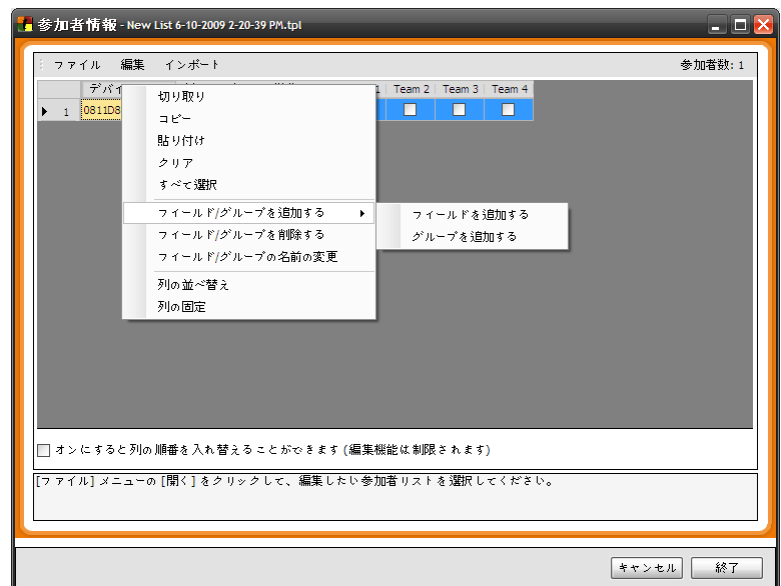
- 4 新しい参加者を追加するには、番号付きの列を右クリックして [参加者を追加する] を選択します。

## 参加者リスト - 参加者を追加する



- 5 参加者を削除するには、その参加者の番号ボックスを右クリックし、[参加者を削除する] を選択します。
- 6 新しい列を追加するには、既存の列を右クリックして、[フィールド / グループを追加する] > [フィールドを追加する] を選択します。列は、既存の列の右側に追加されます。

## 参加者リスト - 列の追加

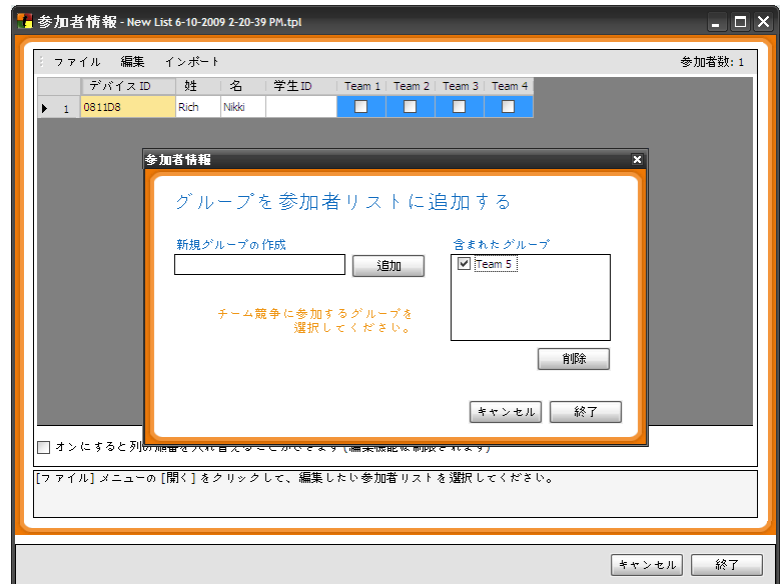


- a または、[参加者情報] ウィンドウの列を選択します。  
選択した列の右側に新しいフィールドが挿入されます。
- b メニューバーで [編集] をクリックし、[フィールド / グループを追加する] > [フィールドを追加する] にマウスを合わせます。

参加者情報の追加ウィンドウが開きます。

- c [カスタム フィールドを追加する] の下のスペースに、新しいフィールドの名前を入力します。
  - d [追加] をクリックします。
- [選択されたフィールド] リストに、新たに作成されたフィールドが追加されます。

### 参加者リスト - フィールド / グループの追加



- e 手順 b ~ d を繰り返して、追加のフィールドを追加します。
- f [終了] をクリックします。

参加者リストにフィールドが追加されます。

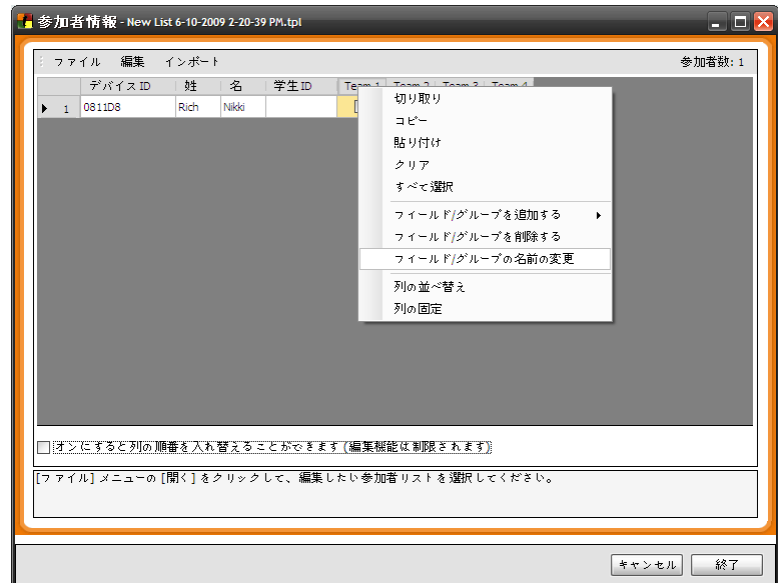
- 7 新しい列を追加するには、既存の列を右クリックして、[フィールド / グループを追加する] > [グループを追加する] を選択します。グループは、既存の列の右側に追加されます。

TurningPoint は、グループを自動的にデモグラフィックと指定します。

- a または、メニューバーで [編集] をクリックし、[フィールド / グループを追加する] > [グループを追加する] にマウスを合わせます。
  - b [新規グループの作成] の下のスペースに、新しいグループの名前を入力します。
  - c [追加] をクリックします。
- [含まれたグループ] リストに、新たに作成されたグループが追加されます。
- d グループをチームとして指定するには、グループの隣にチェックマークを入れます。
  - e 手順 d ~ e を繰り返して、追加のグループを追加します。
  - f [終了] をクリックします。

- 8 フィールド / グループの名前を変更するには、[フィールド / グループ] を右クリックして、[フィールド / グループの名前の変更] を選択します。

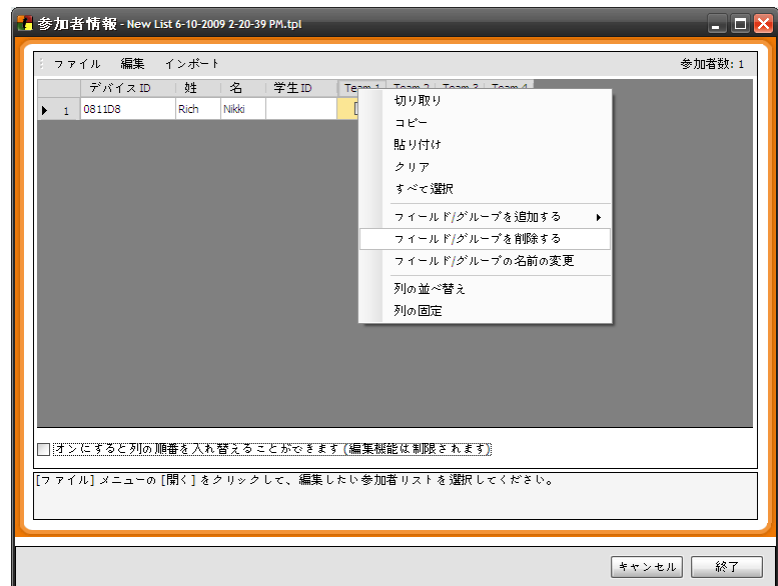
### 参加者リスト - フィールド / グループの名前の変更



- a または、名前を変更するフィールドまたはグループを選択します。
- b メニューバーで [編集] をクリックし、[フィールド / グループの名前の変更] を選択します。  
テキスト入力ウィンドウが表示されます。
- c フィールド / グループの新しい名前を入力します。
- d [OK] をクリックします。  
選択されたフィールドまたはグループの名前が変更されます。

- 9 フィールド / グループを削除するには、[フィールド / グループ] を右クリックして、[フィールド / グループを削除する] を選択します。

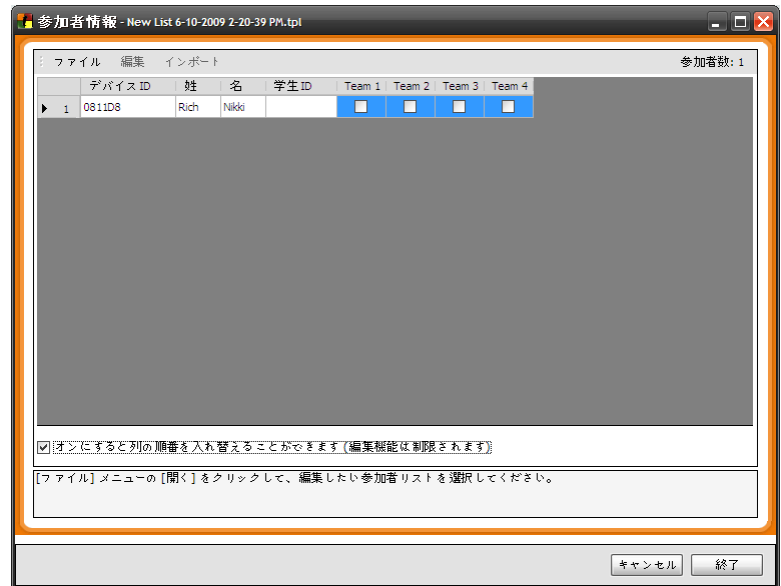
## 参加者リスト - フィールド / グループの削除



- a または、削除するフィールド / グループを選択します。
- b メニューバーで [編集] をクリックし、[フィールド / グループを削除する] を選択します。
- 選択されたフィールドが削除されます。
- 10 列を固定するには、列を右クリックして [列の固定] を選択します。
- a または、固定する列を選択します。
- b メニューバーで [編集] をクリックし、[列の固定] を選択します。
- 選択した列は固定されます。手順 11 で説明している、列の再配置は制限されます。[参加者情報] ウィンドウの、固定された列の左側にある列を右側に移動することはできません。逆に、[参加者情報] ウィンドウの、固定された列の右側にある列を左側に移動することもできません。
- 11 参加者リストの列の順番は、再配置することができます。
- a ウィンドウの下部にある [列の順番を入れ替える場合にオン] の隣にチェックマークを入れます。

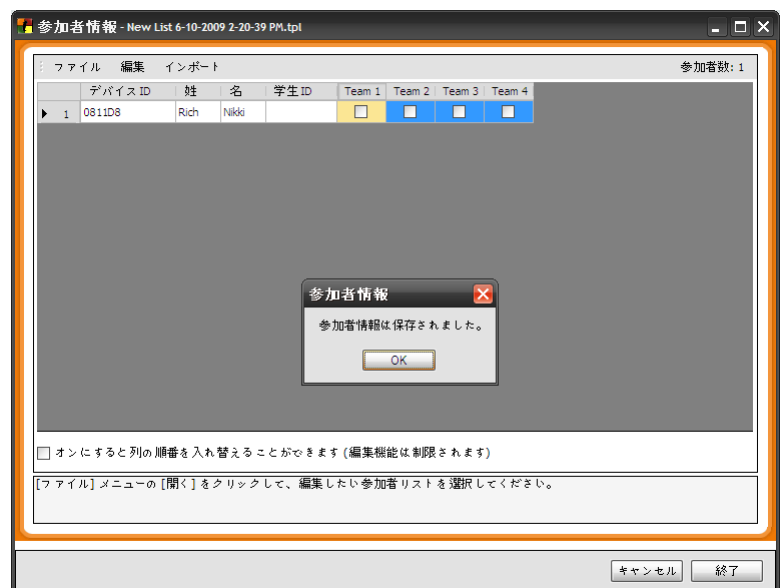
この機能をアクティブにしている間は、編集機能は制限されます。

### 参加者リスト - 列の再配置



- b 移動する列を選択します。
  - c 列を新しい場所にドラッグ アンド ドロップします。
- 12 [ファイル] > [保存] をクリックします。
- 確認メッセージが表示されます。
- a. [OK] をクリックします。

### 参加者リスト - 保存の確認



- 13 [終了] をクリックします。
- [参加者情報] ウィンドウは閉じます。

## 参加者とデバイス ID の確認

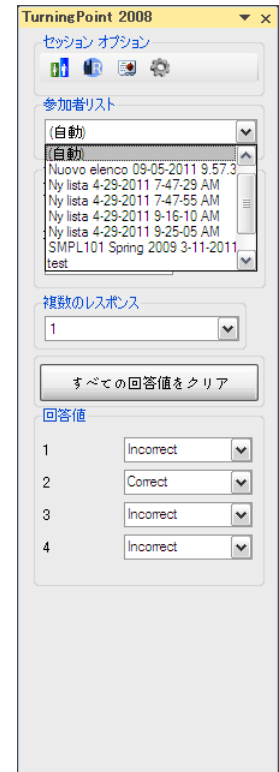
この項では、参加者リストの表示方法について説明します。

### 始める前に

参加者の名前とデバイス ID を含む参加者リストが必要になります。参加者リストの作成方法の詳細については 94 ページの「[参加者リスト ウィザードによる参加者リストの作成](#)」を参照してください。

- 1 参加者リスト ドロップダウン メニューから参加者リストを選択します。

### 参加者リスト ドロップダウン



- 2 TurningPoint リボンの [参加者] をクリックし、[参加者リストの表示] を選択します。

## 参加者リストの削除

この項では、TurningPoint から参加者リストを削除する方法について説明します。

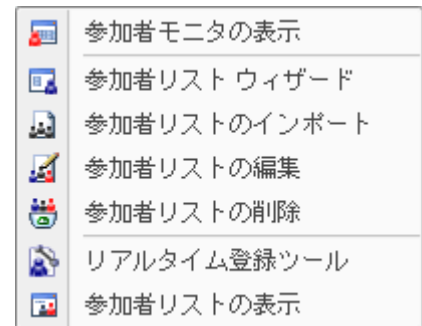
### 始める前に

参加者リストを削除すると、ファイルはコンピュータの [ごみ箱] に送られます。後でファイルにアクセスできるようにするには、別の場所にバックアップ コピーを保存しておきます。

参加者リストを削除するには ...

- 1 TurningPoint リボン で [参加者] をクリックし、[参加者リストの削除] を選択します。

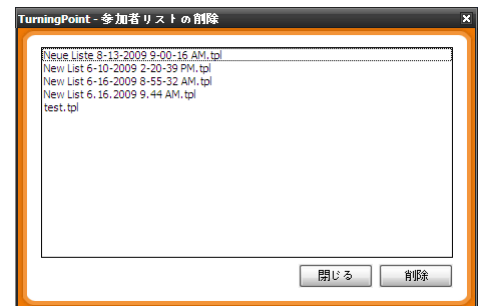
#### [参加者] メニュー



作成またはインポートされたすべての参加者リストがリスト表示されたウィンドウが表示されます。

- 2 削除する参加者リストのファイル名を選択します。

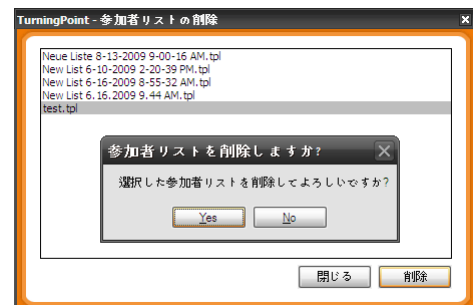
#### 参加者リストの削除



- 3 [削除] をクリックします。

選択した参加者リストの削除を確認するウィンドウが表示されます。

#### 参加者リストの削除



- 4 [はい] をクリックして、参加者リストを削除します。

ファイルがリストから削除されます。



## 参加者リストの印刷

この項では、TurningPoint から参加者リストを印刷する方法について説明します。

- 1 TurningPoint リボン で [参加者] をクリックし、[参加者リストの印刷] を選択します。  
[マイドキュメント]/[TurningPoint]/[参加者] に保存された参加者リストのウィンドウが表示されます。
- 2 目的の参加者リストを選択し、[開く] をクリックします。  
[参加者情報] ウィンドウに参加者リストのデータが表示されます。
- 3 [参加者情報] ウィンドウのメニューバーで、[ファイル] をクリックして、[参加者リストの印刷] を選択します。
- 4 印刷するフィールドを選択します。
- 5 ドロップダウン メニューから [縦] または [横] を選択します。
- 6 [印刷] をクリックします。

**注記** 参加者リストの印刷の前に、印刷プレビューが表示されます。

- 7 [閉じる] をクリックします。

# チームの競争のセットアップ

TurningPoint では、グループの相互作用を高めることができます。チームの競争は、この相互効果を生む楽しい方法です。チームの競争をセットアップするには、参加者リスト ウィザードを使用します。参加者をチームに割り当てて、プレゼンテーションの実行中に最高スコアを目指して競合するように、参加者リストを作成することができます。

また、既存の参加者リストを編集し、[グループを追加する]機能を使い、グループ名の隣の適切なチェックボックスをチェックして、グループをチームとして追加することができます。

参加者またはチームのスコアを計算するには、正しい回答にポイント値を割り当てる必要があります。速効スコアを使用すると、参加者のレスポンスの速さに基づいてポイントを割り当てることもできます。

TurningPoint には、参加者およびチームのポイント合計や、最も速く応答した参加者を追跡するための複数のスライドが用意されています。詳細については、9 ページの「[スライドの作成と保存](#)」を参照してください。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ [参加者リストへのチームの追加](#)

---

## 参加者リストへのチームの追加

チームの競争が有効な参加者リストを作成するには、以下の手順に従います。また、既存の参加者リストを編集し、[グループを追加する]機能を使い、グループ名の隣の適切なチェックボックスをチェックして、グループをチームとして追加することができます。

### 始める前に

これらの手順では、プレゼンテーションテストの前に、参加者をチームに割り当てるための新しい参加者リストを作成します。また、既存の参加者リストを編集して、チームを含めることができます。

プレゼンテーションの実行中にチームを選択する場合は、チーム割り当てスライドを挿入する必要があります。この特別なスライドの詳細については、16 ページの「[競争スライド](#)」を参照してください。

チームの競争をセットアップするには ...

- 1 94 ページの「[参加者リスト ウィザードによる参加者リストの作成](#)」の手順 1～手順 5 に従います。

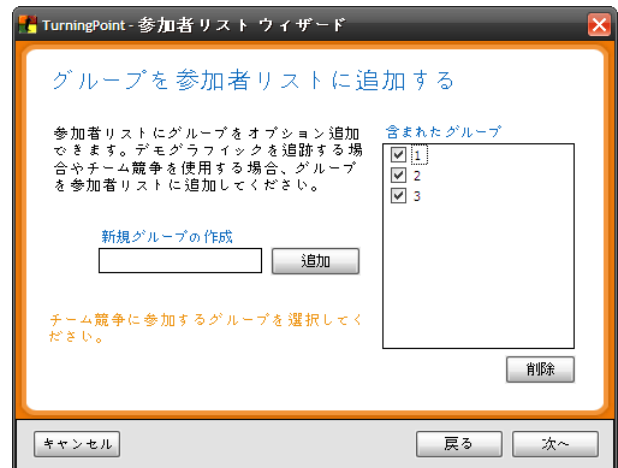
[参加者リスト ウィザード] ウィンドウに [グループ エントリ] ボックスが表示されます。このページを使用して、参加者リストにグループを追加します。

- 2 [新規グループの作成] フィールドにグループ名を入力し、[追加] をクリックします。必要なすべてのチーム名について、この操作を繰り返します。

[含まれたグループ] リストにすべてのグループが表示されます。これらのグループは、参加者を割り当てるグループの任意の種類 (チーム、クラス レベル、その他のデモグラフィック情報など) を表します。

- 3 右側の列で、適切なチェックボックスを選択して、チームとして競争するように指定するグループを選択します。

### 参加者リスト ウィザード：追加されたグループ



- 4 [次へ] をクリックします。

[参加者リストのサマリ] 画面が表示されます。

### 参加者リストのサマリ ページ



- 5 [終了] を選択して、参加者リストを作成してファイルに保存します。

#### 次の手順

参加者およびチームのポイントを追跡するスライドの詳細については、16 ページの「**競争スライド**」を参照してください。

# リアルタイム登録ツール

リアルタイム登録ツールは、少人数（できれば、50 人より少ない）の参加者リストを、すばやく、簡単に作成するツールです。登録には少々時間しかかからないので、恒久的な参加者リストを作成する必要は無くなります。以下の手順は、クラスを開始する前に、各参加者が適切なレスポンス デバイスを持っているか確認するために実行できます。

## リアルタイム登録ツールの使用方法

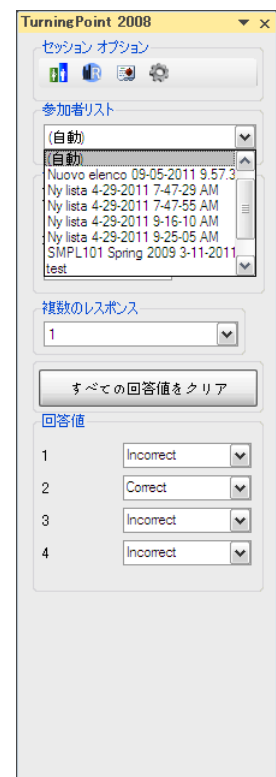
### 始める前に

参加者の名前を含み、デバイス ID は含まない参加者リストが必要になります。参加者リストの作成方法の詳細については 94 ページの「[参加者リスト ウィザードによる参加者リストの作成](#)」を参照してください。

参加者とデバイス ID を確認するには ...

- 1 参加者リスト ドロップダウン メニューから参加者リストを選択します。

### 参加者リスト ドロップダウン



- 2 TurningPoint リボンの [参加者] をクリックし、[リアルタイム登録ツール] を選択します。

### リアルタイム登録ツール



- 3 [登録終了] をクリックします。ボタン ラベルは「登録開始」に変化し、参加者は自分のデバイスの登録を開始できます。
- 4 各参加者は自分の名前を探します。
- 5 各参加者は、自分の名前の左の数字をレスポンス デバイスに入力します。
- 参加者のデバイス ID が [デバイス ID] 列に表示されます。
- 参加者リストに 10 名より多くの参加者が含まれている場合には、進むボタンと戻るボタンでページをスクロールして、他の参加者を確認します。再生ボタンをクリックすると、自動的にスクロールします。
- 6 すべての参加者がレスポンスを返したら、[登録開始] をクリックします。
- 7 ウィンドウの右上隅にある赤い (X) マークをクリックして、リアルタイム登録ツールを閉じます。
- 8 [はい] をクリックして、参加者情報を更新した参加者リストを保存します。
- リアルタイム登録ツールが閉じます。

# 5 ツール

TurningPoint には、強力で高度な機能を使用できるさまざまなツールが用意されています。

- ・ 項目にランク付けするためのスライドを作成します
- ・ 参加者を評価するために、スタンダードを作成および割り当てます
- ・ QuestionPoint を使用して、都道府県のスタンダードに合わせたスライドを作成します
- ・ 分岐問題を使用して、レスポンスに基づいて、プレゼンテーション内のスライドの順序を制御します
- ・ インポートしたファイルからスライドを作成します

## ランキング ウィザード

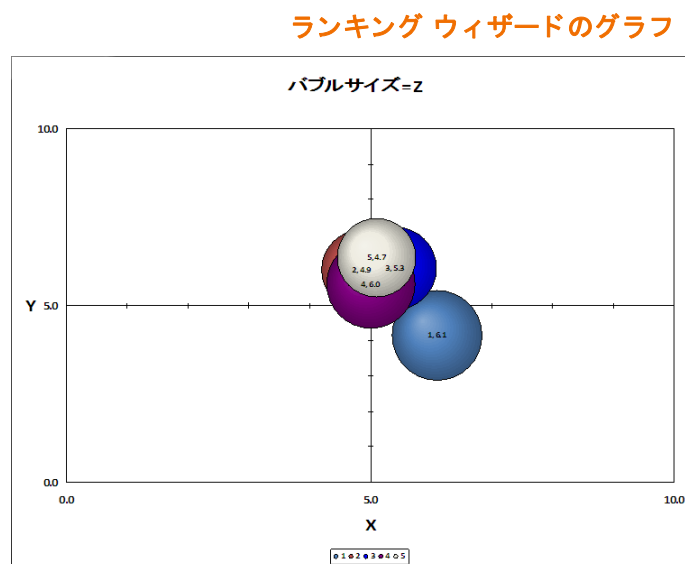
TurningPoint のランキング ウィザードを使用すると、意思決定、優先度の決定、またはその他の種類のランキングをサポートしているスライドを、すばやく簡単に作成することができます。ランキング ウィザードでは、1 項目から 3 項目の条件に基づいて項目を比較するためにスライドが自動的に作成され、結果がグラフに示されます。

たとえば、検討中の複数のプロジェクトについて、優先度を決定するとします。コスト、効果、および緊急度に基づいてそれらを比較することができます。

各項目を各条件の数値スケール上にランキングするように選択することができます。たとえば、あるスライドで、低 (1) ~ 高 (10) の緊急度に基づいて、プロジェクト A をランキングするように求められたとします。1 で始まり、10 までの任意の数で終わるスケールを使用できます。

条件に基づいてペアで項目を比較するように選択することもできます。たとえば、あるスライドで、プロジェクト A とプロジェクト B のどちらがより緊急度が高いかを尋ねられたとします。

必要な数の項目を含めることができます。その結果は、以下に示すように、項目をランキングしたグラフに表示されます。



この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ **ランキング ウィザードによるスライドの作成**

## ランキング ウィザードによるスライドの作成

ランキング ウィザードは、Turning Point リボンの [ツール] メニューにあります。ランキング スライドのセットを作成する方法を順を追って示します。

ランキング ウィザードを使用してスライドを作成するには ...

- 1 ランキング スライドの挿入位置の前のスライドに移動します。

ランキング ウィザードが完了すると、プレゼンテーション内の現在選択されているスライドの後にランキング スライドが追加されます。

- 2 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[ランキング ウィザード] を選択します。

[ ランキング ウィザード ] ウィンドウが開きます。

### ランキング ウィザード：項目の追加



- 3 表示されたボックスにランキングする項目の名前を入力し、[ 追加 ] をクリックします。

項目がリストに追加されます。少なくとも 2 項目を追加する必要があります。

この手順を繰り返して、ランキングするすべての項目を追加します。

**注記** ランキング ウィザードで項目のリストを再使用する場合は、項目のリストを保存することができます。リストはシンプルなテキスト (.txt) ファイルとして保存されます。

項目のリストが含まれたテキスト ファイルを保存するには、[ 保存 ] ボタン (ディスクのアイコン) を使用します。項目のリストが含まれたテキスト ファイルを読み込むには、[ 読み込み ] ボタン (フォルダのアイコン) を使用します。

- 4 ランキングするすべての項目を追加したら、[ 次へ ] をクリックします。

ランキング ウィザードに次のオプション セットが表示され、条件を指定することができます。

### ランキング ウィザード：条件の入力





- 5 表示されたボックスに X 条件の名前を入力し、オプションで Y 条件の名前を入力します。

ランキングに使用する少なくとも 1 つの条件 (X) を入力する必要があります。単一の条件のみを比較する場合は、Y 条件を空白のままにしてください。

グラフの横軸に X 条件が、縦軸に Y 条件が表示されます。

- 6 ランキングに第 3 の条件を含める場合は、Z 条件のボックスをオンにして、表示されたボックスに Z 条件の名前を入力します。

Z 条件を使用する場合、Z 条件はグラフ内で、項目ごとに「バブル」のサイズで表されます。

- 7 項目をランキングする方法を選択します。



- 条件の数値スケール上に項目をランキングするには、[スタンダード X/XY/XYZ] を選択します。

スタンダードの比較を選択した場合は、ランキング ウィザードで後で使用する数値スケールを指定します。

- 条件に基づいてペアで項目を比較するには、[ペア比較] を選択します。

ペア比較を選択した場合は、そのオプションのボックスをオンにして、[指定なし] のレスポンスを許可することができます。

- 8 スタンダードの比較を選択した場合は、スライドを条件別にグループ化するか、リスト項目別にグループ化するかを選択します。

スライドを条件別にグループ化すると、まず条件 X に関する各項目のスライドが表示され、次に条件 Y に関する各項目のスライドが表示されます。

スライドを項目別にグループ化すると、まず項目 A に関する各条件のスライドが表示され、次に項目 B に関する各条件のスライドが表示されます。

### ランキング ウィザード：スタンダードの比較



- 9 ランキング ウィザードによって作成されたスライドを自動的に進行するには、[ 自動進行 ] ボックスをオンにします。

[ 自動進行 ] を使用すると、すべての参加者が質問に回答した後で、スライドが自動的に進行されます。

### ランキング ウィザード：自動進行



- 10 ランキング ウィザードによって作成されたスライドにグラフを表示するには、ボックスをオンにします。

通常は、ランキングの質問に個々のスライドの結果を表示する必要はありません。このオプションをオフにして、[自動進行]と組み合わせて使用すると、ランキングの質問からランキング グラフをすばやく表示することができます。

### ランキング ウィザード：グラフの表示



- 11 Z 条件を使用している場合、以下のボックスを使用するにはボックスをオンにします。

### ランキング ウィザード：Z 条件



- [バブル名の表示]を使用すると、ランキング グラフの各項目を表すバブルに、各項目の名前が表示されます。

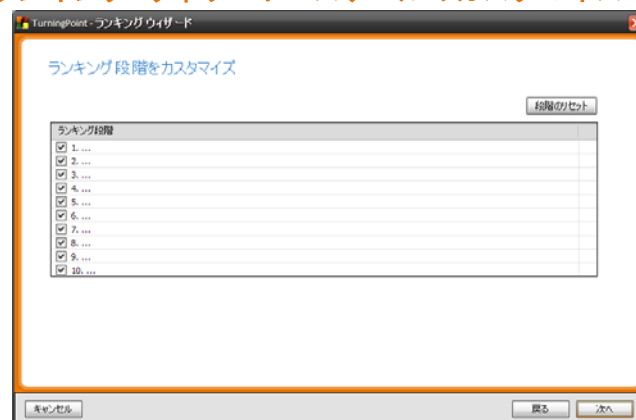
グラフには、項目のバブルを色分けするキーも含まれます。

- [バブル サイズを表示]を使用すると、ランキング グラフに各項目のバブルの数値サイズが表示されます。

- 12 使用するすべてのオプションを指定したら、[次へ]をクリックします。

スタンダードの比較を選択した場合は、次のオプション セットを使用して、[ランキング ウィザード] ウィンドウに表示されるランキング スケールを指定することができます(ペア比較を選択した場合は、サマリが表示され、手順 16 に進むことができます)。

### ランキング ウィザード：スケールのカスタマイズ



- 13** スケールが 1 ～ 10 よりも少なくなるように制限する場合は、数字の横にあるボックスをオフにします。

数字をオフにすると、それより大きいすべての数字もオフになります。

たとえば、1 ～ 4 のスケールを使用する場合は、[5] の横にあるボックスをオフにします。

- 14** 番号にラベルを追加する場合は、番号を右クリックし、[テキストの編集] を選択します。

スケールの最も小さい番号と最も大きい番号にラベルを付けることができます(「最低」と「最高」など)。

- 15** ランキング スケールを変更し終わったら、[次へ] をクリックします。

- 16** サマリの情報を調べて、正しいことを確認します。

いずれかの情報が間違っている場合は、間違っている情報を選択すると、その情報を指定したランキング ウィザードのオプション セットに移動します。情報を正しく変更し、残りの手順を続行します(または、[戻る] ボタンを使用して、間違っ設定したオプションに戻ります)。

- 17** [終了] をクリックしてランキング スライドを作成します。

プレゼンテーションにランキングの質問とランキング グラフが挿入されます。(項目の数が多い場合は、やや時間がかかることがあります)。

#### 次の手順

ランキング スライドが含まれているプレゼンテーションを実行すると、結果が集計されてランキング グラフが生成され、スライド内のランキングの質問の後に表示されます。

**注記** ランキング ウィザードでは、作成したスライドからの結果を使用して最終的なグラフが作成されるので、ランキング ウィザードで作成されたスライドは変更しないでください。

# 分岐問題

分岐問題を使用すると、出席者から受信したレスポンスに基づいて、プレゼンテーションでのスライドの順序を制御することができます。

たとえば、プレゼンテーションの冒頭で、トピック A とトピック B のどちらを扱ってほしいか、参加者に尋ねることができます。投票の結果に基づいて、プレゼンテーションはトピック A またはトピック B に進みます。

あるいは、参加者が課題を理解しているかどうか評価するために、特定の課題の範囲を取り上げた質問を行うことができます。大部分の参加者が正しく応答した場合は、資料の次のセクションに進むことができます。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ **分岐問題のセットアップ**

---

## 分岐問題のセットアップ

分岐問題をセットアップするには、条件を定義し、その条件を満たす場合は指定したスライドに進みます。各条件は比較から構成されます。特定の回答（またはすべての正しい回答）に対するレスポンスの数またはパーセンテージを、特定の値と比較するか、そのスライドでのレスポンスの大多数と比較します。

分岐問題をセットアップするには、Turning Point リボンの [ ツール ] メニューから表示できる [ 分岐問題 ] ウィンドウを使用します。

### 始める前に

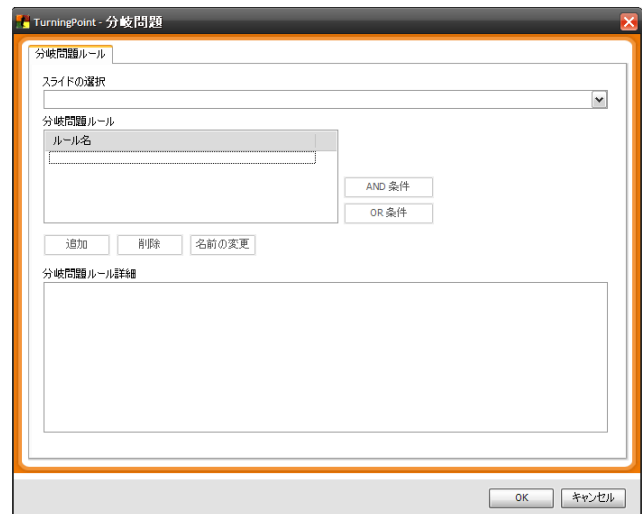
分岐問題をセットアップする前に、プレゼンテーションの分岐用のスライドを作成し、それらの順序を計画する必要があります。

### 分岐問題をセットアップするには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ ツール ] をクリックし、[ 分岐問題 ] を選択します。

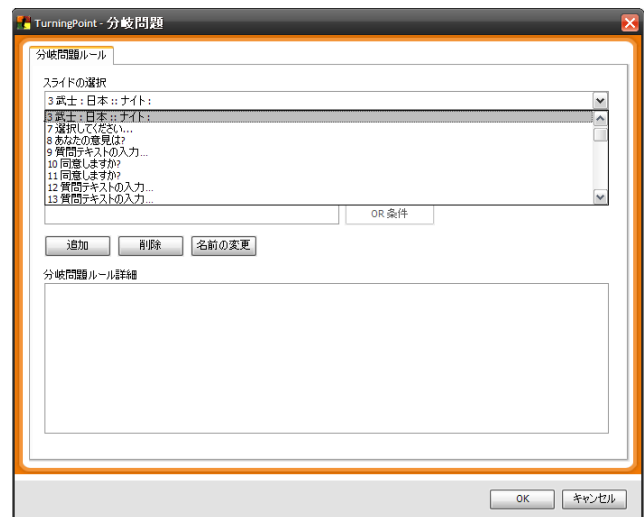
[分岐問題] ウィンドウが開きます。

### [分岐問題] ウィンドウ



- 2 [スライドの選択] ドロップダウン メニューで、分岐を開始するスライドを選択します。

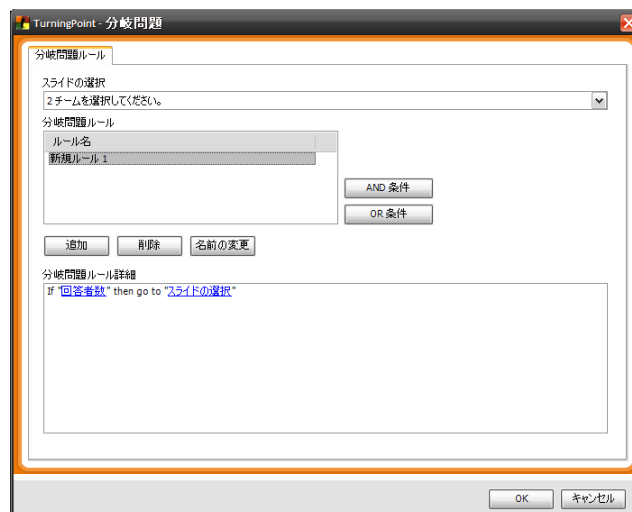
### [分岐問題] ウィンドウ : スライドの選択



- 3 [追加] をクリックして、条件を追加します。

[条件ルール] ボックスには、デフォルトの [新規ルール] という名前で条件が表示されます。

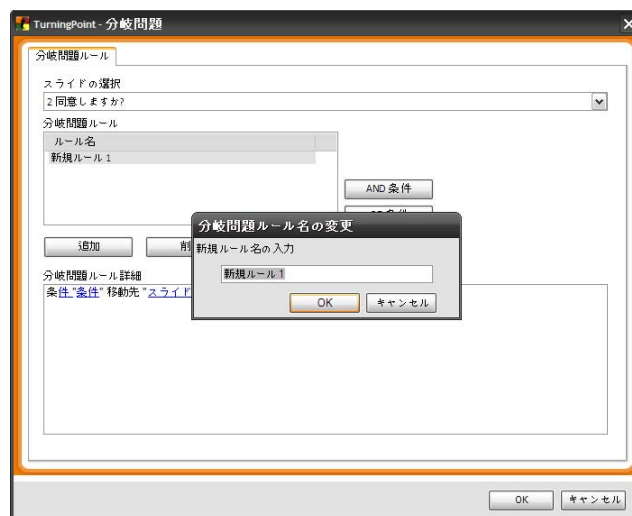
### [分岐問題] ウィンドウ : 新規ルール



- 4 オプションで、[名前の変更] をクリックして、条件の名前を変更します。

ダイアログが開いて、ルールの新しい名前を入力することができます。[OK] をクリックします。名前は変更されます。

### [分岐問題] ウィンドウ : 条件の名前の変更



- 5 オプションで、論理演算子として [AND 条件] または [OR 条件] を選択して、スライドに対して複数の条件を作成します。

[AND 条件] を選択すると、分岐問題項目を前の項目とリンクさせ、両方の条件の成立を 1 つの条件とすることができます。これは、“条件” and “条件” then go to “スライドの選択” の形になります。

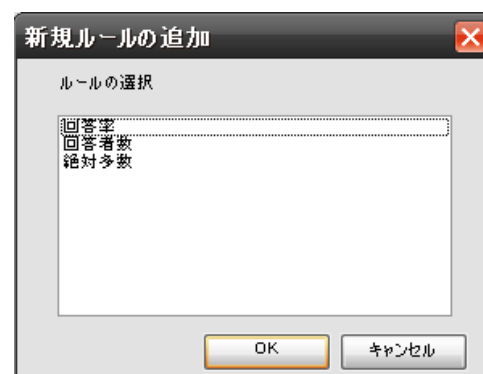
[OR 条件] をクリックすると、分岐問題項目を前の項目とリンクさせ、いずれかの条件の成立を 1 つの条件とすることができます。これは、“条件” or “条件” then go to “スライドの選択” の形になります。

**注記** 単一のスライドに 2 つ以上の分岐問題項目をリンクすることもできます。

- 6 適切なリンクを選択して、[分岐問題ルール詳細] のすべての条件を定義します。
- a 条件 - 条件を満たすために同じレスポンスを選択する必要がある、回答者の数またはパーセンテージを選択します。

[回答率]、[回答者数]、または[絶対多数]から選択します。

### [分岐問題] ウィンドウ：条件の選択



[組み合わせルールの条件] ボックスが開き、選択する必要がある、組み合わせルールの 3 つまでのコンポーネントが表示されます。これらは比較演算子、値、および選択した回答です。

### [分岐問題] ウィンドウ：組み合わせルールの条件



- ・ [比較演算子] - 分岐項目の条件を満たすかどうかを指定するために使用します。以下から選択できます。
- ・ より大きい (>)
- ・ より小さい (<)
- ・ 等しい (=)
- ・ 等しくない (<>)
- ・ 以上 (>=)
- ・ 以下 (<=)

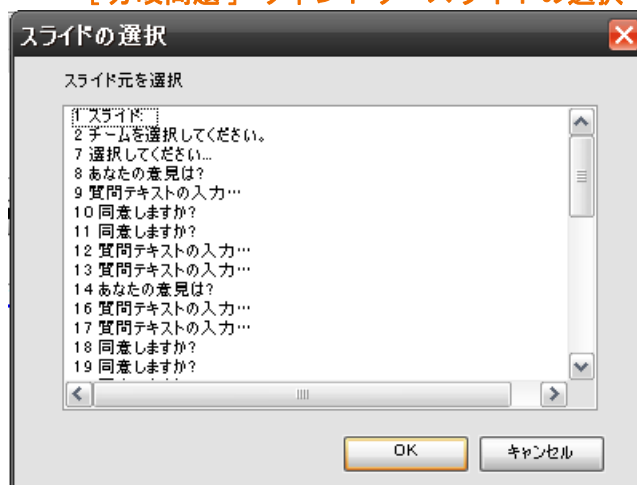


- ・ [値] - 次の手順で比較する数またはパーセンテージの値を入力します。[回答者数]を選択した場合は、レスポンスの数を入力します (0 ~ 参加者の数の合計)。[パーセンテージ]を選択した場合は、レスポンスのパーセンテージを入力します (1 ~ 100)。
- ・ [選択した回答] - 条件を True にするには、どの回答を選択する必要があるかを指定します。選択した回答に対するレスポンスの数またはパーセンテージは、比較に使用されます。スライド上の任意の回答を選択できます。その選択した回答に対するレスポンスの数が条件で使用されます。

**b** [スライドの選択] - 条件が満たされたときに表示するスライドを選択します

プレゼンテーション内の任意のスライドに分岐できます。

**【分岐問題】 ウィンドウ：スライドの選択**



**7** 手順 4 ~ 7 を繰り返して、同じスライドに付加的な独立の条件を追加します。

**8** スライドにすべての条件を追加し終わったら、[分岐問題] ウィンドウの [OK] をクリックします。

**次の手順**

プレゼンテーション セッションを実行すると、分岐問題がセットアップされたスライドは、条件を満たした場合の分岐先として指定されたスライドに進みます。

条件を削除するには、[分岐問題] ウィンドウのリストで条件を選択し、[削除] ボタンを選択します。

# パーサーのドキュメント

TurningPoint パーサーでは、特定の種類のドキュメントをインポートできます。

- ・ QTI ドキュメント
- ・ XML ドキュメント
- ・ Microsoft Word ドキュメント (.doc)
- ・ Excel スプレッドシート (.xls)

TurningPoint パーサーにインポートするには、これらのドキュメントは適切な方法で書式設定されている必要があります。以下の項では、パーサーでインポートするドキュメントの適切な書式設定について説明します。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ *Word* ドキュメントの書式設定

## Word ドキュメントの書式設定

TurningPoint パーサーにインポートする Word ドキュメントを作成するには、Word の組み込みの見出しスタイルを使用してアウトラインを作成する必要があります。見出しスタイルを適用するには、[書式設定] リボンのドロップダウンメニューを使用するか、[書式]メニューから[スタイルと書式]ペインを使用します。

各質問には「見出し 1」スタイルを使用する必要があります。質問の後に続く複数の回答は、各行に区切り、「見出し 2」スタイルを使用します。

質問テキストおよび回答テキストのほかに、オプションで TurningPoint のタグを使用してその他の設定を制御することができます。TurningPoint の各タグには「見出し 3」スタイルを使用する必要があります。タグは、アウトラインの先頭に置くか（プレゼンテーション全体に適用するタグの場合）、質問または回答の直後の行に置きます（特定の質問または回答に適用するタグの場合）。タグは次のように書式設定します。

<tag>value

すべてのタグはオプションです。省略すると、スライドは既定のスタンダードの質問スライドになります。

次の表にタグの説明を示します。

タグ	場所	説明および使用できる値
<c>	アウトラインの先頭。	プレゼンテーション内のスライドの数。
<d>	アウトラインの先頭または質問の後。	アウトラインの先頭の場合はセッション ID が含まれ、質問の後の場合はトピック ID が含まれます。

タグ	場所	説明および使用できる値
<a>	質問または回答の後。	質問または回答のエイリアスが含まれます。
<t>	質問の後。	1 文字のコードを使用して、作成するスライドの種類を定義します。次の文字を使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Q = スタンダードの質問スライド</li> <li>・ P = 写真スライド</li> <li>・ D = デモグラフィック スライド</li> <li>・ S = 速効スコア スライド</li> <li>・ F = 空白に入力スライド (ResponseCard IR、XL、および RF のユーザーは数値のレスポンスのみに制限されますが、ResponseCard XR および ResponseWare ユーザーは英数字のレスポンスをさまざまな長さで入力できます。)</li> <li>・ E = エッセー スライド (ResponseCard IR、XL、および RF のユーザーは数値のレスポンスのみに制限されますが、ResponseCard XR および ResponseWare ユーザーは英数字のレスポンスをさまざまな長さで入力できます。)</li> <li>・ M = 現行評価スライド</li> </ul>
<f>	質問または回答の後。	写真ファイルのファイル名。タグが質問の後にある場合、写真はスライド上の質問テキストの横に追加されます。slide の type が “P” で、タグが回答の後にある場合、スライド上の回答テキストが写真に置き換えられます。
<n>	質問の後。	質問の写真の位置が含まれます。次の値を使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ L = 左揃え</li> <li>・ R = 右揃え</li> <li>・ F = 全画面表示</li> </ul>
<m>	質問の後。	スライドで ResponseCard ごとに許可されるレスポンスの数が含まれます。指定できる値は 1 ～ 10 です。
<p>	質問の後。	質問のトピックが含まれます。
<v>	回答の後。	回答の値が含まれます。有効な回答の値は、[正しい]、[正しくない]、または -10,000 ～ 10,000 のポイント値です。

# スライドのインポート

シンプルなスライド プレゼンテーションを作成するには、TurningPoint パーサーを使用して QTI ドキュメント、Microsoft Word ドキュメント、または Excel ドキュメントをインポートします。または、TestingPoint から質問および回答データをインポートすることもできます。

TurningPoint のこの機能を使用すると、スライドを簡単に作成することができます。また、TurningPoint スライドに変換する質問および回答のデータを、別の形式で既に用意してある場合にも便利です。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ *TurningPoint* パーサーによるスライドのインポート

---

## TurningPoint パーサーによるスライドのインポート

TurningPoint パーサーは [ ツール ] メニューにあり、Microsoft Word または XML ファイルから自動的にスライドを作成することができます。

TurningPoint パーサーを使用してスライドをインポートするには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ インポート ] をクリックします。
- 2 [Excel スプレッド シート ]、[QTI ドキュメント ]、[Word ドキュメント ]、または [XML ドキュメント ] を選択します。

ダイアログ ウィンドウが表示されます。

### ダイアログ ウィンドウ



- 3 インポートするファイル (.xml、.doc、.doc、.xls、.zip) の場所に移動して選択します。

**4** 続行するには [開く] をクリックします。

スライドを現在のプレゼンテーションの末尾に追加するか、新しいプレゼンテーションを作成するかを確認するダイアログ ボックスが表示されます。

**5** スライドを現在のプレゼンテーションに追加するには、[はい] をクリックします。新しいプレゼンテーションを作成するには、[いいえ] をクリックします。

ファイルからスライドが作成されます。複数のスライドがある場合は、やや時間がかかることがあります。

**次の手順**

TurningPoint パーサーによってインポートされたスライドはスタンダードの TurningPoint スライドなので、TurningPoint のカスタマイズ機能を使用してスライドをカスタマイズすることができます。

# 6 プレゼンテーションの実行

第2章「スライドの作成と保存」で説明したようにスライドおよびオブジェクトを作成し終われば、インタラクティブなプレゼンテーションを実行する準備ができています。

## プレゼンテーションの実行

インタラクティブなプレゼンテーション セッションを実行するには、PowerPoint のスライド ショー機能を使用します。

投票を開いたり閉じたりしてプレゼンテーション セッションを制御します。投票とは、レスポンス デバイスを使用して出席者から提供されたレスポンスを受信および記録する機構です。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ スライド ショーの実行
- ・ レスポンス グリッドの表示
- ・ プレゼンテーション セッション中のスライドの追加
- ・ データ分割の使用（質問ごとの結果の表示）

---

### スライド ショーの実行

PowerPoint のスライド ショー機能を使用して、インタラクティブなプレゼンテーションを実行します。TurningPoint では、出席者からのレスポンスを受信し、レスポンスの結果を表示し、レスポンスをメモリに保存します。

#### 始める前に

TurningPoint では、出席者からのレスポンスを受信し、レスポンスの結果を表示し、レスポンスをメモリに保存します。

インタラクティブなプレゼンテーションを実行するには ...

- 1 PowerPoint リボンで [スライド ショー] > [最初から] をクリックします。

プレゼンテーションの先頭のスライドが表示されます。画面の右上隅に表示バーが表示されます。表示バーとは、スライドショーの実行中に投票、監視、およびレスポンスを表示するためのアクティブ化ボタンが置かれているバーです。

## 表示バー



表示バーを右クリックし、表示バーの上でカーソルを移動すると、各コマンドの名前が表示されます。コマンドをアクティブ化するには、表示バーのアイコンを選択するか、キーボードの該当するファンクションキーを使用します。表示バーのコマンドは、次のように使用します。

表示バーを縮める



表示バーを短くして、レスポンスと投票のステータスだけが表示されるようにします。

F9 — 表示バーを表示 / 非表示にする



現在のプレゼンテーションセッションを実行している間、表示バーを閉じます。

F2 — 結果の切り替え



各グラフに表示される値を変更します。値は数値またはパーセンテージで表すことができます。

F3 — データのスライス処理



別の質問で特定のレスポンスを選択した出席者の割合について、グラフ上にレスポンスを表示します。

F6 — 元のグラフの表示



このコマンドは、[結果の切り替え]または[データのスライス処理]コマンドを使用した後で使用して、グラフの外観を作成直後の状態に戻します。

F4 — 質問の再投票



レスポンスをクリアし、現在表示されている質問に対する出席者の新しいレスポンスを受信します。セッションファイルには、元のレスポンスと新しいレスポンスの両方が保存されます。

F7 — レスポンスグリッドの表示



画面上にレスポンスグリッドを表示して、質問に応答した参加者を確認できるようにします。

グリッドのサイズ、場所、仮想表示、およびコンテンツは、[プレゼンテーションの設定]で制御されます。

F8 — 非レスポンスグリッドの表示



画面上にレスポンスグリッドを開きます。各参加者が質問に回答するたびに、そのレスポンスボックスがグリッドから削除されます。

グリッドのサイズ、場所、仮想表示、およびコンテンツは、[プレゼンテーションの設定]で制御されます。

F12 — 参加者モニタの表示



参加者モニタを表示します。

Shift + F5 – スライドの挿入



下矢印を選択してドロップダウンメニューを開き、プレゼンテーションに挿入するスライドの種類を選択できるようにします。アイコンを選択して、質問と回答の種類を尋ねるウィンドウを開きます。

ResponseWear を有効 / 無効にする



プレゼンターは ResponseWare 接続を有効 / 無効にすることができます。また、プレゼンターは ResponseWare Web のログイン情報を表示または非表示にすることもできます。

押して表示バーを移動可能にする



表示バーを画面上のどこにでも移動できるようにします。

アニメーション 2D/3D グラフの表示



2D/3D グラフを表示してプレゼンターにグラフの種類を選択できるようにします。

匿名投票



現在のスライドを匿名にします。参加者と結果とが関連付けられることはありません。

カウントダウン



カウントダウン タイマを表示します。

## 2 マウスをクリックして、スライドショーの進行を制御します。

各スライドのコントロールは、スライドの作成時に選択して挿入したオブジェクトによって、やや異なります。スライドのオブジェクトおよびそれらの動作については、58 ページの「[オブジェクトの追加](#)」を参照してください。

### a 投票を開きます。投票は、スライドを表示すると自動的に開きます。

投票が開くと、TurningPoint はレスポンスを受信します。

投票実行中

レスポンス: 20	ユーザーのフィードバック: 0	集計中: 未実行
--------------	-----------------	-------------

### b 2 度目にクリックすると、投票が終了し、結果が表示されます。

投票が終了すると、レスポンスは受信されません。

投票終了

レスポンス: 0	ユーザーのフィードバック: 0	集計中: 終了
-------------	-----------------	------------



- c もう一度クリックして、次のスライドに進みます。

**注記** スライドを進行するには、PowerPoint で使用できる方法を使用できます。マウスをクリックしたり、スペースバー、矢印キー、または Enter キーを押します。

- 3 最後のスライドをクリックして、スライド ショーを終了します (または、オプションで Esc キーを押します)。

プログラムを終了すると、セッション結果に名前を付けてファイルに保存するように求めるプロンプトが表示されます。既定の場所は [マイドキュメント] > [TurningPoint] > [セッション] です。デフォルトの名前を選択すると、ファイル名に日時が追加されます。特定の名前を選択すると、その名前のおりに保存されま

す。

TurningPoint では、すべてのセッションについてバックアップ コピーが自動的に作成され、[マイドキュメント] > [TurningPoint] > [セッション] > [バックアップ] に保存されます。

古いバックアップ セッションが自動的に削除されるように TurningPoint を設定するには、プレゼンテーション レベルの設定である [バックアップのメンテナンス] の設定を使用します。[バックアップのメンテナンス] フィールドに、ファイルを保持する日数を入力します。その時間よりも前に作成されたバックアップ セッションは自動的に削除されます。設定の変更の詳細については、65 ページの「レスポンス デバイスと設定の管理」を参照してください。

**ヒント** TurningPoint で示された [セッション] フォルダにセッション ファイルを保存して、TurningPoint でセッションを続行したり、レポートを生成したりするときに、そのセッション ファイルを再使用できるようにします。レポートについては、138 ページの「レポート」を参照してください。

## レスポンス グリッドの表示

この項ではレスポンス グリッドを使用して特定の結果を表示する方法について説明します。

レスポンス グリッドを表示するには ...

- 1 表示バーの [レスポンス グリッドの表示] ボタンをクリックします。

レスポンス グリッドは、プレゼンテーションの実行中にスライド上に重ねて表示されるグリッドで、レスポンスを入力した参加者が示されます。同様に、非レスポンス グリッドには、まだ応答していない参加者が示されます。これらのグリッドで、参加者は、自分のレスポンスが受信されたことを確認できます。

**レスポンス グリッド**

10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25		

レスポンス グリッドは、[レスポンス グリッドを表示 / 非表示にする] ボタンを使用すると、自由に表示または非表示にすることができます。このボタンを選択すると、レスポンス グリッドは表示されません。

- 2 投票を終了したら、マウスをクリックして次のスライドに進みます。

別の投票をアクティブ化しない限り、表示バーでの投票のステータスの表示は無効です。表示バーの拡張を表示しない場合は、[表示バーの展開] の設定を False に変更します。[表示バーの拡張] はプレゼンテーション レベルの設定です。設定の変更の詳細については、65 ページの「[レスポンス デバイスと設定の管理](#)」を参照してください。

## プレゼンテーション セッション中のスライドの追加

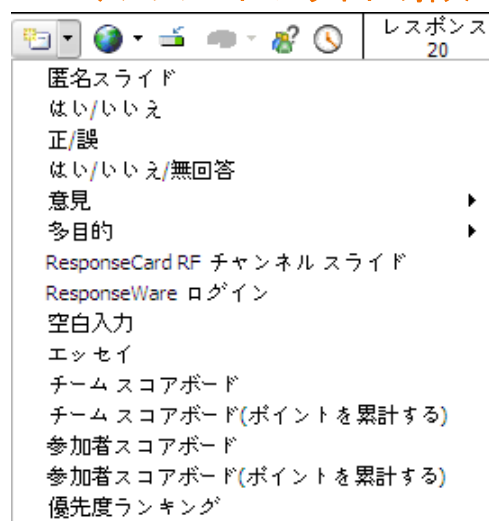
TurningPoint では、プレゼンテーションの実行中に、テンプレートやカスタム スライドを柔軟に追加することができます。新しいスライドの挿入は、表示バーから実行できるオプションです。

新しいスライドを追加するには ...

- 1 新しいスライドを挿入するには、次のいずれかの方法を使用します。
  - テンプレート スライド - 表示バーの、[オンザフライ スライドの挿入] ボタンの隣の矢印を選択して、スライドのタイプを選択します。スライドは、スライドをプレゼンテーションで表示した後に、自動的に挿入されます。

表示バーからドロップダウンメニューが開き、プレゼンテーションに挿入するスライドの種類を選択できます。

### テンプレート スライドの挿入



スライドは自動的に挿入されます。

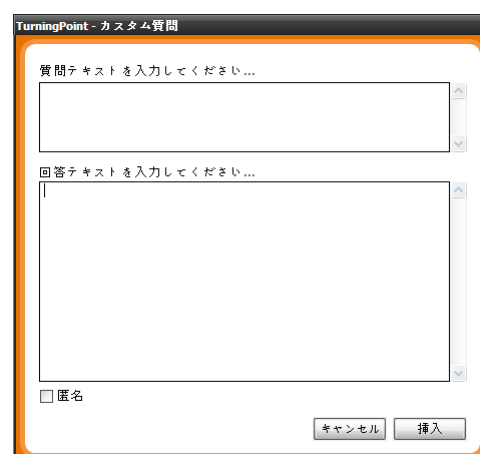
- カスタム スライド - 表示バーの [スライドの動的挿入] アイコンを選択します。

### カスタム スライドの挿入



[カスタムの質問] ウィンドウが開き、インタラクティブなスライドで使用する質問および回答の選択肢を入力するためのフィールドが表示されます。

### スライドの挿入：カスタムの質問



- 2 ウィンドウの上部の領域に質問を入力します。下部の領域に回答の選択肢を入力し、各回答を改行で区切ります。

### スライドの挿入：カスタムの質問

TurningPoint - カスタム質問

質問テキストを入力してください...

回答テキストを入力してください...

匿名

キャンセル 挿入

**注記** 新しく追加したスライドと共にプレゼンテーションを再使用する場合は、ファイルを保存します。PowerPoint のメニューから [ファイル] > [名前を付けて保存] を選択します。この操作を忘れても、閉じる前に TurningPoint によって尋ねられます。

- 3 [挿入] をクリックします。

## データ分割の使用（質問ごとの結果の表示）

TurningPoint では、レスポンス データを受信した後、ある質問のレスポンスと別のレスポンスのセットを相互参照することができます。この機能はデータのスライス処理と呼ばれ、デモグラフィック情報の分析に特に便利です。たとえば、出席者の特定の年齢層が特定の種類の音楽を好んでいるかどうかを調査することができます。参加者に対して、1つの質問で各自の年齢層を識別するように求め、次に好きな種類の音楽を選択するように求めます。こうすると、データのスライス処理を使用して、参加者の中に、R&B ミュージックを好む若者がどのくらいいるか、あるいはビッグバンド音楽を好む年配者がどのくらいいるかなどを調べることができます。

### 始める前に

デモグラフィック情報を計測するには、出席者に対して自分がどのデモグラフィック カテゴリ（年齢層、性別など）に該当するかを尋ねる質問スライドを、プレゼンテーションの前半に挿入します。

**注記** デモグラフィック情報をレポートで使用するには、スライド レベルの TurningPoint の設定で、デモグラフィックの質問が含まれているスライドを識別します。[デモグラフィック] の設定を True に設定します。詳細については、65 ページの「レスポンス デバイスと設定の管理」および 138 ページの「レポート」を参照してください。

データのスライス処理を使用するには ...

1 プレゼンテーションを実行します PowerPoint リボンから [スライド ショー] タブを選択します。[スライド ショーの開始] セクションで [最初から] を選択します。

2 矢印キーを使用して、スライス処理するデータが含まれている、最初の質問スライドに進みます。

たとえば、出席者の中で、どの年齢層が特定の種類の音楽を好むのかを調べるには、参加者に好きな種類の音楽を選択してもらう質問スライドに移動します。

3 表示バーから [データのスライス処理] ボタンを選択します。

[データのスライス処理] ウィンドウが開き、インタラクティブなスライドからのすべての質問とその回答が一覧表示されます。

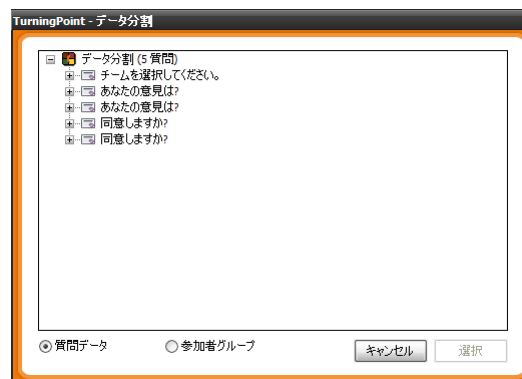
### データのスライス処理



4 最初の質問スライドで、データを参照したい回答を含む質問を拡張し、回答を選択します。

たとえば、どのくらいの若い成人が各種の音楽を好むのかを調べるには、[18-35]の年齢層を選択します。

### データのスライス処理



#### 5 [選択]をクリックします。

データが再び表形式になり、新しい分布が表示されます。出席者全員の結果が表示される代わりに、選択した回答を送信した参加者のみの分布が表示されます。

データ スライスを表示した後、回答に対応するキーボードの数字キーを押すと、その回答に関連付けられているスライスが表示されます。また、G キーを押すと、応答したグループを切り替えることができます。

#### 6 グラフを元のデータに戻すには、F6 キーを押します。

# 7 レポート

レポート機能を使用すると、TurningPoint、TurningPoint Anywhere、または TestingPoint セッションの実行中に受信したレスポンスに基づいて、幅広いレポートを生成し、表示することができます。レポートは印刷可能な Word または Excel ファイルとして生成され、質問と回答、参加者、およびプレゼンテーションで収集されたレスポンスに関する情報が含まれます。レポート作成では、レポートの階層的なメニューがカテゴリごとに分類されて表示されます（質問別の結果レポートやデモグラフィック レポートなど）。これらのカテゴリのいずれかをダブルクリックすると、[レポート作成] 画面に特定のレポート タイトルのサブ見出しが表示され、選択した各レポートのサンプルも表示されます。

## レポートの表示

レポートを作成するには、Turning Point TurningPoint リボンの [ツール] メニューにある [レポート作成] を使用します。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ レポートの表示

---

### レポートの表示

Turning レポートを使用して、レポートを生成します。

#### 始める前に

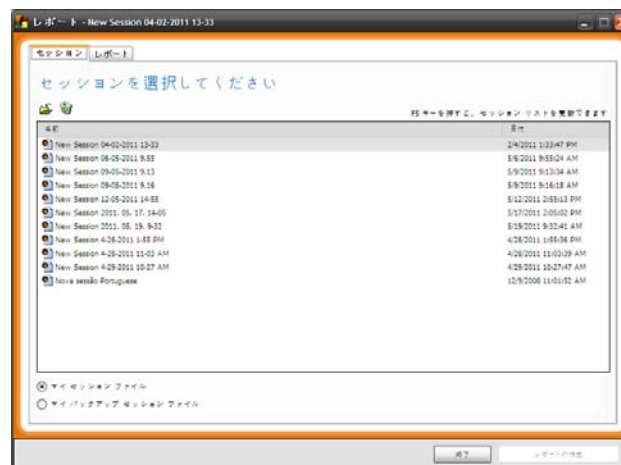
セッション ファイルを作成するには、プレゼンテーション セッションを実行し、ファイルを保存します。詳細については、[第6章「プレゼンテーションの実行」](#)を参照してください。

レポートを表示するには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[レポート] を選択します。

[レポート作成] ウィンドウが開き、[セッション] と [レポート] という 2 つのタブが表示されます。

### Turning レポート: セッションの選択



## 2 [セッション] タブを選択します。

[Turning レポート] ウィンドウに、[セッション] フォルダにあるセッション ファイルのリストが表示されます。

リストに表示するファイルを切り替えるには、[マイセッションファイル] または [マイバックアップセッションファイル] を選択します。セッション ファイルの保存場所の詳細については、153 ページの「[セッションからの結果の保存](#)」を参照してください。

## 3 セッション ファイルを選択します。

次のいずれかの方法でセッション ファイルを選択します。

- [現在のセッション] (赤いテキスト) を選択して、現在 PowerPoint で開いているセッションを使用します。

このオプションは、TurningPoint プレゼンテーションを開いていて、レスポンス データを収集してある場合にのみ使用できます。

- Sessions フォルダのファイルのリストからセッション ファイルを選択します。

Sessions フォルダ内のセッション ファイルをファイルのリストに表示するには、[マイセッションファイル] を選択します。

- バックアップセッションファイルからセッション ファイルを選択します。

バックアップセッション ファイルをファイルのリストに表示するには、[マイバックアップセッションファイル] を選択します。

- 別の場所からセッション ファイルをインポートします。

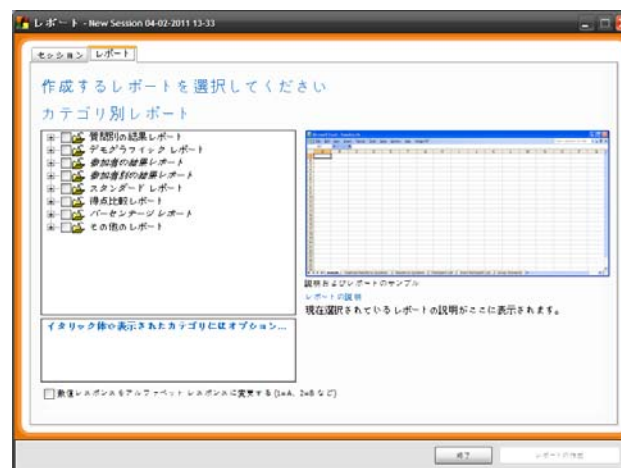
ファイル リストの上にある [セッションのインポート] ボタン (フォルダのアイコン) を使用して、セッションをインポートすることもできます。これにより、別の場所に保存した TurningPoint、TurningPoint Anywhere、および TestingPoint のセッション ファイルを使用することができます。

## 4 セッション ファイルを選択したら、[レポート] タブを選択します。



[Turning レポート] ウィンドウに、セッション ファイルから生成できるレポートのカテゴリがリスト表示されます。

### レポート：レポートの生成



レポートの各カテゴリは、名前順にリスト表示されます。カテゴリをダブルクリックするか、カテゴリの横にあるプラス記号をクリックすると、各カテゴリ内のレポートのリストが表示されます。レポート名の横にあるアイコンは、Excel ファイルと Word ファイルのどちらが生成されるのかを示します。

レポートを選択すると、[Turning レポート] ウィンドウの右側にレポートのサンプル プレビューが表示されます。

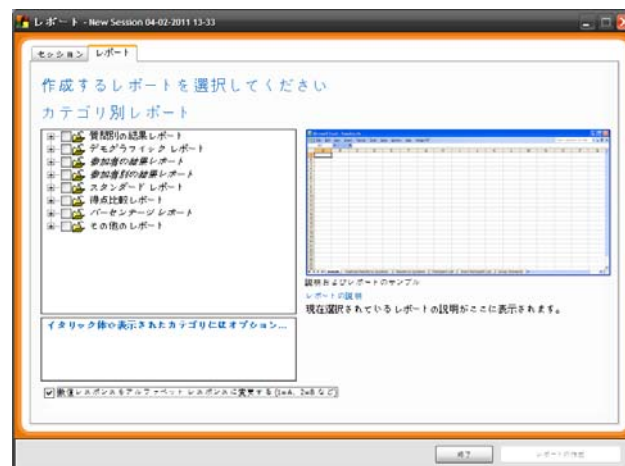
- 5 レポート名の横にあるチェック ボックスをオンにして、生成するレポートの種類を選択します。

詳細については、142 ページの「**レポートの種類**」を参照してください。

複数のチェック ボックスをオンにすると、複数のレポートを選択することができます。また、カテゴリのチェック ボックスをオンにすると、レポートのカテゴリ全体を選択することができます。

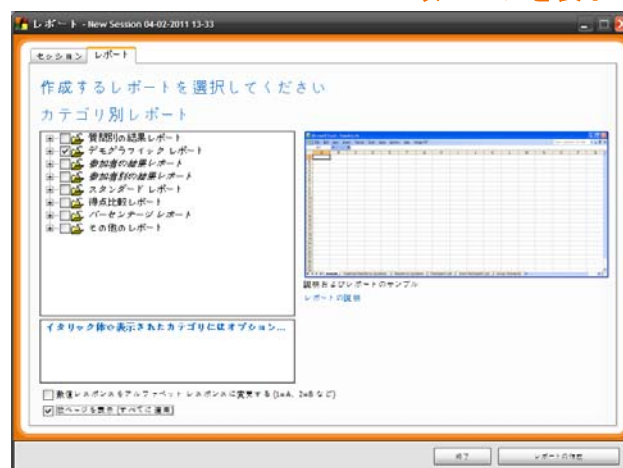
[レスポンス表示を数字からアルファベットに変更する] チェック ボックスをチェックすれば、数字のレスポンスをアルファベットのレスポンスに変更することができます。

### クリックして数字のレスポンスを変更...



選択したレポートの種類によっては、レポート プレビューの下に [改ページを表示] チェック ボックスが表示されます。

### 改ページを表示



- 6 [改ページを表示] チェック ボックスをオンにして (使用できる場合)、レポートに改ページを含めるかどうかを指定します。

チェック ボックスをオンにすると、印刷しやすいように、レポート内の適切な位置に TurningPoint によって改ページが作成されます。

- 7 [レポートの作成] をクリックします。

レポートが生成され、Microsoft Excel または Word のうち適切な方で開かれます。

これには時間がかかることがあります。多数のレポートを生成する場合、またはセッション内の質問または参加者の数が多い場合は特に時間がかかります。

**注記** 複数のレポートを生成した場合には、それぞれのレポートがワークシートになった 1 つの Excel ファイルが作成されます。

必要な数のレポートを生成できます。1 つのレポートの生成が終了したら、リストから別の種類のレポートを選択して [レポートの作成] ボタンをもう一度選択します。

- 8 レポートの作成が終了したら、[終了] ボタンを選択して [Turning レポート] ウィンドウを閉じます。

#### 次の手順

Excel または Word を使用してレポートを編集、保存、または印刷することができます。

# レポートの種類

この節では次の点について説明します。

- ・ **質問別結果レポート** (2 レポート)
- ・ **デモグラフィック レポート** (2 レポート)
- ・ **参加者の結果レポート** (4 レポート)
- ・ **参加者別結果レポート** (4 レポート)
- ・ **参加者リスト レポート** (2 レポート)
- ・ **得点比較レポート** (2 レポート)
- ・ **チーム得点レポート** (2 レポート)
- ・ **パーセンテージ レポート** (2 レポート)
- ・ **その他のレポート** (9 レポート)
  - ・ 参加率レポート
  - ・ 比較リンク レポート
  - ・ 差別 / 難易度インデックス レポート
  - ・ 現行評価レポート
  - ・ アウトライン レポート
  - ・ 参加者の質問 / コメント レポート
  - ・ レスポンス データのエクスポート レポート
  - ・ ランキング サマリ レポート
  - ・ グループ別の結果レポート
  - ・ 統計レポート

## 質問別結果レポート

質問別のグラフ結果レポートおよび質問別結果レポートには、レスポンスのサマリが質問ごとに表示されます。これらのレポートでは、Excel ワークシートが作成されます。

### 質問別のグラフ結果レポート

レポートには、質問ごとに以下の情報が含まれます。

- ・ 回答
- ・ 正しい回答の印
- ・ 各質問に対するレスポンスの数
- ・ 各質問に対するレスポンスのパーセンテージ
- ・ 質問ごとのレスポンスのパーセンテージを示す円グラフ

### 質問別結果レポート

レポートには、質問ごとに以下の情報が含まれます。

- ・ 回答
- ・ 正しい回答の印
- ・ 各質問に対するレスポンスの数
- ・ 各質問に対するレスポンスのパーセンテージ
- ・ 質問に回答した参加者の総数

## デモグラフィック レポート

デモグラフィック比較およびグラフィカルなデモグラフィック比較レポートには、レスポンスのサマリが質問ごとにデモグラフィックグループに分類して表示されます。これらのレポートでは、Excel ワークシートが作成されます。

### デモグラフィック比較レポート

デモグラフィック比較レポートには、質問ごとに以下の情報が含まれます。

- ・ 回答
- ・ 正しい回答の印
- ・ 各グループからの各質問に対するレスポンスのパーセンテージ

### グラフィカルなデモグラフィック比較レポート

グラフィカルなデモグラフィック比較レポートには、質問ごとに以下の情報が含まれます。

- ・ 回答
- ・ 正しい回答の印
- ・ 各グループからの各質問に対するレスポンスのパーセンテージ
- ・ 各グループからの各質問に対するレスポンスを示す縦棒グラフ

グラフィカルな比較レポートを生成する場合は、各質問の間に改ページを作成することができます。

## 参加者の結果レポート

参加者の結果、参加者の採点結果（正解 / 不正解）、および参加者の採点結果（得点の値）のレポートでは、各参加者のレスポンスが Excel ファイルで表示されます。これらのレポートを生成する場合は、質問全体を表示する、または質問のテキストを除外するオプションがあります。参加者のレスポンス時間を表示するオプションもあります。これらのレポートでは、Excel ワークシートが作成されます。

### 参加者の結果レポート

レポートには、参加者ごとに以下の情報が含まれます。

- ・ デバイス ID
- ・ 参加者リストで定義されているフィールド
- ・ 各質問に対する参加者のレスポンスの数値

### 参加者の採点結果（正解 / 不正解）レポート

レポートには、参加者ごとに以下の情報が含まれます。

- ・ デバイス ID
- ・ 参加者リストで定義されているフィールド
- ・ 各質問に対する参加者のレスポンスの数値
- ・ レスポンスの正誤を示す印
- ・ 正解の合計パーセント

### 参加者の採点結果（得点の値）レポート

レポートには、参加者ごとに以下の情報が含まれます。

- ・ デバイス ID
- ・ 参加者リストで定義されているフィールド
- ・ 各質問に対する参加者のレスポンスの数値
- ・ レスポンスの正誤を示す印
- ・ ポイントの合計数

### 参加者の採点結果（割合）レポート

レポートには、参加者ごとに以下の情報が含まれます。

- ・ デバイス ID
- ・ 参加者リストで定義されているフィールド
- ・ 各質問に対する参加者のレスポンスの数値
- ・ レスポンスの正誤を示す印
- ・ 質問ごとの、回答総数に対する正解数の割合

## 参加者別結果レポート

参加者別の結果、参加者別の結果（回答の詳細）、参加者別の結果（レスポンスの詳細）、参加者別の結果（得点の詳細）では、個別の参加者からの、質問ごとのレスポンスを、詳細に表示します。これらのレポートでは、Excel ワークシートが作成されます。

これらのレポートを生成する場合は、各参加者のセクションの間に改ページを作成することができます。参加者のレスポンス時間を表示するオプションもあります。

### 参加者別結果レポート

レポートには、質問ごとに参加者別の以下の情報が含まれます。

- ・ 質問
- ・ 参加者のレスポンスの数値
- ・ レスポンスの正誤を示す印
- ・ 正しい回答

### 参加者別結果（回答の詳細）レポート

回答の詳細レポートには、各質問に対する回答の完全なリストが含まれます。このリストを使用すると、参加者のレスポンスの数値（1、2 など）を実際の回答（はい、いいえなど）と照合することができます。正解は緑でハイライト表示されます。また、このレポートには、レスポンスが正しいか正しくないかが「c」または「i」のマークで表示されます。

### 参加者別結果（レスポンスの詳細）レポート

レスポンスの詳細レポートには、質問および参加者のレスポンスが含まれます。このレポートでは、正しい回答は緑、正しくない回答は赤で表示されます。不正解だった場合には、正解がカッコに入れて表示されます。そして、正解のパーセンテージと各参加者が累積した合計ポイントが計算されます。

### 参加者別結果（得点の詳細）レポート

得点の詳細レポートでは、正解のパーセンテージと各参加者が累積した合計ポイントが計算されます。

## 参加者リスト レポート

参加者リスト レポートでは、参加者リストからの参加者データが、Excel ワークシートまたは Word ドキュメントで表示されます。

**注記** 参加者リストの Word ドキュメント バージョンを、他のレポートとともに生成することにした場合には、Word ドキュメントは Excel ファイルのワークシートとして含められます。

### 参加者リスト (Excel) レポート

レポートには、デバイス ID および参加者リストで定義されている任意のフィールド（名前、連絡先情報、デモグラフィック グループまたはチームなど）が表示されます。

### 参加者リスト (Word) レポート

レポートには、デバイス ID および参加者リストで定義されている任意のフィールド（名前、連絡先情報、デモグラフィック グループまたはチームなど）が表示されます。



## 得点比較レポート

個人得点レポートおよび得点分布レポートには、参加者のレスポンスを他の参加者と比較した結果に基づく、得点情報のサマリが含まれます。これらのレポートでは、Excel ワークシートが作成されます。

### 個人得点レポート

個人得点レポートには、参加者ごとに以下の情報が含まれます。

- ・ 正解または不正解のラベルが付けられた数値のレスポンス
- ・ 質問の全体の正解率
- ・ 参加者のパーセンテージ得点
- ・ 参加者の得点がクラスの平均より上か下か

### 得点分布レポート

得点分布レポートには以下の情報が含まれます。

- ・ 参加者の総数
- ・ 評価のための得点比（質問に対する正解の数）
- ・ 得点率ごとに、それを達成した参加者の数
- ・ 回答値（正解、不正解、ポイント、値なし、キーワード）
- ・ 受け入れられる回答の選択肢
- ・ 受け取った回答ごとのレスポンス数

## チーム得点レポート

チーム得点(パーセンテージ)レポートおよびチーム得点(ポイント)レポートには、チーム全体の結果、各質問の正解、各質問の回答ごとのレスポンス数、各質問の結果が表示されます。正解は緑でハイライト表示されます。これらのレポートを生成するときには、レスポンスの詳細を除外するオプションがあります。これらのレポートでは、Excel ワークシートが作成されます。

### チーム得点(パーセンテージ)レポート

チーム得点(パーセンテージ)レポートには以下の付加的な情報が含まれます。

- ・ 回答
- ・ チームごとの、正解した質問の全体のパーセンテージ
- ・ それぞれの質問に正解したチーム メンバーのパーセンテージ

### チーム得点(ポイント)レポート

チーム得点(ポイント)レポートには以下の付加的な情報が含まれます。

- ・ 回答
- ・ チームごとに蓄積した合計ポイント
- ・ 質問ごとに各チームが受け取ったポイント

## パーセンテージ レポート

パーセンテージ（正解 / 不正解のパーセンテージ）レポートおよびパーセンテージ（ポイント）レポートには、参加者のレスポンスがどうであったかが表示されます。レポートには、パーセンテージごとにグループ分けされた各参加者のデバイス ID、姓名、パーセンテージでのランキングが含まれます。表示されるパーセンテージでのグループ分けは、適切なボックスに、新しいパーセンテージ値をセミコロンで区切って入力すれば、変更することができます。これらのレポートでは、Excel ワークシートが作成されます。

### パーセンテージ（正解 / 不正解のパーセンテージ）レポート

パーセンテージ（正解 / 不正解のパーセンテージ）レポートには以下の付加的な情報が含まれます。

- ・ 参加者ごとの、正解した質問の全体のパーセンテージ

### パーセンテージ（ポイント）レポート

パーセンテージ（ポイント）レポートには以下の付加的な情報が含まれます。

- ・ 参加者ごとに蓄積した合計ポイント

## その他のレポート

TurningPoint が提供する [ その他のレポート ] オプションには、以下の 9 つのレポートが含まれます。参加率、比較リンク、参加者の質問 / コメント、現行評価、アウトライン、レスポンス データのエクスポート、ランキング サマリ、および統計のレポートです。アウトライン レポートを除き、これらのレポートでは、それぞれ Excel ワークシートが作成されます。アウトライン レポートは Word ドキュメントを作成します。

### 参加率レポート

参加率レポートでは、基本的な参加者情報 (名前、デバイス ID など) が表示され、その日にプレゼンテーションに出席した参加者が表示されます。

### 比較リンク レポート

比較リンク レポートでは、TurningPoint の対応する比較リンク スライドに合わせてスライドごとの比較を表示します。

### 差別 / 難易度 インデックス レポート

差別 / 難易度 インデックスを質問ごとに表示します。インデックスは、参加者の上位半分と下位半分の正解率を、最上位および最下位グループの総レスポンス数で割って算出されます。

難易度 インデックスを求める式は、次のようになります。

- ・ **D** = 難易度 インデックス
- ・ **NH** = 最上位 27% (セッション中に正解が最も多かった参加者)\* の正解数
- ・ **NL** = 最下位 27% (セッション中に正解が最も少なかった参加者)\* の正解数
- ・ **T** = 最上位グループと最下位グループの総レスポンス数
- ・ **D = (NH + NL) / T**

差別 インデックスを求める式は、次のようになります。

- ・ **D** = 差別 インデックス
- ・ **NH** = 最上位 27% (セッション中に正解が最も多かった参加者)\* の正解数
- ・ **NL** = 最下位 27% (セッション中に正解が最も少なかった参加者)\* の正解数
- ・ **T** = 最上位グループと最下位グループの総レスポンス数
- ・ **D = (NH - NL) / .5(T)**

\* 最上位、最下位の参加者を決定する際に同得点があった場合には、参加者をレスポンス デバイスのデバイス ID に基づいてソートします。

### 現行評価レポート

現行評価レポートには、現行評価の結果を示すグラフが含まれます。

### アウトライン レポート

アウトライン レポートには、スライドの質問および回答のアウトラインが表示されます。アウトラインにはすべての回答値が表示されます。

### 参加者の質問 / コメント レポート

参加者の質問 / コメント レポートでは、プレゼンテーションの実行中に参加者から送信された質問またはコメントが表示されます。レポートには以下の付加的な情報が含まれます。

- ・ プレゼンテーションの開始と終了の時刻
- ・ スライドで投票を行った時刻
- ・ プレゼンターが情報を ResponseWare ユーザーに送信した時刻
- ・ 参加者が質問やコメントを送信した時刻、または質問やコメントがあることを伝えた時刻

### レスポンス データのエクスポート レポート

レスポンス データのエクスポート レポートには、未処理のレスポンス データが含まれます。値のテーブルが作成され、各デバイス番号に対するレスポンスの数値が示されます。

### ランキング サマリ レポート

ランキング サマリ レポートには、ランキング スライドのサマリが表示されます。

ランキング サマリ レポートには以下の情報が含まれます。

- ・ ランキング条件のリスト
- ・ ランキングされた項目および各条件に割り当てられたランキングのリスト
- ・ ランキングを示すグラフ

### グループ別結果レポート

グループ別結果レポートでは、正しいレスポンスのサマリが質問ごとにグループ別に表示されます。

レポートには、質問ごとに以下の情報が含まれます。

- ・ 回答
- ・ 正しい回答の印
- ・ 各デモグラフィック グループからの正しいレスポンスのパーセンテージ

### 統計レポート

統計レポートには、回答者ごとの正解の全体的なパーセンテージと、平均および中央値が示されます。

# 8 セッション

TurningPoint プレゼンテーションを実行すると、セッション ファイルが作成され、一時的に保存されます。ただし、セッションをファイルに保存して、後からアクセスすることもできます。セッションを保存すると、既定の TurningPoint 設定に、TurningPoint ファイルと共に PowerPoint プレゼンテーションが自動的に含まれます。PowerPoint プレゼンテーションは TurningPoint のセッション ファイルから除外することができます。この機能を使用すると、プレゼンテーション スライドは保存せずに、TurningPoint の結果データのみを保存することができます。TurningPoint のセッション ファイルに PowerPoint プレゼンテーションを含めない場合は、[設定] メニューに移動し、[その他] 設定で [プレゼンテーションを含む] を True から False に変更します。

## セッションの管理と編集

TurningPoint では、セッションを停止して保存し、停止した箇所を後で選択することができます。また、TurningPoint の設定を使用して、セッションのバックアップ ファイルを作成できます。セッションを保存および再開する方法を理解しておくと、プレゼンテーション実行中の柔軟性が増します。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ *セッションからの結果の保存*
- ・ *デフォルトの保存先の変更*
- ・ *前回保存したセッションの続行*
- ・ *セッション データの編集*
- ・ *セッションからの結果の削除*

---

### セッションからの結果の保存

TurningPoint ではセッションをすばやく保存して、後から結果を取得したり、セッションを再開したりすることができます。

セッションを保存するには ...

- 1 スライド ショー ビューで画面を右クリックします。[スライド ショーの終了] を選択します。

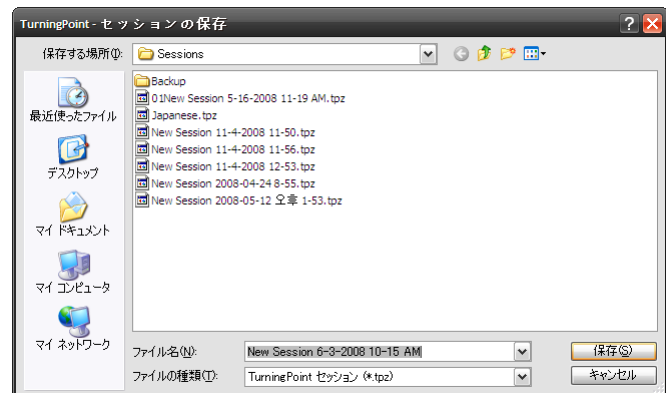
プレゼンテーションが終了します。

- 2 Turning Point リボンの [セッションの保存] をクリックします。



[セッションの保存] ダイアログが表示され、ファイル名、ファイルの種類、ファイルの保存場所が表示されます。デフォルトの場所はマイドキュメント ¥TurningPoint¥ Participants です。デフォルトの名前を選択すると、ファイル名に日時が追加されます。名前を変更すると、その名前で作成されます。

### [セッションの保存] ダイアログ



デフォルトの場所を変更する場合には、セッションを保存するファイル フォルダを選択して、セッションファイルに名前を付けます。デフォルトの場所を永続的に変更する方法については、155 ページの「**デフォルトの保存先の変更**」を参照してください。

- 3 [保存] をクリックします。

指定した場所にファイルが保存されます。

**注記** TurningPoint では、セッションの自動バックアップ ファイルを保存することができます。リアルタイム バックアップを有効にするには、[設定]メニューに移動し、[設定]タブを選択して、設定階層から[プレゼンテーション]を選択し、[すべての設定]を選択します。次に、[バックアップの設定]で[リアルタイム バックアップのパス]を選択し、バックアップ ファイルの保存場所を指定します。場所を指定すると、その場所が[設定]メニューの[リアルタイム バックアップのパス]の横に表示されます。デフォルトのリアルタイム バックアップのパスを変更する方法については、[第3章「レスポンス デバイスと設定の管理」](#)を参照してください。

## デフォルトの保存先の変更

TurningPoint フォルダのデフォルトの保存場所を変更すると、セッション ファイル、参加者リスト、およびスタンダードの保存場所が変更されます。

### 始める前に

TurningPoint ドキュメントの保存場所として、コンピュータ上の信頼できる場所を指定します。

デフォルトの保存先を変更するには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[設定] を選択します。

[設定] ウィンドウが開きます。

### [設定] ウィンドウ

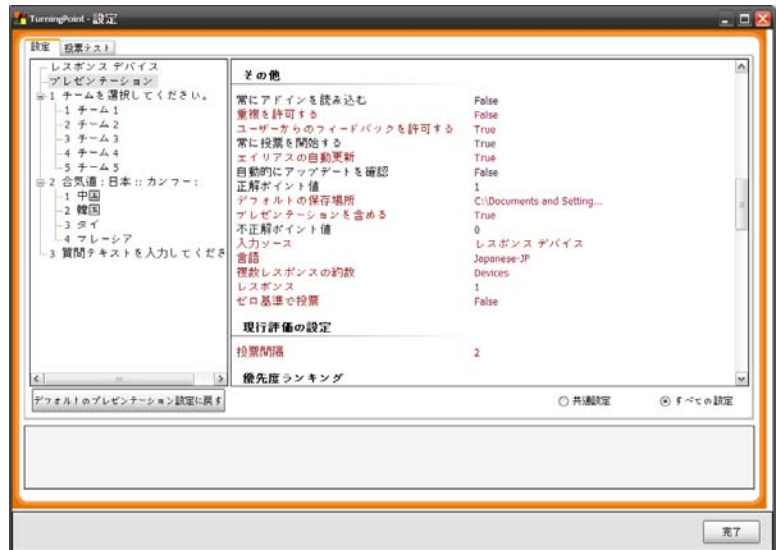




- 2 [設定] ウィンドウから [設定] タブを選択します。
- 3 設定階層から [プレゼンテーション] を選択します。
- 4 [設定] ウィンドウの下部の [すべての設定] を選択します。

[その他] 設定を見つけます。

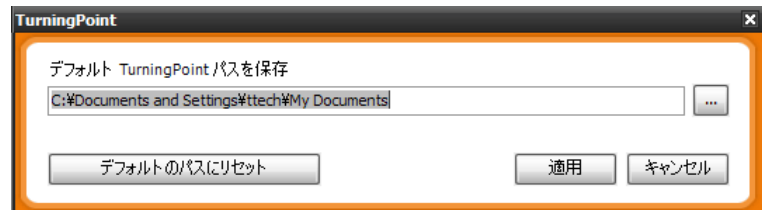
### [設定] ウィンドウ：[その他] 設定



- 5 [その他] 設定で、[デフォルトの保存先] を見つけてファイル パスをクリックします。

[デフォルトの保存先] ウィンドウが開きます。

### [デフォルトの保存先] ウィンドウ



手動で場所を入力することができます。またはファイル パスの右側のボックス（点線の描かれたボックス）をクリックして、ダイアログ ボックスを表示することができます。ダイアログ ボックスでは、既存のフォルダの場所を参照すること、または新しいフォルダの場所を作成することができます。

- 6 新しいデフォルトの場所を選択します。

**注記** [デフォルトの保存先] ウィンドウで [デフォルトのパスにリセット] を選択すれば、保存場所をデフォルトの設定に復元することができます。

- 7 [終了] をクリックします。  
フォルダの場所は変更されます。

## 前回保存したセッションの続行

TurningPoint では、保存したセッション ファイルを使用して、プレゼンテーションを再開することができます。新しいセッション情報は開いたセッションファイルに追加されます。これにより、プレゼンテーションの投票結果は 1 つのファイルに保存されます。

### 始める前に

セッション ファイルが外部ストレージ デバイスに保存されている場合は、デバイスをコンピュータに挿入します。

開くセッションを検索します。プレゼンテーションを実行しているコンピュータでは、保存済みのセッションの既定の場所は マイドキュメント ¥TurningPoint¥Sessions です。

**注記** 前回のセッションを手動で保存しなかった場合は、TurningPoint によって自動的にバックアップ コピーが作成され、マイドキュメント ¥TurningPoint¥Sessions¥Backup に保存されています。

前回保存したセッションを続行するには ...

- 1 Turning Point リボンの [ 前回のセッションを続行 ] をクリックします。

### 前回のセッションを続行



[ 前回のセッションの続行 ] ウィンドウが表示され、ファイル名、ファイルの種類、ファイルの保存場所が表示されます。デフォルトの場所は マイドキュメント ¥TurningPoint¥Sessions です。

- 2 開くファイルを指定し、[ 開く ] をクリックします。

前回保存したファイルが開かれます。

### 次の手順

プレゼンテーションを再開するスライドに移動します。セッションの実行を続行します。

## セッション データの編集

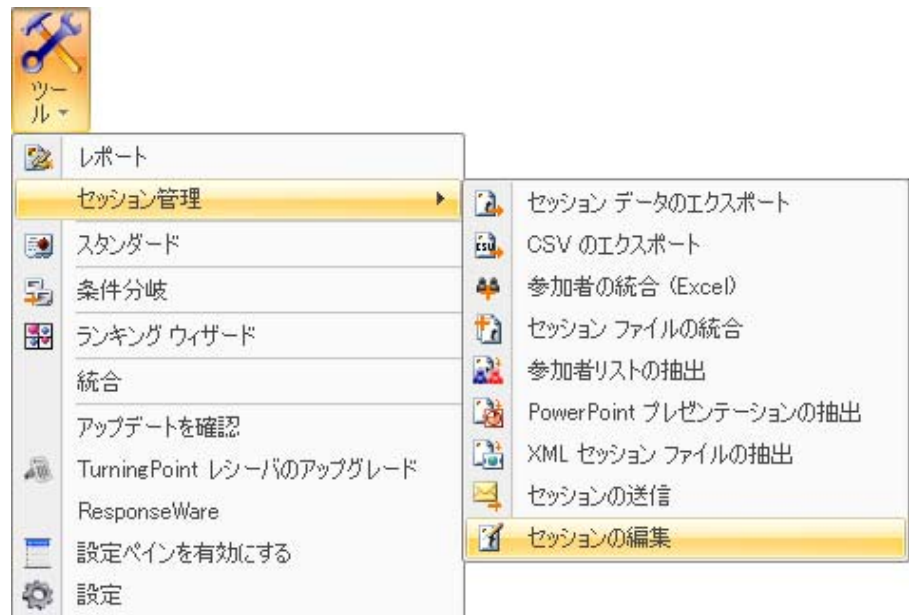
セッションを保存した後で、TurningPoint、TurningPoint Anywhere、または TestingPoint のセッション データを編集することができます。質問を除外したり、質問をデモグラフィックとしてマークしたり、回答の値を変更したりするよう選択できます。

セッション データを編集するには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ ツール ] をクリックし、[ セッション管理 ] にマウスを合わせます。

[ツール] メニューが開きます。

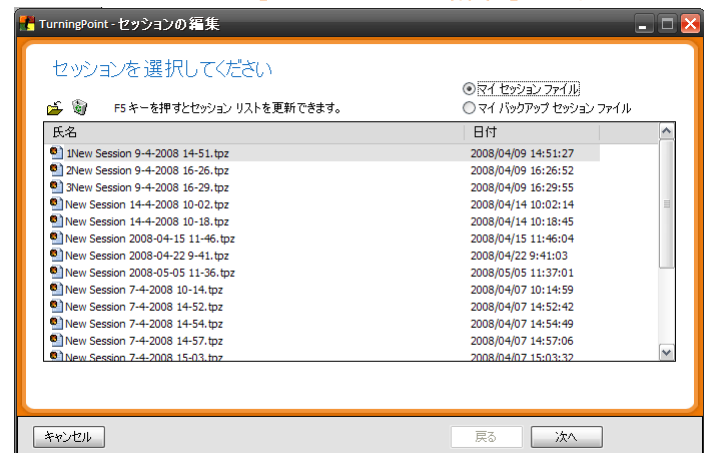
### [セッション管理] の選択：[セッションの編集]



### 2 [セッションの編集] を選択します。

[セッションの編集] ウィンドウが開き、[セッション] フォルダにあるセッション ファイルのリストが表示されます。

### [セッションの編集] ウィンドウ



リストに表示するファイルを切り替えるには、[マイ セッション ファイル] または [マイ バックアップ セッション ファイル] を選択します。セッション ファイルの保存場所の詳細については、153 ページの「**セッションからの結果の保存**」を参照してください。

### 3 セッション ファイルを選択します。

次のいずれかの方法でセッション ファイルを選択します。

- [現在のセッション] (赤いテキスト) を選択して、現在 PowerPoint で開いているセッションを使用します。

このオプションは、TurningPoint プレゼンテーションを開いていて、レスポンス データを収集してある場合にのみ使用できます。

- Sessions フォルダのファイルのリストからセッション ファイルを選択します。

Sessions フォルダ内のセッション ファイルをファイルのリストに表示するには、[マイセッション ファイル]を選択します。

- バックアップ セッション ファイルからセッション ファイルを選択します。

バックアップ セッション ファイルをファイルのリストに表示するには、[マイ バックアップ セッション ファイル]を選択します。

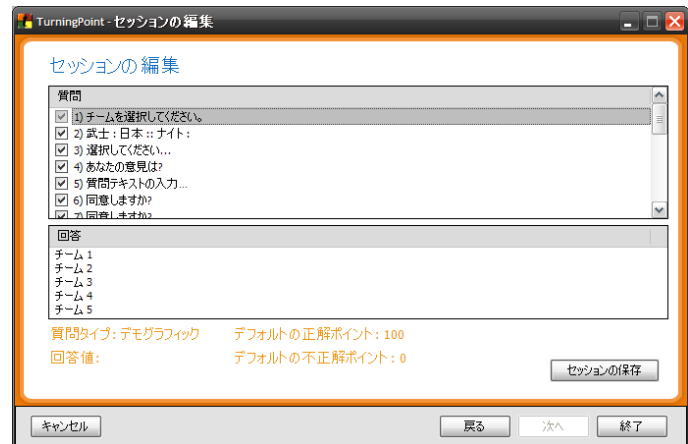
- 別の場所からセッション ファイルをインポートします。

ファイル リストの上にある [セッションのインポート] ボタン (フォルダのアイコン) を使用して、セッションをインポートすることもできます。こうすると、別のところからコピーした TurningPoint、TurningPoint Anywhere、または TestingPoint のセッション ファイルを使用できます。

#### 4 続行するには [次へ] をクリックします。

[セッションの編集] ウィンドウに、セッション ファイルを編集するためのオプションが表示されます。

#### [セッションの編集] ウィンドウ：セッションの編集



ウィンドウに、セッション内のすべての質問が一覧表示されます。質問のリストの下には回答のリストがあり、上のリストで選択した質問に対する回答が表示されます。

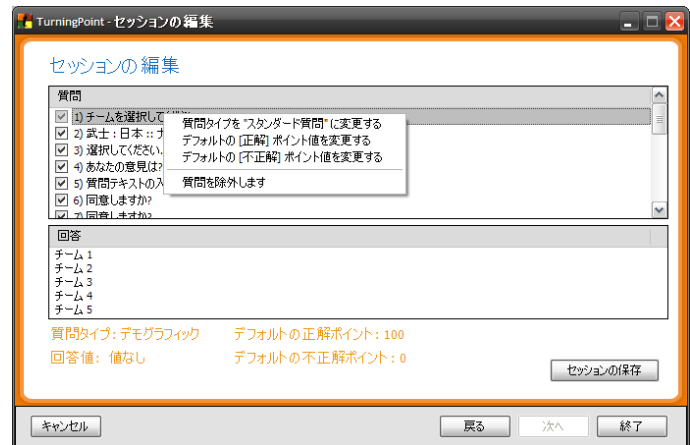
#### 5 質問のリストで、セッションから除外する質問のチェック ボックスをオフにします。

質問を除外すると、その質問に関するすべてのデータがセッション ファイルから削除されます。

#### 6 質問の種類または値を変更する場合は、質問を右クリックし、表示された状況依存のメニューから、希望するオプションを選択します。

質問をデモグラフィックとして指定すること、または、デフォルトの正解と不正解のポイント値を変更することができます。

### [セッションの編集] ウィンドウ：質問の値の変更

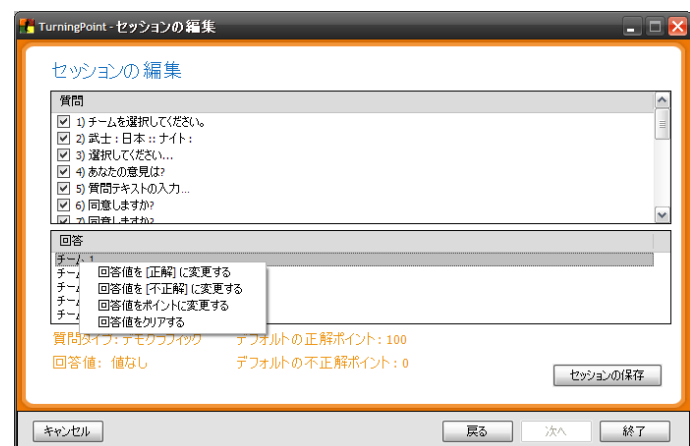


デモグラフィックの質問はレポートで使用できます。詳細については、138 ページの「レポート」を参照してください。

- 7 回答の値を変更する場合は、回答のリストで回答を右クリックし、表示された状況依存のメニューからオプションを選択します。

回答を [正解] または [不正解] とマークしたり、ポイント値を割り当てたり、回答の値をクリアする ([値なし] に設定する) ことができます。

### [セッションの編集] ウィンドウ：回答の値の変更



- 8 セッション データを変更し終わったら、回答のリストの下にある [セッションの保存] をクリックします。

編集しているセッション ファイルの現在の場所と名前を示しているダイアログが開きます。場所やファイル名は同じままにすることもできますし、新しい名前や場所を指定することもできます。

- 9 名前や場所を指定します。または、編集しているファイルの現在の名前と場所をそのままにします。

**注記** セッション ファイルにはファイル拡張子 .tpz を使用する必要があります。

- 10 [保存] をクリックします。

ファイルが保存され、ダイアログ ボックスが閉じます。

- 11 [終了] をクリックして [セッションの編集] ウィンドウを終了します。

---

## セッションからの結果の削除

同じプレゼンテーションを使用して、レスポンスの新しいセットを作成することができます。Turning Point リボンの [リセット] メニューを使用すると、セッションをやり直したり、新しいセッションを実行するために、結果を削除したりすることができます。スライドの結果は引き続きセッションのデータに保存されますが、スライドはクリアされるので、新しいプレゼンテーションで使用することができます。セッション内の単一の質問スライドのみをやり直すこともできます。

**注記** [リセット] 機能は元に戻すことができないので、スライドから本当に結果を削除するかどうか確認してください。

### 始める前に

後で結果を表示する場合は、以下の手順を実行する前に、セッションを保存してください。

### スライドからセッションの結果を削除するには ...

- 1 プレゼンテーションを開きます。単一の質問の結果のみを削除するには、この質問が含まれているスライドを表示しておく必要があります。
- 2 TurningPoint リボンの [リセット] をクリックします。

[リセット] メニューが開き、セッション全体、すべてのスライド、または現在のスライドをリセットするオプションが表示されます。

**注記** スライドから本当に結果を削除するかどうか確認してください。[セッション]、[すべてのスライド] または [現在のスライド] オプションでは、[リセット] 機能の実行結果を元に戻すことはできません。

- 3 結果を削除する準備ができたなら、[セッション]、[すべてのスライド]または[現在のスライド]を選択します。
- [セッション]を選択すると、すべてのスライドの値を0にして、プレゼンテーションのすべてのスライドをリセットし、すべてのレスポンスおよび参加者データを削除して、一時セッションファイルからすべての結果データをクリアします。
  - [すべてのスライド]を選択すると、プレゼンテーションのすべてのスライドの値を0にしてリセットします。
  - [現在のスライド]を選択すると、現在表示しているスライドのみの値を0にしてリセットします。

# 9 エクスポート

セッションが完了したら、TurningPoint のセッション ファイル (拡張子は .tpz) にデータを保存します。セッションを保存する方法の詳細については、153 ページの「[セッションからの結果の保存](#)」を参照してください。

セッション ファイルには、プレゼンテーションに関するすべての情報 (質問と回答、レスポンス データ、および参加者リストを含む) が含まれます。この情報はレポートの生成に使用されます (詳細については、138 ページの「[レポート](#)」を参照してください)。

セッション ファイルを他のセッションファイルと、参加者リストを他の参加者リストと統合すれば、プレゼンテーションの結果を集計することができます。また、TurningPoint では、データをいくつかのフォーマットでエクスポートすることにより、TurningPoint、TurningPoint Anywhere、または TestingPoint セッションファイルの情報を共有し、抽出することができます。

この項では次の手順の実行方法について説明します。

- ・ [セッション データのエクスポート](#)
- ・ [セッションデータを CSV ファイルとしてエクスポートする](#)
- ・ [参加者リストの統合](#)
- ・ [セッション ファイルの統合](#)

---

## セッション データのエクスポート

TurningPoint、TurningPoint Anywhere、または TestingPoint のセッション ファイルのデータはエクスポートして、テキスト ファイルにすることができます。テキスト ファイルにしておけば、他のさまざまなアプリケーションにデータをインポートすることができます。

セッション ファイルからのデータのエクスポートを選択するには、次の 2 つの方法のいずれかを使用します。

- ・ 一部またはすべてのセッション データを、コンテンツおよび形式を指定してテキスト ファイルにエクスポートします。
- ・ 特定の評価ブック アプリケーション用にあらかじめ定義されているスキームを使用して、セッション データをエクスポートします。

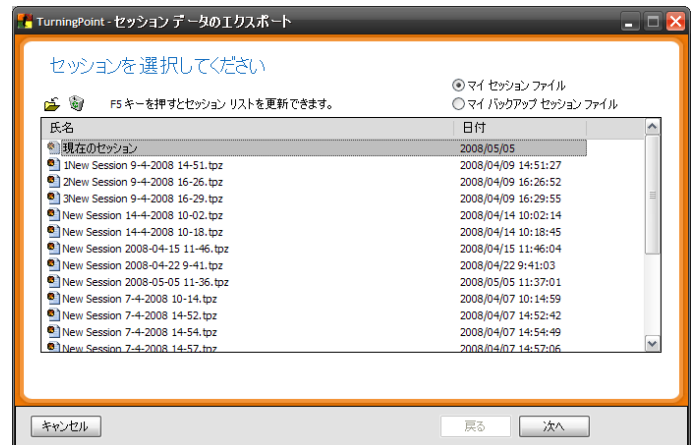
セッション データをテキスト ファイルにエクスポートするには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[セッション管理] にマウスを合わせます。
- 2 [セッション データのエクスポート] を選択します。



[セッション データのエクスポート] ウィンドウが開き、[セッション] フォルダにあるセッション ファイルのリストが表示されます。

### [セッション データのエクスポート] ウィンドウ



リストに表示するファイルを切り替えるには、[マイセッションファイル]または[マイバックアップセッションファイル]を選択します。セッションファイルの保存場所の詳細については、153 ページの「[セッションからの結果の保存](#)」を参照してください。

### 3 セッションファイルを選択します。

次のいずれかの方法でセッションファイルを選択します。

- [現在のセッション] (赤いテキスト) を選択して、現在 PowerPoint で開いているセッションを使用します。

このオプションは、TurningPoint プレゼンテーションを開いていて、レスポンス データを収集してある場合にのみ使用できます。

- Sessions フォルダのファイルのリストからセッションファイルを選択します。

Sessions フォルダ内のセッションファイルをファイルのリストに表示するには、[マイセッションファイル]を選択します。

- バックアップセッションファイルからセッションファイルを選択します。

バックアップセッションファイルをファイルのリストに表示するには、[マイバックアップセッションファイル]を選択します。

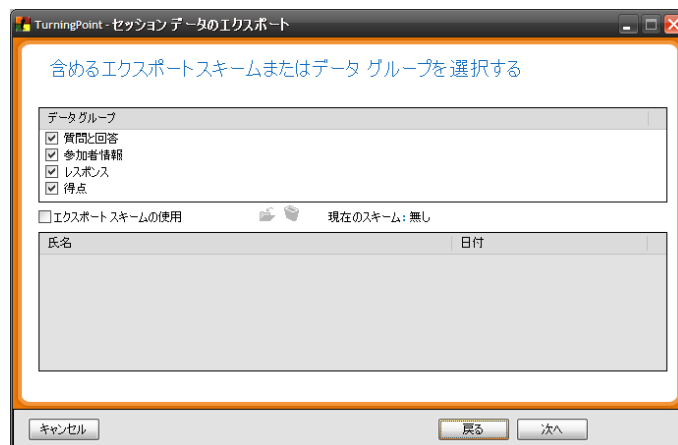
- 別の場所からセッションファイルをインポートします。

ファイルリストの上にある [セッションのインポート] ボタン (フォルダのアイコン) を使用して、セッションをインポートすることもできます。こうすると、別のところからコピーした TurningPoint、TurningPoint Anywhere、または TestingPoint のセッションファイルを使用できます。

### 4 [次へ] をクリックします。

[セッション データのエクスポート] ウィンドウに、セッション ファイルのエクスポートに使用できるデータおよび形式のリストが表示されます。

### セッション データのエクスポート：エクスポート スキームまたはデータ グループの選択



5 データをエクスポートするには、次の2つの方法のいずれかを選択します。

- [データ グループ] リストで一部またはすべてのチェック ボックスをオンにして、エクスポートされるテキスト ファイルのコンテンツおよび形式を手動で指定します。

以下のデータをエクスポートできます。

- 質問および回答のテキスト。
- 参加者リストで定義されている参加者情報（名前、グループなど）。
- 参加者の質問に対するレスポンス。
- 参加者スコア。
- [エクスポート スキームの使用] チェック ボックスをオンにして、[エクスポート スキーム] リストから、あらかじめ定義されている評価ブック アプリケーションのエクスポート スキームを選択します。

さまざまな評価ブック アプリケーションのエクスポート スキームを使用できます (Angel、Easy Grade Pro、Gradebook for Windows、Gradekeeper for Windows、MicroGrade、Moodle Participant List で使用する Moodle、Teacher's Marksheet など)。

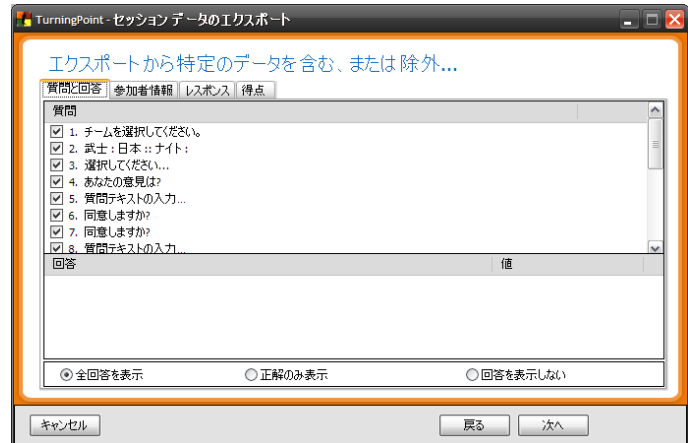
エクスポート スキームは、TurningPoint フォルダの [エクスポート スキーム] フォルダに .tpx ファイルとして保存されます。[エクスポート スキームのロード] ボタン (フォルダのアイコン) を選択すると、別の場所からコピーしたエクスポート スキームを使用することができます。

エクスポート スキームを使用すると、次の手順では、エクスポート先のアプリケーションに必要な形式に合わせて、使用できる設定が自動的に指定されます。ただし、一部の設定を変更して、評価スケールを指定したりすることもできます。

6 続行するには [次へ] をクリックします。

[セッションデータのエクスポート] ウィンドウに、使用するデータを指定するための、タブ付きのビューが表示されます。

### セッションデータのエクスポート: 特定のデータを含む、または除外



5つのタブがあり、各タブは、エクスポートファイルに含めるかどうかを指定したデータのメイングループに対応しています。追加するように選択した各領域で、該当するタブで設定を確認および変更します。次のいくつかの手順で、各タブに設定について説明します。

- 7** 質問および回答のデータを含めるように選択した場合は、[質問と回答] タブでチェックボックスをオンにして、追加する特定の質問を指定します。

既定では、すべての質問がオンになっており、追加されます。

- 8** [参加者情報] タブを選択します。

[セッションデータのエクスポート] ウィンドウに [参加者情報] タブが表示されます。

- 9** 参加者情報を含めるように選択した場合は、[参加者情報] タブでチェックボックスをオンにして、参加者リストに含めるフィールドを選択します。

参加者リストから情報を表示するには、F5 キーを押すか、ウィンドウ内を右クリックして [参加者リストデータの更新] を選択します。こうすると参加者リストが表示されるので、エクスポートデータに含めるフィールドを決めるのに役立ちます。

参加者リストで定義された情報は、どれでも含めることができます。

- 10** [レスポンス] タブを選択します。

[セッションデータのエクスポート] ウィンドウに [レスポンス] タブが表示されます。

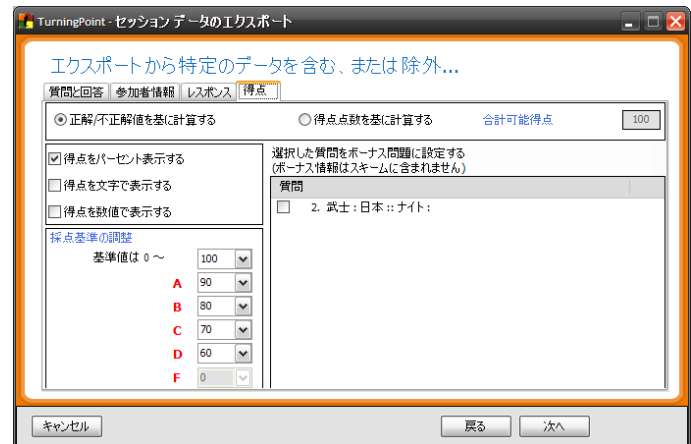
- 11** レスポンスを含めるように選択した場合は、[レスポンス] タブの [レスポンスを水平方向で表示する] または [レスポンスを垂直方向で表示する] を選択して、レスポンスを質問ごとにグループ化するか、参加者ごとにグループ化するかを選択します。

[レスポンスを水平方向で表示する] を選択すると、エクスポートファイルで、レスポンスデータが質問ごとにグループ化されます。[レスポンスを垂直方向で表示する] を選択すると、エクスポートファイルで、レスポンスデータが参加者ごとにグループ化されます。

- 12** [得点] タブを選択します。

[セッションデータのエクスポート] ウィンドウに [得点] タブが表示されます。

### 特定のデータを含む、または除外：[得点] タブ：



13 スコアを含めるように選択した場合は、以下の設定を指定します。

- 正しい / 正しくない値に基づいて、またはポイント値に基づいてスコアを計算するかどうかを選択します。

正解 / 不正解値に基づいて得点を計算する場合は、参加者の正しい回答の数を回答の合計数で割って、パーセンテージ得点が計算されます。ポイント値に基づいて得点を計算する場合は、参加者の正しい回答の数を、表示されたボックスで指定したポイント値で割って、パーセンテージ得点が計算されます。

- チェック ボックスをオンにして、スコアの表示方法（パーセンテージ、評価の文字、ポイント値、またはそれらの組み合わせ）を選択します。

エクスポート ファイルでスコアを表すのに、これらの方法の一部またはすべてを含めることができます。

- ドロップダウン メニューから評価の文字の範囲を選択して、評価スケールを指定します。

既定の範囲には、一般的な評価スケールが表示されます。新しい範囲を選択して、評価スケールを変更することができます。値を変更して大きくするには（より厳しいスケールでの評価）には、リストを A から下方に進んで範囲を指定します。値を変更して小さくするには（より簡単なスケールでの評価）、リストを D から上方に進んで指定します。

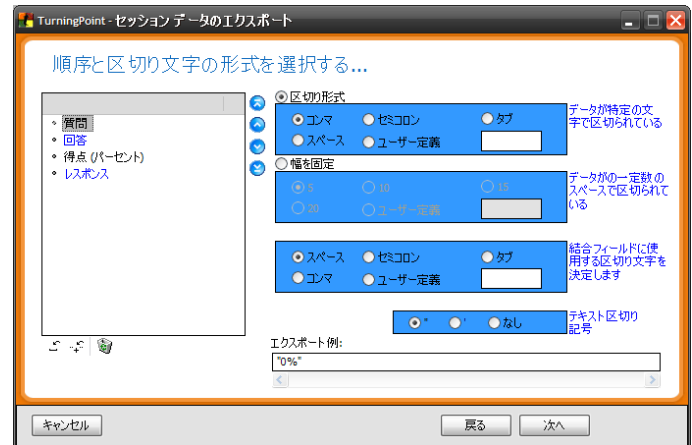
- チェック ボックスをオンにして、質問をボーナス問題（スコアの合計には含まれません）に指定します。

ボーナス問題として指定した質問は、スコアを計算するための質問の合計数には含まれませんが、参加者の正しいレスポンスの数には含まれます。

14 該当するタブで設定を変更し終わったら、[次へ] ボタンをクリックします。

[セッション データのエクスポート] ウィンドウに、エクスポート ファイルの形式を指定するための一連の設定が表示されます。

### セッション データのエクスポート：形式の選択



ウィンドウの下部にエントリの例があり、指定した設定に基づいてサンプルが表示されます。次のいくつかの手順で形式の設定を変更する場合は、意図したとおりの形式になっているかどうか、この例を確認してください。

- 15** エクスポート ファイルでのフィールドの順序を指定するには、[上へ移動] および [下へ移動] ボタンを選択して、リストのフィールドを上下に移動します。

2つのフィールドを1つにマージしたり、エクスポート ファイルに空白のフィールドを含めることもできます。フィールドのリストの下にある [空白フィールドを挿入] および [結合フィールドを挿入] ボタンを使用すると、空白フィールドを挿入したり、1つまたは複数のフィールドを結合したりすることができます。空白フィールドおよび結合フィールドは、他のフィールドと同様にリスト内を上下に移動することができます。

空白フィールドでは、フィールド間に空白の区切りが配置されます。エクスポート ファイルの使用法によっては、空白フィールドを使用して一部のデータを区切る必要があります。

結合フィールドでは、前のフィールドと次のフィールドが1つのフィールドに結合されます。たとえば、[姓] フィールドと [名] フィールドに使用します。

- 16** 区切り形式のファイルと固定幅のファイルのどちらを作成するか指定します。

区切り形式のファイルには、フィールド間に「区切り文字」が含まれます。カンマ、セミコロン、タブ、スペース、またはその他の区切り文字を選択できます。

固定幅のファイルでは、指定した幅（文字数）のフィールドが使用されます。フィールドの幅を選択することができます。

エクスポート ファイルの使用法に応じて、形式を選択します。

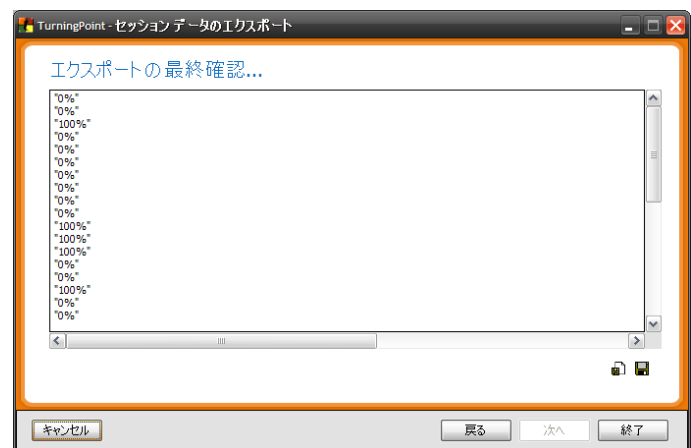
- 17 フィールド内のテキストを二重引用符または一重引用符で囲むか、引用符で囲まないかを指定します。

**注記** 固定幅のファイルをエクスポートする場合や、区切り形式のファイルで区切り文字にスペースを使用する場合は、テキストの修飾子として、二重引用符と一重引用符のいずれかを使用してください。引用符を使用しなければ、エクスポート ファイル内のフィールドの境界が正しく認識されません。

- 18 ファイルの形式の設定を変更し終わったら、[次へ] ボタンをクリックします。

[セッション データのエクスポート] ウィンドウに、エクスポートする形式でデータが表示されます。

### セッション データのエクスポート: 確認



データの下に2つのボタンがあります。1つ目は文書とディスクのアイコンで、エクスポート ファイルを保存するのに使用します(.txt)。2つ目はディスクのアイコンで、他のセッション ファイルで再使用できるエクスポート スキームとして形式を保存するのに使用します(.tpx)。

- 19 エクスポート データを保存するには、[保存] ボタン (文書とディスクのアイコン) をクリックします。

エクスポート ファイルの場所およびファイル名を指定するためのダイアログ ボックスが開きます。

- 20 エクスポート ファイルの名前および場所を指定します。

- 21 [保存] をクリックします。

ファイルが保存され、ダイアログ ボックスが閉じます。

オプションで、[エクスポート スキームを保存します] ボタン (ディスクのアイコン) をクリックして、他のセッション ファイルからのデータを同じ形式で保存するために再使用できるエクスポート スキームを作成することができます。同様に、エクスポート スキームの場所およびファイル名を指定します。

- 22 [終了] をクリックして [セッション データのエクスポート] ウィンドウを終了します。

保存するのを忘れたまま [終了] をクリックすると、「エクスポートを保存せずに終了してもよろしいですか?」というメッセージが表示されたウィンドウが開きます。セッション ファイルを保存せずに終了するには、[はい] をクリックします。保存してから終了するには、[いいえ] をクリックします。

## セッションデータを CSV ファイルとしてエクスポートする

TurningPoint、TurningPoint Anywhere、または TestingPoint のセッション ファイルのデータはエクスポートして、テキスト ファイルにすることができます。テキスト ファイルにしておけば、他のさまざまなアプリケーションにデータをインポートすることができます。

- 1 TurningPoint リボンの [ ツール ] をクリックし、[ セッション管理 ] にマウスを合わせます。
- 2 [ CSV をエクスポート ] を選択します。

[ セッションの選択 ] ウィンドウが開き、[ セッション ] フォルダにあるセッション ファイルのリストが表示されます。

セッション ファイルの保存場所の詳細については、153 ページの「[セッションからの結果の保存](#)」を参照してください。

- 3 CSV ファイルにエクスポートするセッションを選択します。
- 4 CSV データをエクスポートするための形式を選択します。
- 5 [ エクスポート ] をクリックします。
- 6 エクスポート ファイルの名前および場所を指定します。
- 7 [ 保存 ] をクリックします。

ファイルが保存され、ダイアログ ボックスが閉じます。データが正常にエクスポートされたとの確認メッセージが表示されます。

- 8 [ OK ] をクリックして確認ボックスを閉じます。

## 参加者リストの統合

参加者リストを統合すれば、複数のセッションでの複数の参加者リストの参加者の結果をまとめて、共通のフィールド（生徒 ID、デバイス ID など）に基づいたレポートを生成することができます。このレポートでは、セッションの合計得点が Excel ファイルの形式で表示されます。

参加者リストを統合するには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ ツール ] をクリックし、[ セッション管理 ] にマウスを合わせます。
- 2 [ 参加者統合 (Excel) ] を選択します。

[ 参加者統合 ] ウィンドウが開きます

最初の状態では、左パネルは空です。ここに、新しい列と統合するセッションが表示されます。右ペインの上には、[ 統合可能なフィールド ] ドロップダウン ボックスがあります。左ペインの下には [ 列の追加 ] テキスト ボックスとボタンがあります。右ペインには統合で使用できるすべてのセッションが表示されます。右ペインの上には、[ 正解率 ] および [ ポイント ] ラジオ ボタンがあります。

- 3 列を追加します。



セッションの統合時には、追加される列に正解率または得点が表示されます。

#### 4 セッションのリストから、統合するセッションを選択します。

セッションをハイライトし、左 (<) ボタンを使用して、セッションを列に追加します。列からセッションを削除するには、右 (>) ボタンを使用します。

セッション ファイルを選択する場合、複数の連続したセッションを選択するには Shift キーを押しながらクリックし、複数のセッションを選択するには Ctrl キーを押しながらクリックします。

**注記** または、セッションをダブルクリックしても、列に追加することができます。

- [現在のセッション] (赤いテキスト) を選択して、現在 PowerPoint で開いているセッションを使用します。

このオプションは、TurningPoint プレゼンテーションを開いていて、レスポンス データを収集してある場合にのみ使用できます。

- Sessions フォルダのファイルのリストからセッション ファイルを選択します。

Sessions フォルダ内のセッション ファイルをファイルのリストに表示するには、[マイセッション ファイル] を選択します。

- 別の場所からセッション ファイルをインポートします。

ファイル リストの上にある [セッションのインポート] ボタン (フォルダのアイコン) を使用して、セッションをインポートすることもできます。こうすると、別のところからコピーした TurningPoint、TurningPoint Anywhere、または TestingPoint のセッション ファイルを使用できます。

#### 5 または、ごみ箱の形をしたボタンを選択して、すべての列を削除することもできます。

**注記** または、セッションをダブルクリックして、列から削除することもできます。

#### 6 [統合可能なフィールド] ドロップダウン メニューから参加者リストを統合するフィールドを選択します。

セッションは、選択した値に基づいて統合されます。ドロップダウン メニューで選択できるのは、参加者リスト間で共通のフィールドだけです。

#### 7 レポートを [正解率] と [得点] のどちらで表示するかを選択します。

#### 8 [統合] をクリックします。

TurningPoint は、レポートを Excel ファイルとして生成します。



## セッション ファイルの統合

複数の TurningPoint、TurningPoint Anywhere、または TestingPoint セッション ファイルを1つに統合して単一のセッション ファイルを作成し、それを使用してレポートの生成およびデータの抽出を行うことができます。

これは、同じ参加者に対して行った複数のプレゼンテーションからのセッション ファイルがある場合に特に便利です。すべてのプレゼンテーションからのデータを、各参加者からのすべてのレスポンスが含まれた1つのファイルに集約することができます。

逆に、参加者の複数のグループに対して同じプレゼンテーションを実行する場合は、すべての参加者からのレスポンスを1つのセッション ファイルに集約することができます。

### 始める前に

[セッションのインポート] ボタンを使えば、セッション ファイルを自分のセッション ファイルにインポートすることができます(手順3で説明)。**[セッションファイルの統合]** ウィンドウで選択できるセッションのリストには、セッション フォルダのファイルがリスト表示されます。

### セッション ファイルを統合するには ...

- 1 TurningPoint リボンの [ツール] をクリックし、[セッション管理] にマウスを合わせます。
- 2 [セッション ファイルの統合] を選択します。

[セッション ファイルの統合] ウィンドウが開き、[セッション] フォルダにあるセッション ファイルのリストが表示されます。

リストに表示するファイルを切り替えるには、[マイ セッション ファイル] または [マイ バックアップ セッション ファイル] を選択します。セッション ファイルの保存場所の詳細については、153 ページの「**セッションからの結果の保存**」を参照してください。

- 3 統合するセッション ファイルを選択します。

次のいずれかの方法でセッション ファイルを選択します。

- [現在のセッション] (赤いテキスト) を選択して、現在 PowerPoint で開いているセッションを使用します。  
このオプションは、TurningPoint プレゼンテーションを開いていて、レスポンス データを収集してある場合にのみ使用できます。
- Sessions フォルダのファイルのリストからセッション ファイルを選択します。  
Sessions フォルダ内のセッション ファイルをファイルのリストに表示するには、[マイ セッション ファイル] を選択します。
- バックアップ セッション ファイルからセッション ファイルを選択します。  
バックアップ セッション ファイルをファイルのリストに表示するには、[マイ バックアップ セッション ファイル] を選択します。
- 別の場所からセッション ファイルをインポートします。

ファイル リストの上にある [セッションのインポート] ボタン (フォルダのアイコン) を使用して、セッションをインポートすることもできます。こうすると、別のところに保存した TurningPoint、TurningPoint Anywhere、または TestingPoint のセッション ファイルを使用できます。セッションをもとと TurningPoint、TurningPoint Anywhere、または TestingPoint として作成していない場合には、セッションファイルには PowerPoint のプレゼンテーション ファイルは含まれません。

- 4 リストから、統合する他のファイルを選択します。複数の連続するファイルを選択するには、Shift キーを押しながらクリックします。複数のファイルを選択するには Control キーを押しながらクリックします。

この手順を繰り返して、統合するすべてのファイルを選択します。

- 5 オプションで、チェック ボックスをオンにして、統合したセッション ファイルに PowerPoint プレゼンテーションを含めます。

統合したセッション ファイルにプレゼンテーションを含めると、統合した各ファイルのプレゼンテーションからのスライドが、統合したセッション ファイルに保存された単一のプレゼンテーションになります。これにより、統合したセッション ファイルのサイズが著しく大きくなる場合があります。

- 6 ファイルのリストの下の [統合] をクリックします。

統合したセッション ファイルの場所およびファイル名を指定するためのダイアログ ボックスが開きます。

- 7 エクスポート ファイルの名前および場所を指定します。

**注記** セッション ファイルにはファイル拡張子 .tpz を使用する必要があります。

- 8 [保存] をクリックします。

ファイルが保存され、ダイアログ ボックスが閉じます。

[終了] ボタンの隣にある [TurningPoint レポートを開く] を選択すれば、TurningPoint レポートにアクセスすることができます。

- 9 [終了] をクリックして [セッション ファイルの統合] ウィンドウを終了します。

# よくある質問

この付録は、TurningPoint ソフトウェアの使い方についてお客様からよく寄せられる質問のクイック リファレンスです。ここで質問の回答が見つからない場合は、Turning Technologies の Web サイト (<http://www.turningtechnologies.com>) にアクセスするか、Turning Representative のフリー ダイヤル (1-866-746-3015) までお問い合わせください。

## **TurningPoint をインストールできません。**

TurningPoint を初めてインストールするには、ローカル管理者として、管理者のユーザー名とパスワードを使用する必要があります。

## **製品のシリアル番号 (アクティブ化コード) はどこにありますか？**

製品のシリアル番号はアクティブ化コードとも呼ばれ、ResponseCard キット内のラベルに記載されています。

## **TurningPoint と互換性のあるレスポンス デバイスは？**

Turning Technologies では Responsive Innovations と提携して、特に TurningPoint の機能をサポートするように設計されたレスポンス デバイスを提供しています。ResponseCard IR、ResponseCard XL、ResponseCard RF、ResponseCard XR、および ResponseCard NXT は、TurningPoint と共に使用するのに適した製品です。ユーザーは、TurningPoint の ResponseWare (仮想キーボードを使用するためのアプリケーション) を使用することもできます。

## **レスポンス デバイスをセットアップする方法は？**

レスポンス デバイスのすべての設定は、[設定] ウィンドウにあります。TurningPoint リボンから [ツール] > [設定] を選択してください。レスポンス デバイスのインストールについては、**第 3 章 「レスポンス デバイスと設定の管理」** を参照してください。

## **レシーバの設置場所は？**

IR デバイスでは、赤外線テクノロジーおよび見通し範囲での通信を使用するため、部屋の前方の中央に、全員から見える高い位置に配置します。IR デバイス レシーバの有効距離は約 90 フィート (27 メートル) です。参加者 80 名につき、レシーバを 1 台取り付ける必要があります。ResponseCard RF の有効距離は約 200 フィート (60 メートル) で、ResponseCard XR の場合には約 400 フィート (120 メートル) です。1 台のレシーバで最大 1000 基の ResponseCard に対応できます。レシーバと ResponseCard が見通しのきく直線上にある必要はありません。レシーバを接続したら、参加者は ResponseCard の数字または文字を押すだけでレスポンスを送信できます。レシーバのセットアップについては、**第 3 章 「レスポンス デバイスと設定の管理」** を参照してください。

## **ResponseCard が動作しません。**

適切な ResponseCard がレシーバに対応付けられていない可能性があります。レスポンス デバイスの設定をチェックしてください。レスポンス デバイス ウィザードの設定については、**第 3 章 「レスポンス デバイスと設定の管理」** を参照してください。

ResponseCard のバッテリーの残量が少なすぎるか、残量がない可能性があります。ResponseCard のボタンを押します。ResponseCard のライトが点滅する場合や、点灯しない場合は、バッテリーを交換する必要があります。

ResponseCard が適切にプログラムされていない可能性があります。TurningPoint キットの「ResponseCard のプログラミング」を参照してください。

## 参加者からのレスポンスを追跡する方法は？

TurningPoint で参加者リストを作成し、参加者モニタを使用して各参加者からのレスポンスを表示します。参加者リストを作成するには、参加者リスト ウィザードを使用するか、既存のファイルからインポートします。参加者リストについては、**第4章「参加者とチームの追跡」**を参照してください。参加者モニタについては、**第6章「プレゼンテーションの実行」**を参照してください。

## プレゼンテーションの実行中に、次のスライドに進んでから戻らないとグラフが表示されません。

グラフのアニメーションは Office 2003 と Office 2007 で異なります。TurningPoint のインストール後に Microsoft Office をアップグレードしたことが考えられます。TurningPoint をアンインストールし、再インストールしてください。

## セッションまたはスライドからデータをクリアする方法は？セッションまたはスライドからデータをクリアする方法は？

Turning Point リボンから [リセット] メニューを選択し、メニューから [セッション] または [現在のスライド] を選択します。セッションでの作業については、**第8章「セッション」**を参照してください。

## セッションを保存する方法は？

Turning Point リボンから [セッションの保存] ボタン (ディスクのアイコン) を選択します。ウィンドウが開き、ファイル名および場所を選択できます。ファイルを、マイドキュメント ¥TurningPoint¥Sessions にあるセッションフォルダに保存します。セッションの保存については、**第8章「セッション」**を参照してください。

## セッションからのデータを使用してレポートを作成する方法は？

TurningPoint では、さまざまな種類のレポートを作成することができます。レポート作成のオプションおよび方法については、**第7章「レポート」**を参照してください。